

COUPE TECHNOLOGY. PRELUDE

 HONDA

PRELUDE

HONDA
本田技研工業株式会社
東京都港区南青山2-1-1

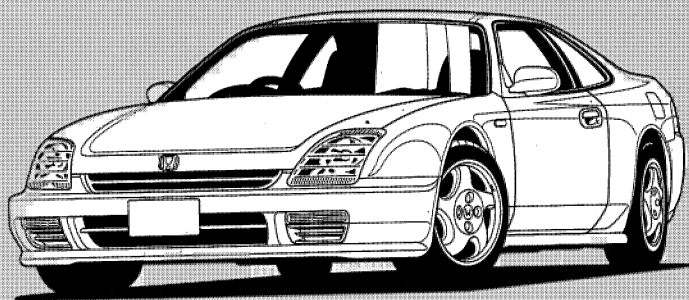
万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、ホンダ
ベルノ店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。



このたびはホンダ車をお買い上げいただき、 ありがとうございます。

この本は **PRELUDE** の取り扱いについて
必要事項を説明しています。

安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、
ご使用前にかならずお読みください。



- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">●運転はルールを守り、マナーよく。<ul style="list-style-type: none">・シートベルトを着用しましょう。・法定速度を守りましょう。・子供やお年寄りをいたわりましょう。・駐停車は、ルールに従いましょう。・迷惑運転はやめましょう。・自然環境保護に気をくばりましょう。 | <ul style="list-style-type: none">●取扱説明書はメンテナンスノートと共に、いつもお車に保管してください。●お車をゆずられるときは、つぎに所有されるかのためにこの取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。 |
| <ul style="list-style-type: none">●保証や点検整備に関することはメンテナンスノートに記載しておりますので、ご使用前に必ずお読みください。 | <ul style="list-style-type: none">●ご不明な点は、担当セールスマンにおたずねください。 |

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

本書の読みかた

この本はドライバーの動作に沿って各部の取り扱いを説明し、また、装備、万一のときの応急処置、お車の手入れなど、必要な情報を説明しています。

「安全ドライブのための必読6ポイント」

重要ですので、しっかりお読みください。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

お車のために守っていただきたいこと
(車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、異常事態の処置方法を記載しています)

知識

知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

タイトル
階層ごとにデザインを
変えてあります

ヘッダー
ページの内容を
示しています

ページ
インデックス
(→4ページ)

1. 車を運転する前に

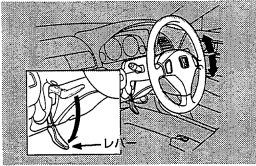
ハンドル・
バックミラーの調整

ハンドル・バックミラーの調節

チルトステアリング (上下調節式ハンドル)

ハンドルの高さを適切な位置に変えることができます。

▼
ハンドルコラムの左にあるレバーを押し下げ、ハンドルの高さを適切な位置にして、レバーを元の位置まで確実に引き上げて固定します。



⚠注意

●走行中に調節するとハンドルが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
調節は走行する前に行い、ハンドルに上下方向の力を加え固定されていることを確認してください。

ルームミラー

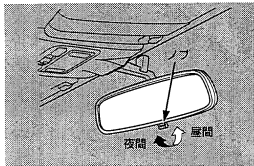
📖知識

●走行中はミラーの調節を行わないでください。

●防眩式ルームミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。

▼
ノブを動かして切り換えます。



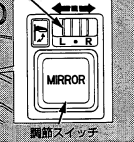
角度調節はノブを昼間の位置に行ってください。

が"II"のときスイッチ
ミラーの角度調節がで

スイッチを調節したい

角度を調節します。

左右切り換スイッチ



を動かして角度を調節
します。

48

49

説明文

装置/機構について

解説

操作方法

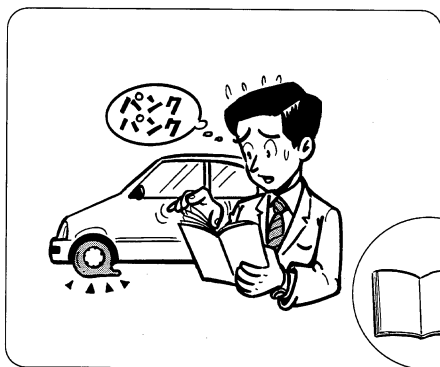
に分けて記載しています

安全に関する表示

※:このページはサンプルページです。

本書の上手な使いかた

知りたい項目の説明がすぐに探せるように、いろいろな引きかたが用意されています。



タイトルから探すとき



目次(P.5)

ページインデックス：
目次と対応しているので、目的のページが辞書を引くように探せます。



スイッチ類などの名称が
わからないとき



ビジュアル目次
(P.6~9)



名称から探すとき



さくいん
(P.246~254)

目次

◆安全ドライブのための必読6ポイント

1. お出かけまえに 12 2. お子さまに思いやりを 14 3. 正しい知識で最適運転 16
4. オートマチック車の注意ポイント 18 5. 駐車や停車はしっかりと 22 6. こんなことにも注意をしよう 24

11

1. 車を運転する前に

- ・各部の開閉 30 ・シートの調節 44
・ハンドル・バックミラーの調節 48 ・シートベルト 50

29



2. 車を運転するときに

- ・メーター 56 ・表示灯 58 ・警告灯 60
・スイッチの使いかた 66 ・運転のしかた 74 ・4WS(4輪操舵システム) 96

55



3. 安全装備

- ・SRSエアバッグシステム 102 ・アンチロックブレーキシステム(ABS) 110
・ビスカスリミテッドスリップコントロール(ビスカスLSD) 112 ・その他の安全装備 113

101



4. ドライブを快適にする装備

- ・エアコン 116 ・オーディオ 134 ・室内装備品 172

115



5. 万一の時

- ・工具・スペアタイヤ・発炎筒 182 ・故障したとき 184 ・事故が起きたとき 186
・けん引 188 ・パンクしたとき 192 ・オーバーヒートしたとき 200
・電気系統が異常のとき 202

181



6. 車の手入れ

- ・点検・整備について 212 ・日常の手入れ 214 ・車にあった部品の使用 222

211



7. 車との上手なつきあいかた

- ・積雪・寒冷時の取り扱い 224 ・こんなときは 234

223



・ サービスデータ

238

・ さくいん

246

・ こんなことでお困りのとき

巻末

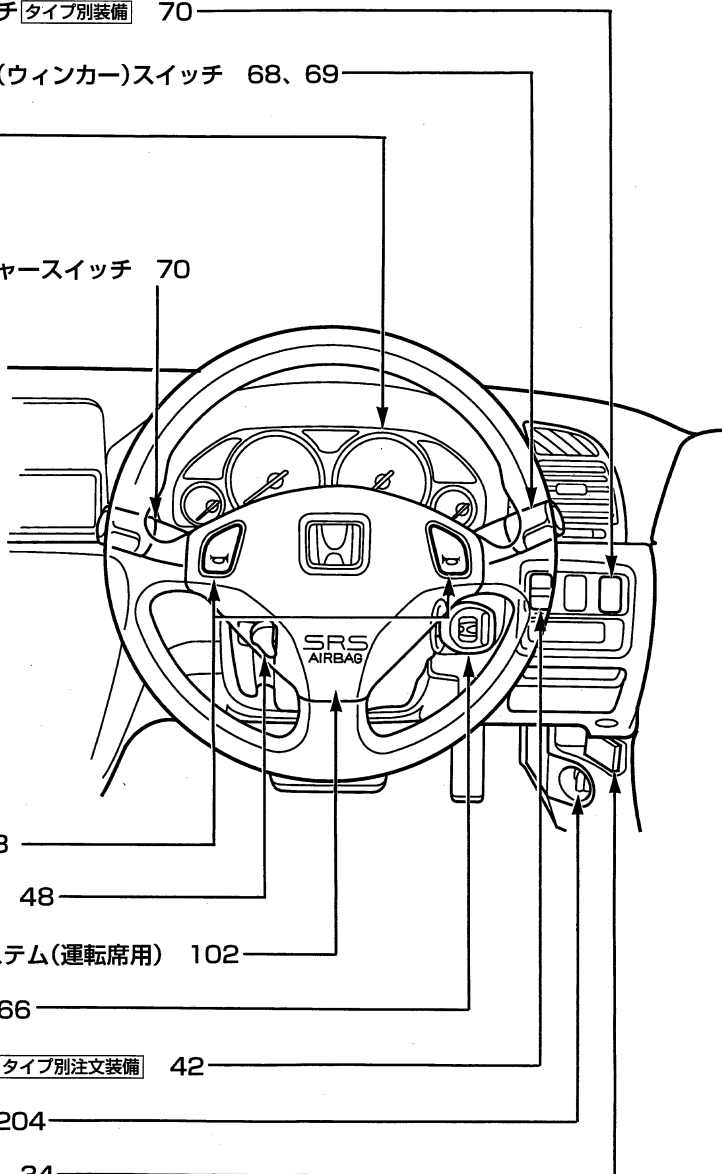
ビジュアル目次

フォグライトスイッチ タイプ別装備 70

ライト/方向指示器(ウィンカー)スイッチ 68、69

メーター 56
表示灯 58
警告灯 60

ワイパー/ウォッシャースイッチ 70



ホーンスイッチ 73

チルトステアリング 48

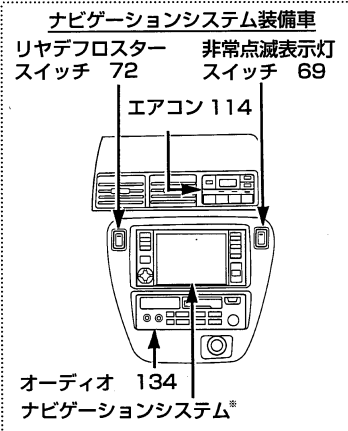
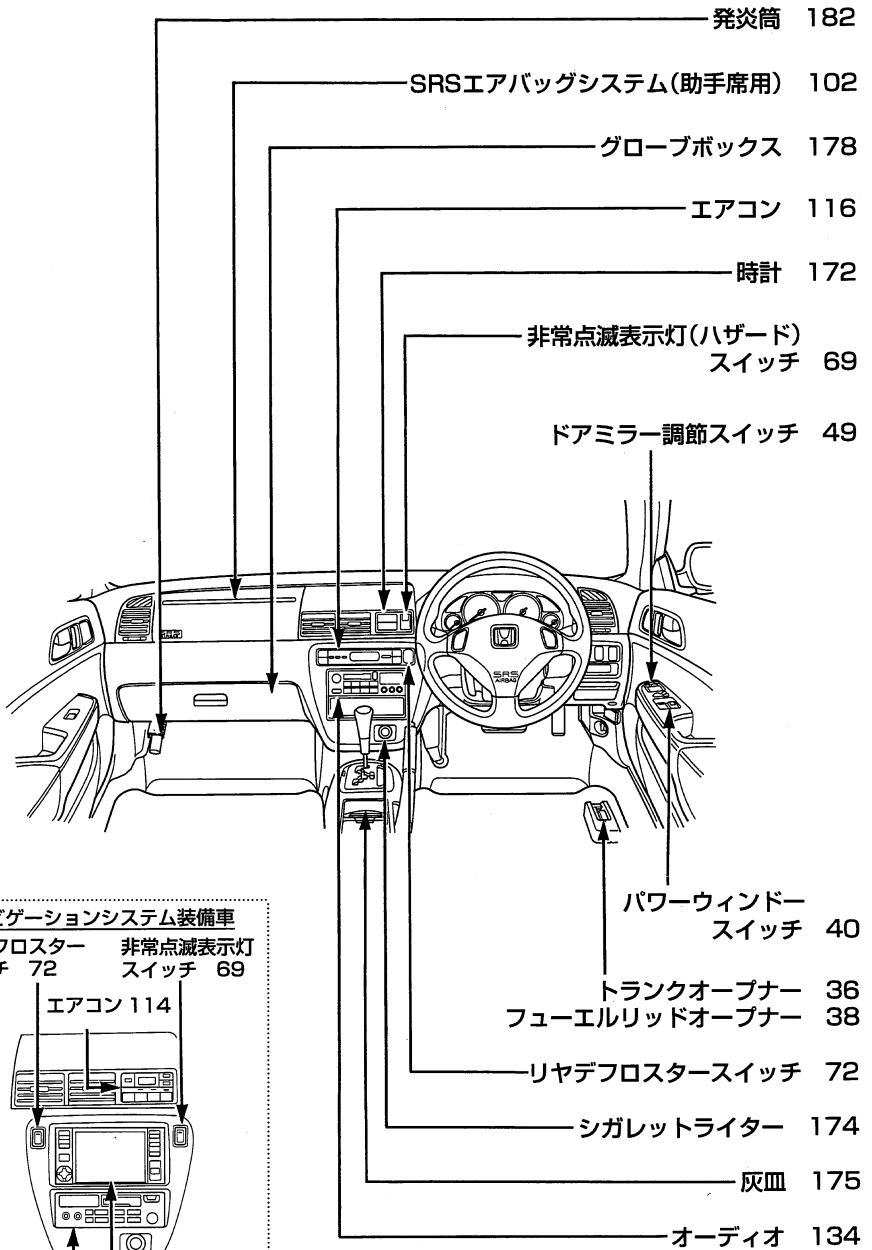
SRSエアバッグシステム(運転席用) 102

エンジンスイッチ 66

サンルーフスイッチ タイプ別注文装備 42

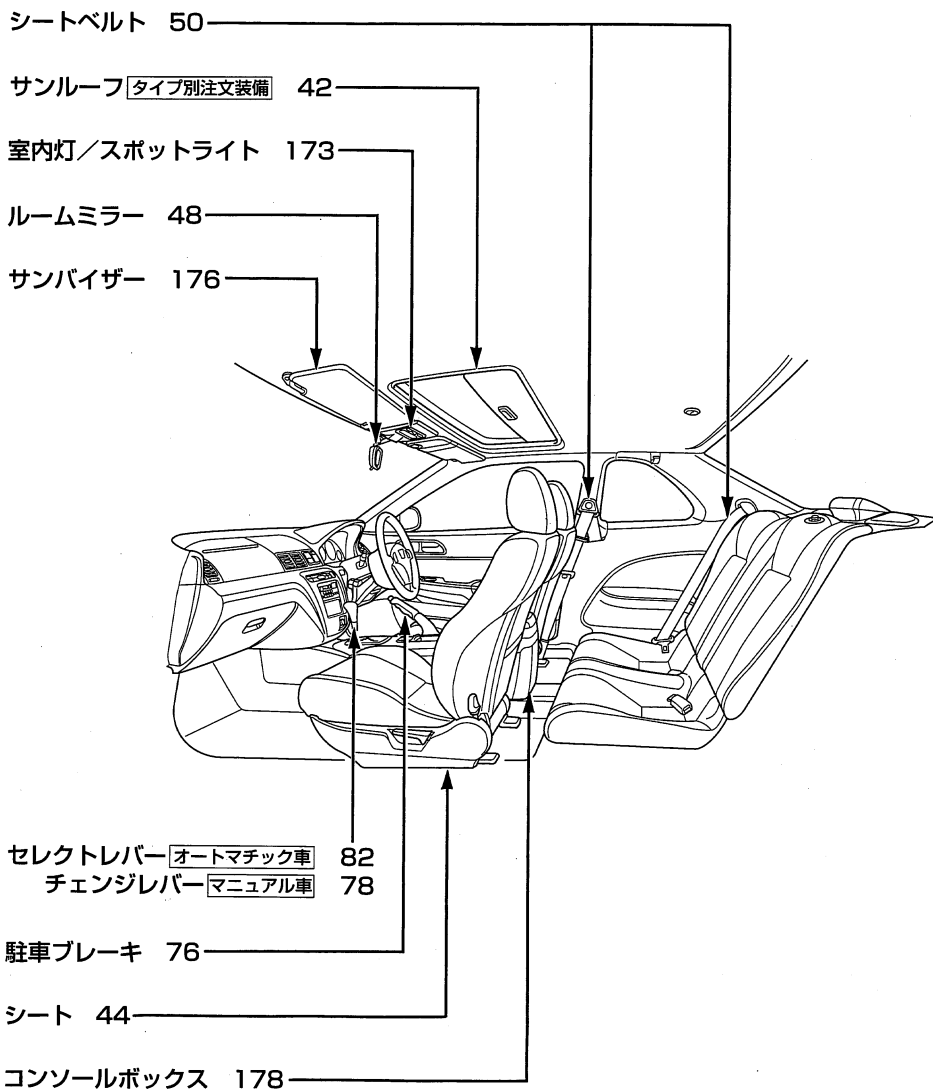
ヒューズボックス 204

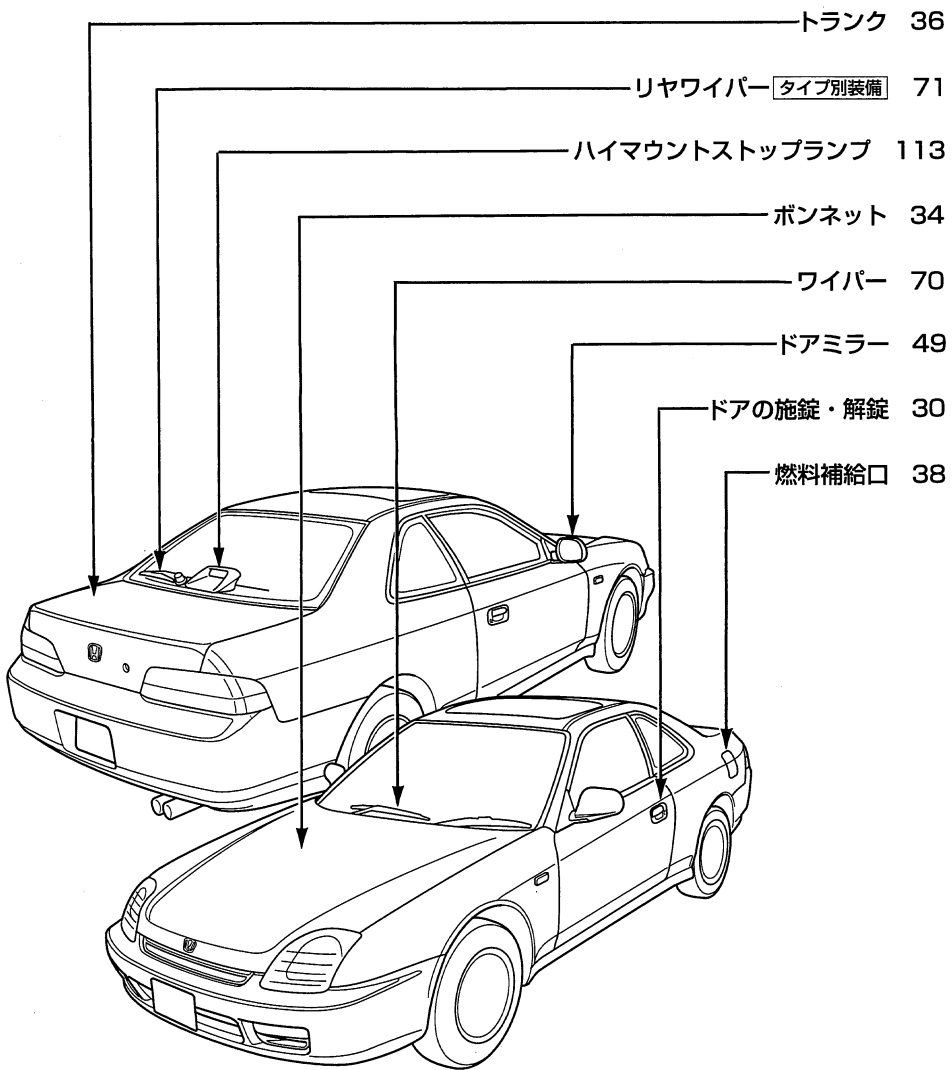
ボンネット解錠ノブ 34



※：別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をご覧ください。

ビジュアル目次





M

E

M

O

Handwriting practice lines consisting of 15 horizontal dashed lines.

安全ドライブのための 必読6ポイント

ご使用の前に特に知っておいていただきたいこと、
守っていただきたいことをまとめてあります。

POINTS

6

- お出かけまえに 12
- お子さまに思いやりを 14
- 正しい知識で最適運転 16
- オートマチック車の注意ポイント 18
- 駐車や停車はしっかりと 22
- こんなことにも注意をしよう 24

安全ドライブのための必読6ポイント

お出かけまえに…

点検をわすれずに。
〈メンテナンスノート参照〉

- 道路運送車両法により、法定定期点検と日常点検が義務づけられています。

安全・快適にお使いいただくために、ホンダの点検要領に従って必ず点検してください。

日常点検は車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

- 普段と違う点に気付いたら、ホンダベルノ店で点検を受けてください。
(音、におい、ブレーキ液の不足、地面に油のあとが残っている時…)
- 走行中も車の状態に気を配り、いつもと違う音やにおい、運転感覚などを感したら早めに点検しましょう。

シートベルトを正しく着用。
〈50ページ参照〉

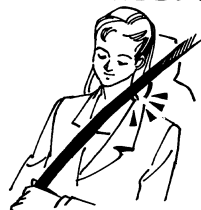
- 運転する人はもちろん、同乗する人にも必ず着用させましょう。
- シートに深く腰かけ、背もたれは必要以上に倒さないでください。
- 腰骨のできるだけ低い位置に着用してください。



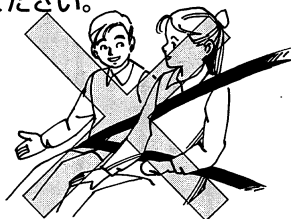
- ベルトにねじれがないか確かめてください。



- ベルトがくび、あご、顔などに当たらないようにしてください。

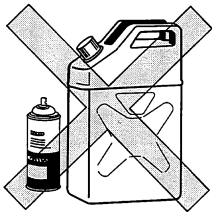


- 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。



燃料の入った容器やスプレー缶などはのせないで。

引火、爆発のおそれがあります。



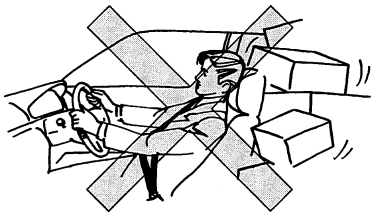
運転の妨げになるものには注意を。

- 運転者の足もとに、物を置かないでください。
- フロアマットが、ペダルに引っかからないように注意してください。ブレーキやアクセルのペダル操作が、確実にできないおそれがあります。



- 手荷物はシートの高さを越えないようにしましょう。

後方視界を妨げたり、急ブレーキのときなどに荷物が飛び出すおそれがあります。

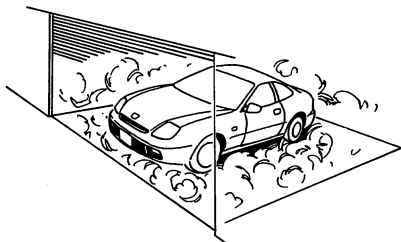


排気ガスには十分に気をつけて。

- 排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒のおそれがあります。

- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。

車内や屋内などに排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒のおそれがあります。



- 排気管に穴や亀裂があったり、排気音の異常に気付いたらホンダベルノ店で点検を受けてください。

車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

安全ドライブのための必読6ポイント

お子さまに思いやりを

お子さまは、うしろの席に。

●助手席にのせるのは避けましょう。

- ・不意の動作が気になったり、スイッチ・レバー類のいたずらなど運転の妨げになるおそれがあります。また、事故が起きた場合、後席のほうが安全といわれています。
- ・インストルメントパネルに手をついたり、顔や胸を近づけた状態での乗車は、エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受けるおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを。

●お子さまにも必ずシートベルトを着用させるか、チャイルドシートなどをお使いください。

お子さまを抱えていても、衝突したときなどに支えることができず危険です。



●お子さまの首やあごにシートベルトがあたる場合や、腰骨にかからない場合はチャイルドシートやジュニアシートを使用してください。

シートベルトをそのまま使うと衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。

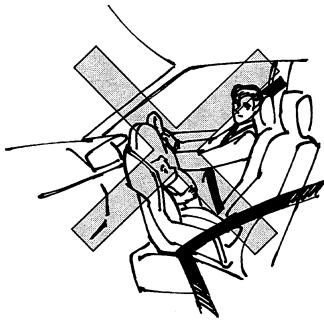
また、ひとりですわることのできない小さなお子さまはベビーシートを使用してください。

ご購入、ご使用に際してはホンダベルノ店にご相談ください。

《選択の目安》

| | 体重(kg) | 身長(cm) | 参考年齢 |
|----------|--------|---------|--------|
| ベビーシート | ～10 | ～75 | ～12か月 |
| チャイルドシート | 7～16 | 65～100 | 4か月～4才 |
| ジュニアシート | 15～32 | 100～135 | 4才～10才 |

- 助手席には、ベビーシートを取り付けたり、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。エアバッグが膨らむ際、ベビーシートや、チャイルドシートの背面に強い衝撃を受け、傷害を受けるおそれがあります。また、やむをえず前向きに取り付ける場合は、エアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。



ドア、ウィンドー、サンルーフ、シートの操作は必ず大人が。

- 手、足、くびなどをはさまないように、気をつけてください。
- パワーウィンドーのメインスイッチは、“OFF”にしておきましょう。

〈40ページ参照〉

- 走行中、一時停止のときなど、窓やサンルーフから手や頭、物などを出さないよう注意してください。思わぬ障害物で事故のおそれがあります。

車から離れるときは、お子さまも一緒に連れて。

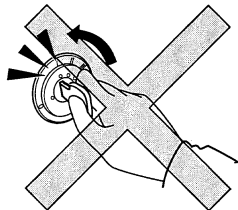
- お子さまだけを車内に残さないでください。
 - ・炎天下の車内は、高温になり危険です。
 - ・お子さまのいたずらにより車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。



安全ドライブのための必読6ポイント

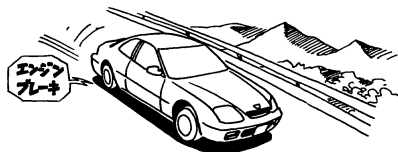
正しい知識で最適運転

- 走行中ハンドルの中に手を入れて、スイッチを操作しないでください。ハンドル操作の妨げになり大変危険です。
- 走行中はエンジンを止めないでください。
 - ・ ブレーキ倍力装置が作用しないため、ブレーキのききが悪くなります。
 - ・ パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなり、ハンドル操作が重くなります。
 - ・ マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にすると、キーが抜けることがあります、ハンドルがロックされ危険です。



長い下り坂ではエンジンブレーキを。

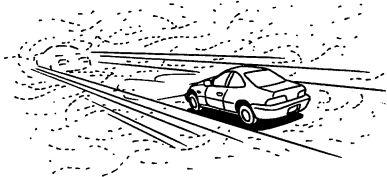
- ブレーキペダルを踏み続けて走行するとブレーキが過熱して、ききが悪くなることがあります。
- 長い下り坂では、走行速度に合わせ、ギヤを一段ずつ落として、エンジンブレーキを併用してください。オートマチック車は、**①**または**②**を使い、特に強いブレーキ力が必要なときは、**①**を使ってください。シークエンシャルモードのときには、走行速度に合わせ、ギヤを一段ずつ落としてエンジンブレーキを併用してください。



*エンジンブレーキ：走行中アクセルペダルを戻したときにかかるブレーキ力のこと、低速ギヤほどよくききます。

霧が出たときは。

- 霧が出たときは、視界が悪くなります。昼間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレールや前の車の尾灯などをめやすにして、速度を落として運転してください。



横風の強い日は。

- 横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかりと握り、スピードを徐々に下げて進路を立て直してください。

トンネルの出口、橋・土手の上、山を削った切り通し、大型トラックを追い越したり、追い越されたりするときなどには、特に横風の影響を受けやすいので十分注意してください。



雨天時の走行には注意を。

- 雨天時やぬれた道路では、路面が滑りやすくなっておりタイヤのグリップ力が低下するため、通常より注意深い運転が必要です。

急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、スピードを落として安全運転に心がけてください。

- わだちなどの水のたまりやすい場所では、ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

ハイドロプレーニング現象とは

→234ページ



水たまりに入ったあとはブレーキのきき具合を確認。

- 水たまり走行後や洗車後は、低速で走行しながらブレーキペダルを軽く踏んできき具合を確認してください。ぬれたブレーキはききが悪かったり、ぬれていない片側だけがきいてハンドルをとられることがあります。
- ブレーキのききが悪いときは、前後の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキのききが回復するまで、繰り返しブレーキペダルを踏んでください。

走行中異常があったら。

- 警告灯が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し処置をしてください。

〈60ページ参照〉

点灯したまま走行を続けると、思わぬ事故のもとになったり、エンジンなどを損傷するおそれがあります。

- 走行中にタイヤがパンクやバースト(破裂)してもあわてずに、ハンドルをしっかりと握り徐々にブレーキをかけてスピードを落とし安全な場所に停車してください。

急ブレーキや急ハンドルは車のコントロールを失うことがあり危険です。

- 床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに車を止めて、ブレーキ液や燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。

ブレーキ液や燃料の漏れ、損傷などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。

オートマチック車の 注意ポイント

オートマチック車は、その特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。

「オートマチック車の運転のしかた」もあわせてお読みください。



〈86ページ参照〉

オートマチック車の特性を正しく理解。

クリーブ現象とは

- エンジンがかかっているとき、セレクトレバーがP/N以外に入っていると、動力がつながった状態になり、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。これをクリーブ現象といいます。

キックダウンとは

-  または  で走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り換わり、エンジンの回転数が上がって、力強い加速を得ることができます。これをキックダウンといいます。

1 ブレーキは右足で。

- ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけましょう。

不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。

2 エンジンをかけるまえに。

- ペダルの踏みまちがいのないよう、右足でペダルの位置を確認しておきましょう。

**3** エンジンをかけるとき。

- 安全のため、セレクトレバーは駆動輪が固定されるPでエンジンをかけましょう。

**4** スタートするとき。

- 思いちがいを防ぐため、セレクトレバーの位置を目で確認しましょう。
- 発進時のセレクトレバーの操作は、右足でブレーキペダルをしっかりと踏み、車が動かないようにして行いましょう。
- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故のもとになります。



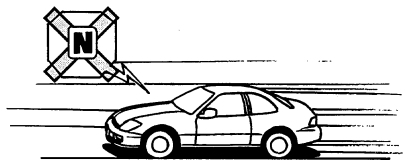
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかり踏んでいてください。エアコン作動時も同じです。
- 坂道での発進は車が後退しないように必ず駐車ブレーキを併用し、先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、駐車ブレーキをもどしてください。

安全ドライブのための必読6ポイント

5 走行しているとき。

- 走行中は、セレクトレバーをNにしないでください。

エンジンブレーキが全くきかず、思わぬ事故のもとになります。



- 上り坂で、速度を保とうとしてアクセルペダルを踏み込んだとき、キックダウンにより、急にエンジン回転が上がり、思ったより速度が出てしまうことがあります。アクセルペダルは、慎重に操作してください。

また、すべりやすい路面やカーブでは、急激なアクセルペダル操作は避けてください。

- 下り坂では、エンジンブレーキも使いましょう。

フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱して、ブレーキのききが悪くなるおそれがあります。

エンジンブレーキ →16ページ

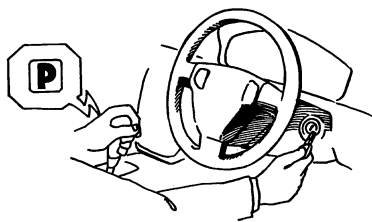
6 停車しているとき。

- 車が動かないようにブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じて駐車ブレーキをかけましょう。
- 停車中の空ぶかしは、やめましょう。万一、セレクトレバーがR以外（N以外）のとき、思わぬ急発進のもとになります。

7 駐車するとき。

- 駐車するときは、駐車ブレーキをかけてセレクトレバーをPに入れ、エンジンを止めましょう。

万一、セレクトレバーがR以外（N以外）に入っていると、クリーブ現象で車が動き出したり、乗り込むときに、誤ってアクセルペダルを踏み込んで急発進したりするおそれがあります。



ほかに気をつけたいこと。

- 後退したあとは、すぐ④から⑤にもどす習慣をつけましょう。

ちょっと後退したときなど、④に入れたことを忘れてしまうことがあります。

- 前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。

車が完全に止まらないうちにレバーを操作すると、トランスミッション破損のおそれがあります。

- 車が完全に止まらないうちに、④に入れないでください。

急停止して危険であるばかりでなく、トランスミッション破損のもとになります。

シフトロック装置の正しい理解を。

- ブレーキペダルを踏んでいないと、④からのセレクトレバー操作はできません。

- ・エンジンスイッチが、“I”または“0”のときには、ブレーキペダルを踏んでも、レバーは操作できません。

- ・レバーを助手席側に動かしたままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。

- ④以外では、エンジンスイッチからキーは抜けません。

④以外では、キーが“I”から“0”に回りません。

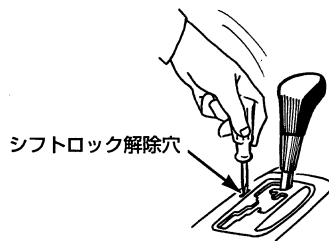
- ④に入るとチャイムが鳴ります。

- ・セレクトレバーが④の時にチャイムが鳴り、④に入っていることを運転者に知らせます。

- ・車外の人には音が聞こえませんが、ご注意ください。

- 万一、④や⑤からセレクトレバーが操作できないときは：

ドライバー等の先端に布等をまいてシフトロック解除穴のカバーを外してから、解除穴にドライバー等を差し込み、押しながら、セレクトレバーを操作します。



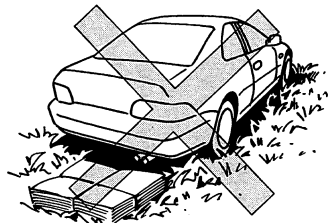
シフトロック解除穴

5 駐車や停車は しっかりと

可燃物には注意を。

- 枯草や紙、油、木材など燃えやすいものがあるところには、駐停車しないでください。

排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。



植込みなどにも注意して。

- 植込みなどの近くに駐停車するときには、排気ガスが当たらないように、車の向きを決めましょう。



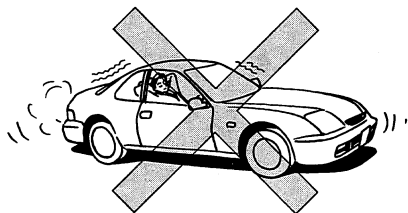
仮眠するときはエンジンを止める。

●エンジンを必ず止めてください。

無意識にチェンジレバーやセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

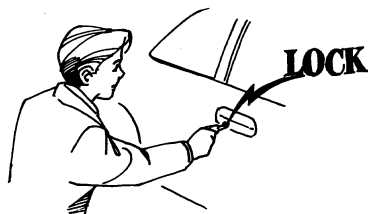
また、無意識にアクセルペダルを踏み続けたりした場合、オーバーヒートなどを起こしたり、エンジンや排気管などの異常過熱による火災事故が発生するおそれがあります。

さらに風向や周囲の状況等によっては、車内に排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒のおそれもあります。



車から離れるときには施錠を。

- 必ず駐車ブレーキをかけ、エンジンを止め、ドアを施錠してください。
- 車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- お子さまも連れていきましょう。



車の移動はエンジンをかけて。

- 車を移動するときは、必ずエンジンをかけてください。

下り坂を利用した移動などは、思わぬ事故を招くことがあります。

坂道での駐車は。

- 駐車ブレーキをかけ、チェンジレバーまたはセレクトレバーを下表の位置に入れてください。

| | マニュアル車 | オートマチック車 |
|-----|--------|----------|
| 上り坂 | 1 | P |
| 下り坂 | R | |
| 平地 | | |

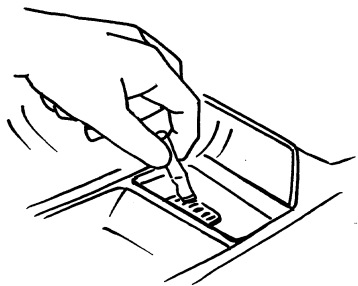
さらに、タイヤに輪止めをすると効果があります。

安全ドライブのための必読6ポイント

こんなことにも
注意をしよう

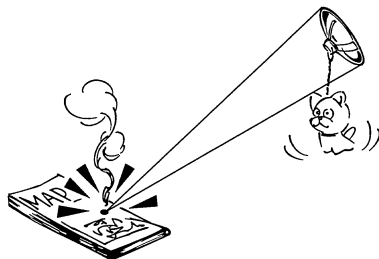
タバコの吸いがらは火を消して。

- タバコ、マッチなどは、確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
- 灰皿の中に吸いがらをため過ぎたり、燃えやすいものを入れたりしないでください。



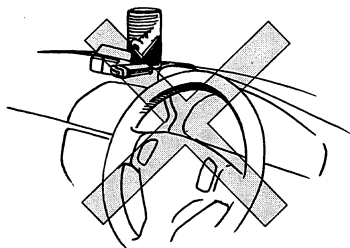
アクセサリーの取り付けには注意を。

- ガラス面にアクセサリーなどを取り付けないでください。視界をさまたげたり、吸盤がレンズのはたらきをして火災を起こしたり、思わぬ事故のもとになります。



車内にライターや炭酸飲料缶などを放置しないで。

炎天下での駐車などで車内温度が上昇すると、ライターなどの可燃物は自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。



ラジエーターキャップに気をつけて。

- ラジエーターキャップが熱いときは、外さないでください。

蒸気や熱湯が吹き出し危険です。



ハンドルをいっぱい回した状態をつづけない。

- ハンドルをいっぱい回した状態から、さらに回そうとする力をかけつづけないでください。

パワーステアリングポンプがオイル潤滑不良をおこし、損傷することがあります。

動物を乗せるときは、動きまわらないように注意して。

運転の妨げになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあります。

携帯電話の使用は停車中に。

- 運転者は、携帯電話を走行中に使用しないでください。

運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

改造はしない。

- ホンダ純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を、使用しないでください。

・適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。

・ホンダが運輸省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違反になることがあります。

- ホイールは、PRELUDE専用品をご使用ください。

専用品以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすことがあります。

ホンダベルノ店にご相談ください。

- 無線装置や自動車電話などの取り付けの際には、必ずホンダベルノ店にご相談ください。

装置や取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼすことがあります。



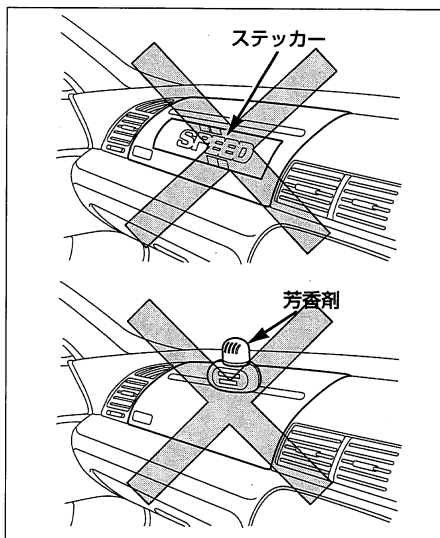
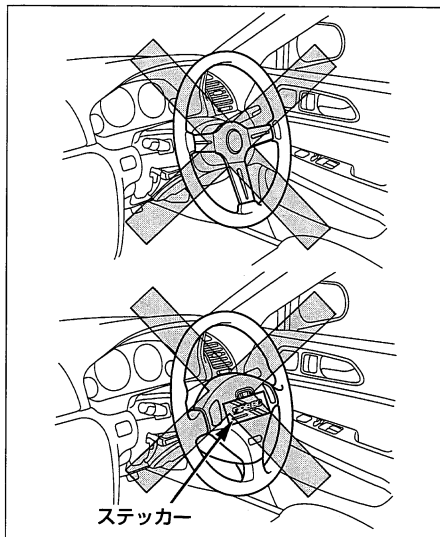
安全ドライブのための必読6ポイント

●運転席および助手席に、SRSエアバッグシステムが装備されています。ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりしないでください。

インストルメントパネル上面には、ステッカー類を貼ったり、アクセサリや芳香剤など物を置かないでください。

また、フロントガラスにアクセサリなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。

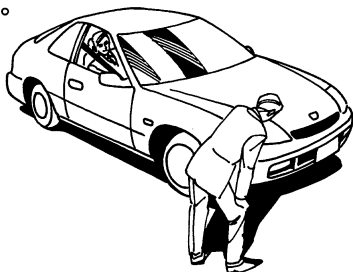
- ・ SRSエアバッグが正常に機能しなくなります。
- ・ 作動時にこれらの物がとぶことがあります危険です。
- ・ 次の場合は、必ず、ホンダベルノ店にご相談ください。
 - ①ハンドルまわりの修理
 - ②センターコンソール付近の修理
 - ③カーステレオ等用品の取り付け
 - ④ダッシュボード周辺の板金塗装および修理
 - ⑤インストルメントパネルまわりの修理



発進するときは、まわりの状況に十分注意して。

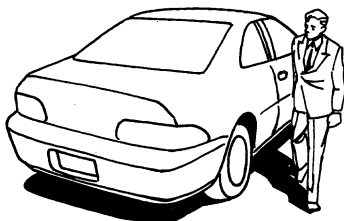
車の周りには運転席から見えないところ(死角)があります。発進するときは子供や障害物など車のまわりの状況に十分注意してください。

- 駐車後に発進するときは、車のまわりの安全確認を十分に行ってください。



- 後退するときに十分な視界が得られない場合は、車から降りて後方を確認してください。

バックミラーでは確認しきれない死角(車の直後など)があります。



- 信号待ちなどの停車後に発進するときは、つねにまわりの状況に目を配り、安全確認を十分に行ってください。



M

E

M

O

Handwriting practice area with 15 horizontal dashed lines.

1

車を運転する前に

●各部の開閉

| | |
|----------|----|
| キー | 30 |
| ドアの施錠・解錠 | 30 |
| ボンネット | 34 |
| トランク | 36 |
| 燃料補給口 | 38 |
| パワーウィンドー | 40 |
| サンルーフ | 42 |

●シートの調節

| | |
|---------|----|
| 正しい運転姿勢 | 44 |
| 前席シート | 46 |

●ハンドル・バックミラーの調節

| | |
|--------------------------|----|
| チルトステアリング (上下調節式ハンドル) | 48 |
| ルームミラー(後写鏡) | 48 |
| ドアミラー | 49 |

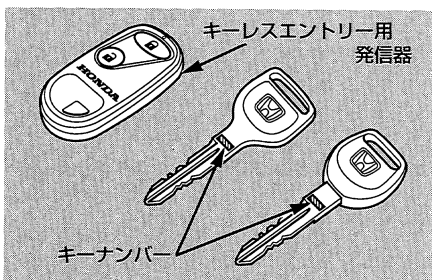
●シートベルト

| | |
|------------|----|
| シートベルトについて | 50 |
| 着用のしかた | 54 |

各部の開閉

キー

キーは、エンジンの始動、停止のほかに、ドアの施錠・解錠、トランクの解錠に使えます。



キーレスエントリー用発信器はドアの施錠・解錠がキーを使わずにできます。

キーレスエントリー →32ページ

知識

- キーナンバーを控えておいてください。キーを紛失したときは、キーナンバーをホンダベルノ店へご連絡いただければ、購入することができます。キーレスエントリー用発信器を紛失したときは、ホンダベルノ店へご連絡ください。

ドアの施錠・解錠

注意

- ドアは確実に閉めてください。半ドアでは、走行中にドアが開き思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

知識

- ドアは不用意に開けると後続車などがぶつかることがあるので周囲の安全を確かめてから開けてください。
- 強風時にドアを開閉するときは、風にあおられないよう注意してください。
- 車から離れるときは、エンジンを止めドアを必ず施錠してください。また、車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。

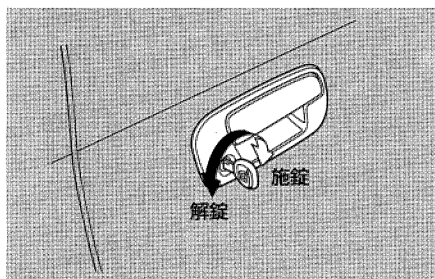
パワードアロック

運転席ドアを施錠(解錠)すると、助手席ドアも同時に施錠(解錠)します。



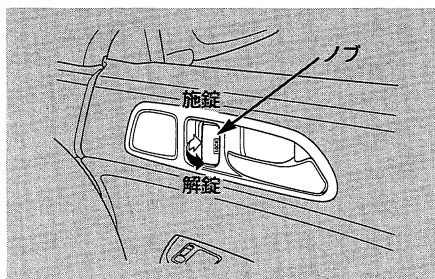
●車外から行う場合

キーを確実に差し込んで回します。



●車内から行う場合

ノブを矢印の方向に動かします。

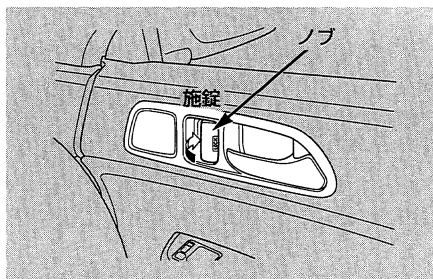


●キーを使わないで施錠する場合

🎓 知識

- キー閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

ノブを施錠の方向に動かしてドアを閉めます。

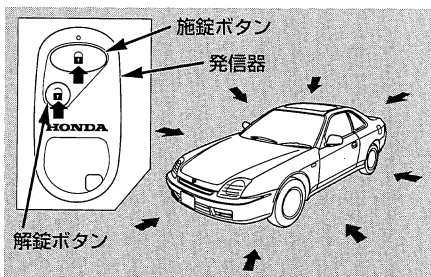


- ・キー閉じ込み防止装置(運転席のみ)
キーがエンジンスイッチに差し込まれたままだと施錠できません。

●キーレスエントリー

ドアの施錠・解錠がキーを使わずにできます。

▼
発信器の施錠ボタンを押すと運転席および助手席ドアは施錠され、解錠ボタンを押すと解錠されます。



知 識

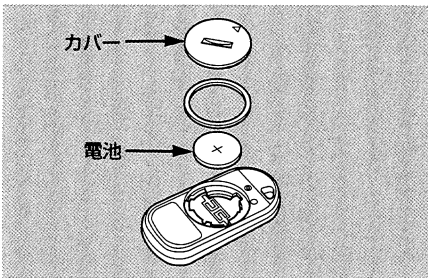
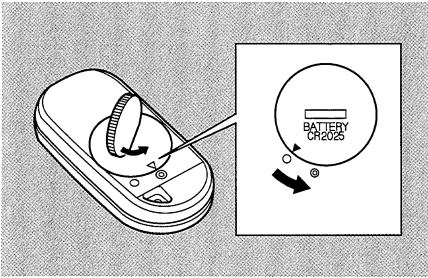
- 発信器には、精密な電子部品が組み込まれています。発信器の故障を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・直射日光が当たるところやダッシュボードの上など、高温になるところに置かないでください。
 - ・衝撃を与えないでください。
 - ・水にぬらさないでください。
- 微弱電波を使用しているため、周囲の状況により作動範囲が変化することがあります。
- キーレスエントリー用発信器で解錠してから約30秒以内にドアを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているときやドアが開いているときは、キーレスエントリーは作動しません。
- 車を離れるときは、ドアハンドルを引いて施錠されていることを確認してください。



発信器のボタンを押しても作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられますので早めに電池を交換してください。

使用電池……ボタン電池CR2025

コイン等でカバーを外し電池を交換します。



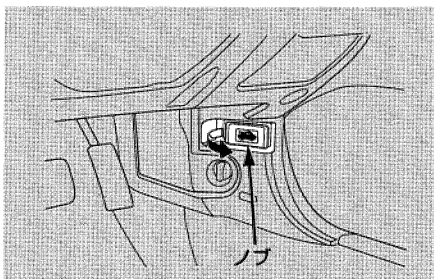
知識

- 液漏れなどを防ぐため、電池の⊕極と⊖極は正しく取り付けてください。
- 電池はホンダ販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

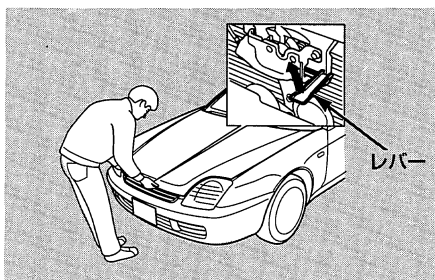
ボンネット

●開けかた

- ①運転席足元のノブを引きます。



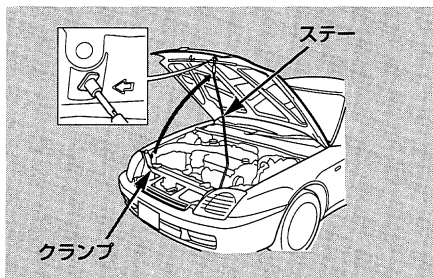
- ②ボンネット前部が少し浮き上がるので、レバーを上へ押しながら開けます。



🎓 知識

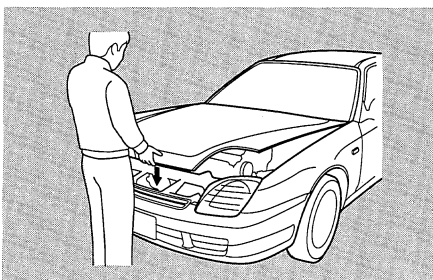
- ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けないでください。ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷します。

- ③必ずステーを確実にかけ、固定します。



●閉めかた

- ステーを外し、クランプに納めます。ボンネットを静かに下げ、手を離します。



- ボンネットが完全に閉まっていることを確認します。



⚠ 注意

- ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。

🎓 知識

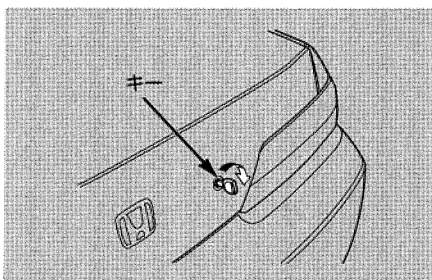
- ボンネットを開けているときに、風にあおられてステーが外れることがあります。特に風の強いときは、ご注意ください。
- ボンネットが完全に閉まっていないままで走行すると開くことがあります。走行前に必ず確認してください。

トランク

●解錠

車外から行う場合

キーを確実に差し込んで矢印の方向に回します。

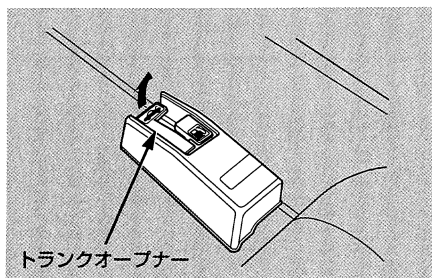


🎓 知識

- 差し込んだキーを持ってトランクを開閉しないでください。キーシリンダーを破損するおそれがあります。

車内から行う場合

運転席右下にあるトランクオープナーを引き上げます。



●施錠

トランクを閉めれば施錠できます。



⚠ 注意

- トランクを閉めるときは手などをはさまないように注意してください。
- エンジンをかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないでください。やけどなど思わぬけがをすることがあります。
- トランクルーム内には人を乗せないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをすることがあります。
- トランクは中から開けることはできません。お子さまが入らないよう注意してください。

🎓 知識

- ワイパーアームを起こした状態でトランクを開けないでください。トランクがワイパーに当たり、トランクやワイパーが損傷します。
- トランクは途中までしか開けていないと自重で閉まることがあります。
- 風にあおられて閉まることがあります。特に風の強いときは、ご注意ください。
- トランクを開けたまま走行しないでください。車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。
- トランクを閉めるときは次のことに気をつけてください。
 - ・ キーをトランク内に置き忘れないようにしてください。
 - ・ トランク上面を強く押さえないでください。

燃料補給口

燃料補給口は車の左側後方にあります。

使用燃料：

SiR ……無鉛プレミアムガソリン
(無鉛ハイオク)

Si、Xi ……無鉛ガソリン

タンク容量：60ℓ

⚠ 警告

- 燃料補給時は火気厳禁です。燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
 - ・エンジンは必ず止めてください。
 - ・タバコなどの火気を近づけないでください。

⚠ 注意

- キャップはゆっくり開けてください。急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

🛠 アドバイス

- 有鉛ガソリンを使うと、触媒装置などを損ないます。また、粗悪ガソリンや不適切な燃料添加剤を使うと、エンジンなどに悪影響を与えます。

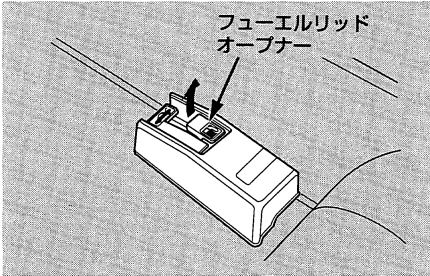
📖 知識

- SiR
- 無鉛レギュラーガソリンをお使いになることもできますが、この場合エンジン性能を十分に発揮できません。

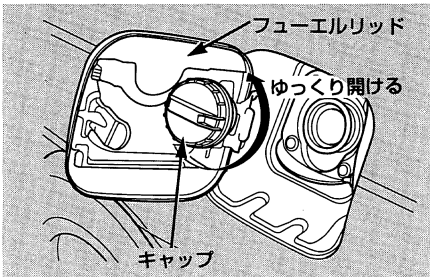


●開けかた

- ①運転席右下にあるフューエルリッド
オープナーを引き上げてリッドを開
けます。



- ②キャップをゆっくり回して開けます。



●閉めかた

キャップを“カチッ”という音が2回以上
するまで締め付けます。フューエルリ
ッドは手で押さえつければ閉まります。

🎓 知識

- キャップが確実に閉まっている
ことを確認してください。
確実に閉まっていなかったら走行中
に燃料がもれたりすることがあ
ります。

パワーウィンドー

エンジンスイッチが“II”のときウィンドーの開閉ができます。

開閉は、それぞれのドアにあるスイッチで操作します。

- ・運転席スイッチは、助手席ウィンドーも操作できます。

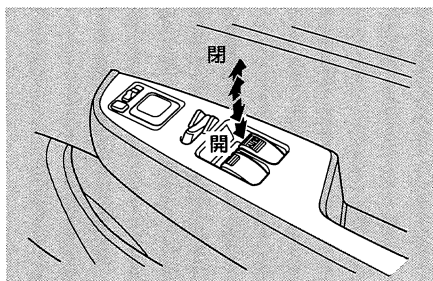
●運転席ウィンドーの開閉

スイッチを軽く操作している間、作動します。

強く操作すると、自動で全開(全閉)します。

開けるとき…スイッチを押します。

閉めるとき…スイッチを引き上げます。



自動開閉中にウィンドーを停止させるときは、スイッチを作動方向とは逆へ軽く操作します。

●助手席ウィンドーの開閉

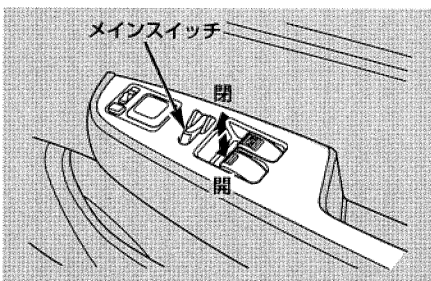
メインスイッチを“ON”にしてから、スイッチを操作します。

スイッチを操作している間、作動します。

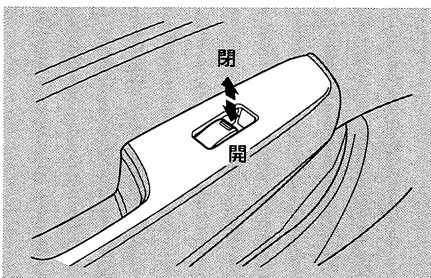
開けるとき…スイッチを押します。

閉めるとき…スイッチを引き上げます。

・運転席ドアスイッチ



・助手席ドアスイッチ



助手席ウィンドーを動かなくしたいとき (メインスイッチ)

メインスイッチを“OFF”にしておけば、助手席ウィンドーは作動しません。



⚠ 警告

- パワーウィンドーを閉めるときは、手やくびなどをはさまないようにしてください。
ドアガラスにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。
特にお子さまには気をつけてください。

⚠ 注意

- 車から離れるときはキーを抜き、お子さまも一緒に連れて行ってください。
いたずらなど誤った操作をして思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

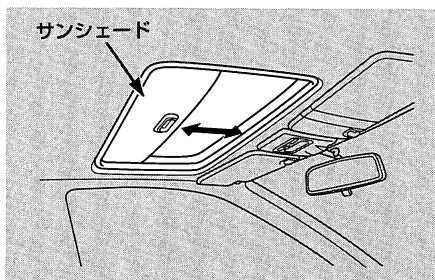
- ウィンドーの開閉はお子さまではなく大人が操作するようにしてください。
- 小さなお子さまが同乗しているときは、お子さまが誤って操作しないよう、メインスイッチを“OFF”にしておきましょう。

サンルーフ

タイプ別注文装備

●サンシェード（遮光板）

サンシェードは手動で開閉します。サンルーフを開ける場合は同時に作動します。サンルーフが開いた状態ではサンシェードは全開できません。



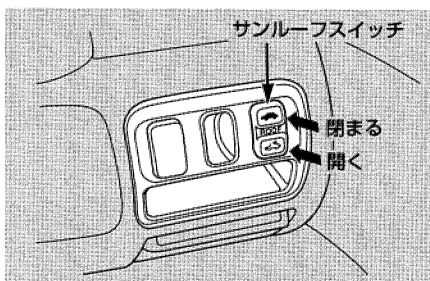
🎓 知識

- サンシェードは全開か全閉の位置で使ってください。途中で止めて使うと、走行中の振動で音が出る場合があります。

●開閉

エンジンスイッチが「II」のときサンルーフの開閉ができます。

▼
サンルーフスイッチを押している間、サンルーフが作動します。





⚠ 警告

- サンルーフを閉めるときは、手やくびなどをはさまないようにしてください。
サンルーフにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

⚠ 注意

- 走行中または一時停止時にルーフ開口部から頭や手、物などを出さないでください。
思わぬ障害物や急ブレーキをかけたときなどに事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- サンルーフやルーフ開口部の縁に腰をかけたり荷物を乗せるなどの大きな力を加えないでください。サンルーフが破損するおそれがあります。
- 降雪時、厳寒時などには凍結することがあります。このような場合は故障の原因となるので作動させないでください。
- サンルーフが作動しないとき

→210ページ

🎓 知識

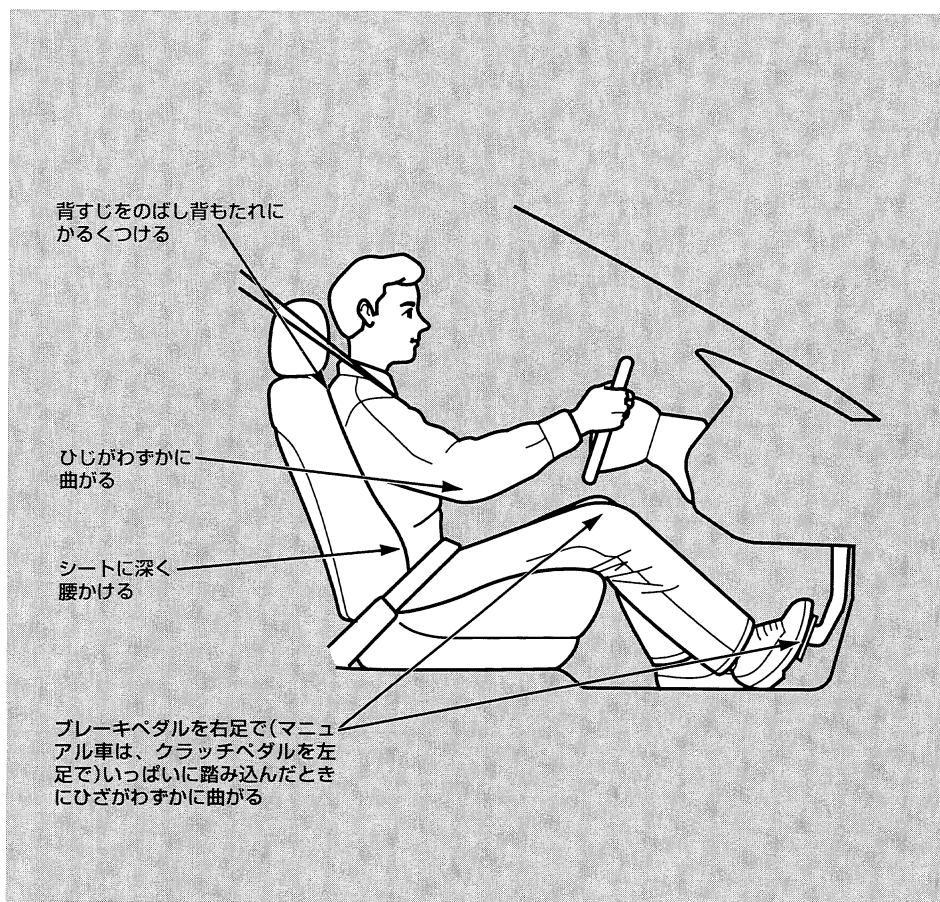
- 車から離れるときや洗車のときは、サンルーフが完全に閉まっていることを確かめてください。
- 降雨後や洗車後はルーフ上の水を除去してから開けてください。また、積雪時にはルーフ上の雪を除去してから開けてください。室内に水や雪が入るおそれがあります。

シートの調節

正しい運転姿勢

運転者は正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。

正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる姿勢をいいます。



同乗者も、シートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。助手席はインストルメントパネルに顔や胸が必要以上に近づかないようにシートを調節します。



⚠ 警告

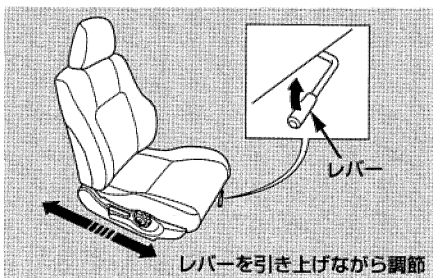
- シートに深く腰かけてください。また、背もたれは必要以上に倒さないでください。寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

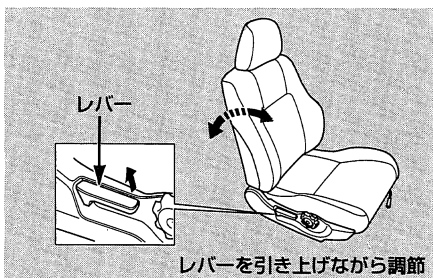
- 走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、固定されていることを確認してください。
- 背もたれと背中 사이에クッションなどをいれないでください。正しい運転姿勢がとれないばかりか、シートベルトなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- シートを操作するときは、操作する人やまわりの人の手や足などをはさまないように十分注意してください。
- 前席シートの下に物を置かないでください。物がはさまってシートが固定されず思わぬ事故につながるおそれがあります。

前席シート

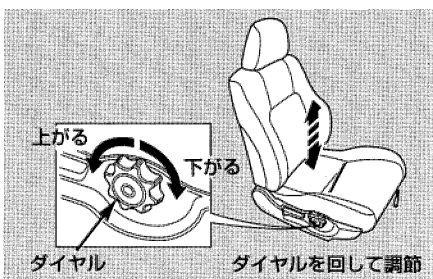
●前後位置の調節



●背もたれの調節



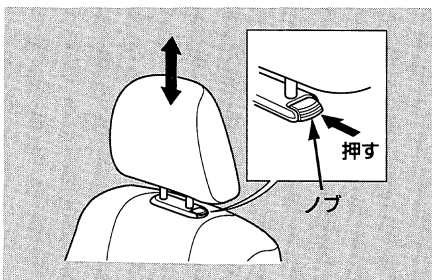
●高さの調節 (運転席のみ)



●ヘッドレストの調節

高くするときは、ヘッドレストを持ち上げます。

低くするときはノブを押しながらヘッドレストを下げます。



走行する前にヘッドレストの上端が耳の上端と同じ高さかそれ以上になるように調節し、確実に固定します。

⚠ 警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを越えて使わないでください。衝突のときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。走行前に必ず正しい位置に調節してください。

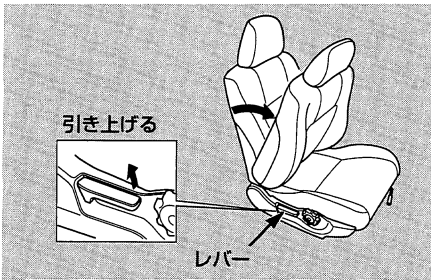


●後席への乗り降り

乗り降りの際はシートベルトに足を引っかけないようにしてください。

運転席

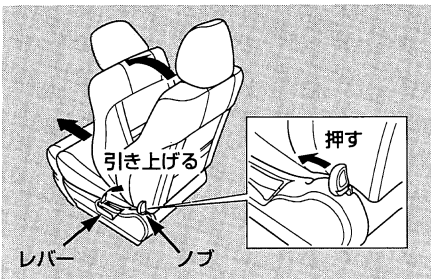
レバーを引き上げると、背もたれが前へ倒れます。



助手席（ウォークイン機構）

背もたれを前に倒すと同時に、助手席全体が前へ移動して乗り降りがしやすくなります。

▼
レバーを引き上げるか、ノブを前へ押します。



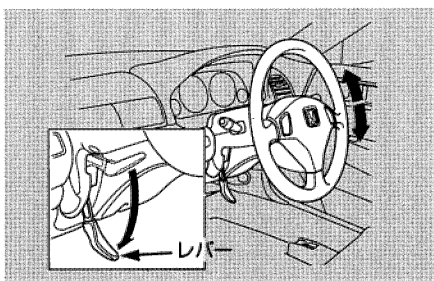
ハンドル・バックミラーの調節

チルトステアリング (上下調節式ハンドル)

ハンドルの高さを適切な位置に変えることができます。



ハンドルコラムの左にあるレバーを押し下げ、ハンドルの高さを適切な位置にして、レバーを元の位置まで確実に引き上げて固定します。



⚠ 注意

- 走行中に調節するとハンドルが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、ハンドルに上下方向の力を加え固定されていることを確認してください。

ルームミラー

📖 知識

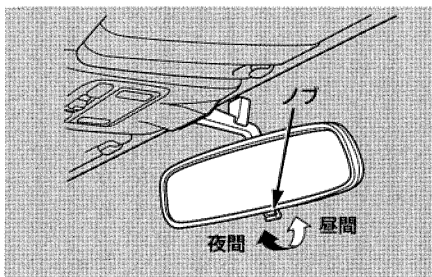
- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

● 防眩式ルームミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。



ノブを動かして切り換えます。



角度調節はノブを昼間の位置にして行ってください。



ドアミラー

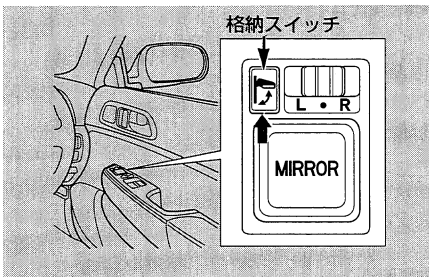
知識

- ミラーを格納したまま走行しないでください。また、走行中はミラーの調節を行わないでください。
- ミラーを格納するときは、周囲の人の手などをはさまないようにしてください。

格納のしかた

エンジンスイッチが「II」のときスイッチで左右のミラーを折りたたむことができます。狭い所へ駐車をするときに便利です。

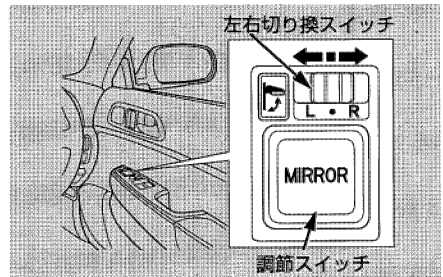
格納スイッチを押すとミラーがたたまれます。もう一度スイッチを押すと元の位置に戻ります。



角度調節のしかた

エンジンスイッチが「II」のときスイッチを操作すると、ミラーの角度調節ができます。

- ①左右切り換えスイッチを調節したい方に動かします。
- ②調節スイッチで角度を調節します。



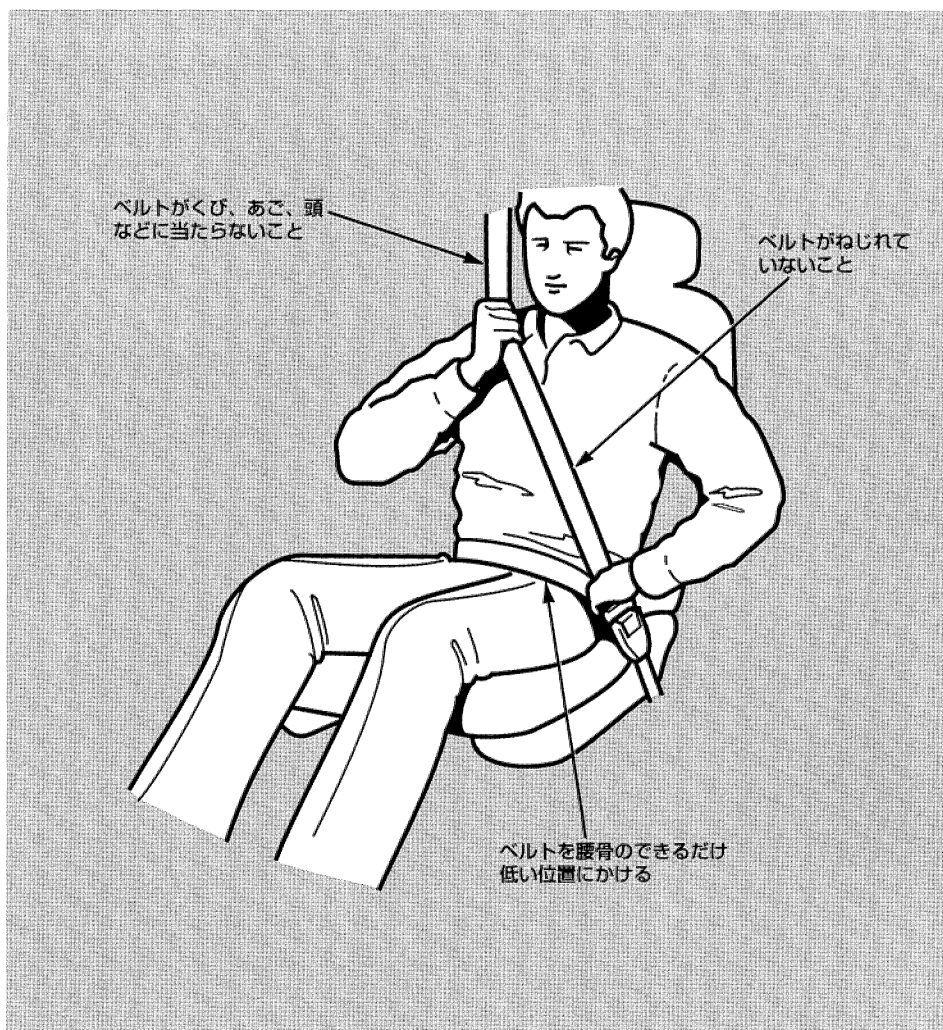
直接手でミラーを動かして角度を調節することもできます。

シートベルト

シートベルトについて

シートベルトは、車を運転するまえに運転者は正しい運転姿勢で着用し、同乗者にも必ず着用させてください。

特に前席は、法律でも義務づけられています。





⚠ 警告

- シートベルトは全員が着用してください。
着用しないと、衝突したときなどに重大な傷害を受けたり死亡することがあります。
- シートに深く腰かけてください。また、背もたれは必要以上に倒さないでください。
寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまにもシートベルトを着用させるか、チャイルドシートなどをお使いください。
お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けたり死亡するおそれがあります。

⚠ 注意

- シートベルトを正しく着用していないと本来の機能をはたさず、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
 - ・ ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にぴったり着用してください。
ベルトが腰骨からずれていると腹部などに強い圧迫を受けます。
 - ・ ベルトはねじれがないように着用してください。
ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、局部的に強い力がかかります。
 - ・ ベルトがくび、あご、顔などに当たらないように着用してください。
 - ・ 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。
 - ・ 三点式シートベルトは腕の下に通して着用しないでください。
ベルトが肩に十分かかっていないと前方に投げ出されるおそれがあります。
 - ・ ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけないでください。
- 妊娠中の女性や疾患のあるかたのベルトの着用は、万一のとき腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがありますので、医師にご相談ください。

●三点式シートベルト

体の動きにあわせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

シートベルト警告灯

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまでメーター内のシートベルト警告灯が点灯し続けます。

テンションリデューサー

(前席のみ)

ベルト着用時の圧迫感を軽減する装置です。エンジンスイッチが“II”でシートベルトを着用したときに、はたらきます。

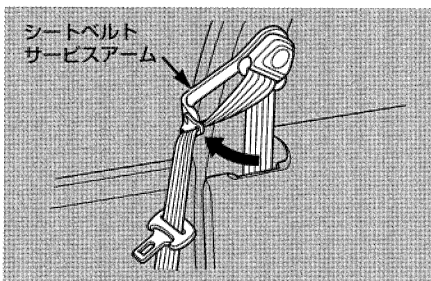
シートベルトサービスアーム

(運転席のみ)

シートベルトをより使いやすくするためのものです。



シートベルトサービスアームを車両前方に“カチツ”という音がする位置まで持ち上げて使用してください。

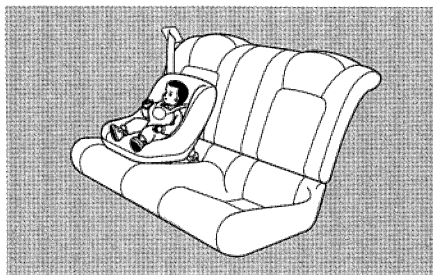


●お子さまを乗せるときは

お子さまは、後席に乗せシートベルトを着用させてください。

ただし、装備されているシートベルトは大人用ですので、ベルトがくびやあごに当たる場合や腰骨にかからない場合は、チャイルドシートやジュニアシートを使用してください。シートベルトをそのまま使うと、衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。

また、ひとりですわることのできない小さなお子さまはベビーシートを使用してください。

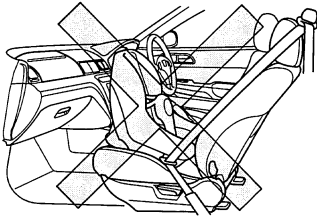




⚠ 注意

助手席には、ベビーシートを取り付けたり、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。エアバッグが膨らむ際、ベビーシートや、チャイルドシートの背面に強い衝撃を受け、傷害を受けるおそれがあります。

また、やむをえず前向きに取り付ける場合は、エアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。



🎓 知識

- ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートは、お子さまの体重や身長によりお使いになれるタイプや取り付け方法が異なります。ご購入、ご使用に際してはホンダベルノ店にご相談ください。

《選択の目安》

| | 体重(kg) | 身長(cm) | 参考年齢 |
|----------|--------|---------|--------|
| ベビーシート | ~10 | ~75 | ~12か月 |
| チャイルドシート | 7~16 | 65~100 | 4か月~4才 |
| ジュニアシート | 15~32 | 100~135 | 4才~10才 |

●シートベルトの取り扱い、手入れ

- ・ベルトを着用した状態で万一、事故にあった場合は機能を損なっている可能性があるため、ベルト一式を交換してください。

また、ベルトにほつれ、すりきれ、破れなどができたときも交換してください。

- ・シートベルトを十分に機能させるために、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。
- ・ベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に布をひたしてふき取り乾かしてください。薬剤を使ったり漂白や染色は絶対しないでください。ベルトを弱めます。

着用のしかた

●三点式シートベルト

①正しい運転姿勢でシートにすわりま
す。

(→44ページ)

②タンクプレートをつかみ、ゆっくり
引き出します。



③ベルトにねじれがないようにし、タ
ングプレートをバックルの中へ“カチ
リ”と音がするまで差し込みます。



④ベルトがねじれたり、引っかかっ
たりしていないかを確認します。

⑤ベルトを腰骨のできるだけ低い位置
にかかるように引き、たるみがない
ように身体に密着させます。



⑥外すときはバックルの“PRESS”ボタ
ンを押します。

ベルトが自動的に収納されますの
で、引っかかったり、ねじれたりし
ていないかを確認します。



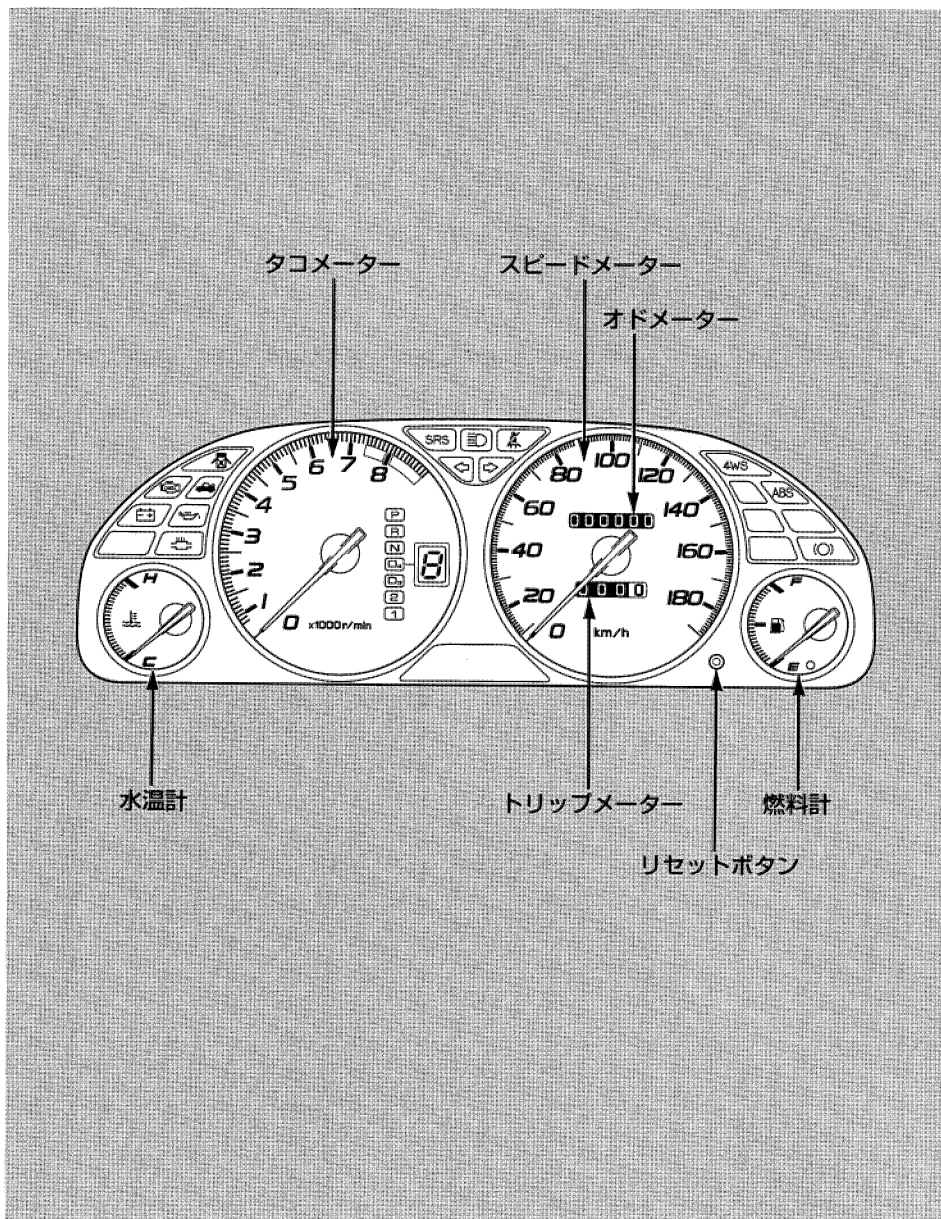
2

車を運転するときに

| | | | |
|-----------------|----|----------------|----|
| ●メーター | 56 | ●運転のしかた | |
| ●表示灯 | 58 | エンジンのかけかた | 74 |
| ●警告灯 | 60 | 駐車ブレーキ | |
| 警告灯の電球切れの点検 | 65 | (パーキングブレーキ) | 76 |
| ●スイッチの使いかた | | チェンジレバーの操作 | 78 |
| エンジンスイッチ | 66 | セレクトレバーの操作 | 80 |
| ライトスイッチ | 68 | オートマチック車の | |
| 方向指示器(ウィンカー) | | 運転のしかた | 86 |
| スイッチ | 69 | ●4WS(4輪操舵システム) | 96 |
| 非常点滅表示灯(ハザード) | | | |
| スイッチ | 69 | | |
| フォグライトスイッチ | 70 | | |
| ワイパー/ウォッシャースイッチ | 70 | | |
| リヤデフロスタースイッチ | 72 | | |
| ホーンスイッチ | 73 | | |

メーター

イラストは代表例を掲載しています。





スピードメーター

走行速度をkm/hで示します。

タコメーター

1分間あたりのエンジン回転数を示します。

アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、下表の限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。

| タイプ | 限界回転数 (rpm) |
|-----|-------------|
| Xi | 6,300 |
| Si | 6,500 |
| SiR | 7,400 |

● オートマチック車

停車中の空ぶかしは、エンジン回転数が下表の回転数になると燃料供給が停止されます。

| タイプ | 回転数 (rpm) |
|--------|-----------|
| Xi, Si | 5,000 |
| SiR | 5,500 |

オドメーター

走行距離の累計をkmで示します。

トリップメーター

区間距離を知りたいときは、リセットボタンを押して“0”に戻して使います。

燃料計

エンジンスイッチの位置に関係なく常に燃料の残量を示します。

“E”に近づいたら早めに補給してください。

燃料補給について →38ページ

知識

- 燃料補給後、エンジンスイッチを“II”にしてから正しい量を示すまで、しばらく時間がかかります。

水温計

エンジン冷却水の温度を示します。

走行中は目盛の赤いマークより下側をさすのが正常です。

アドバイス

- 針が赤いマークに入った場合はオーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停めてエンジンを冷やしてください。そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となります。

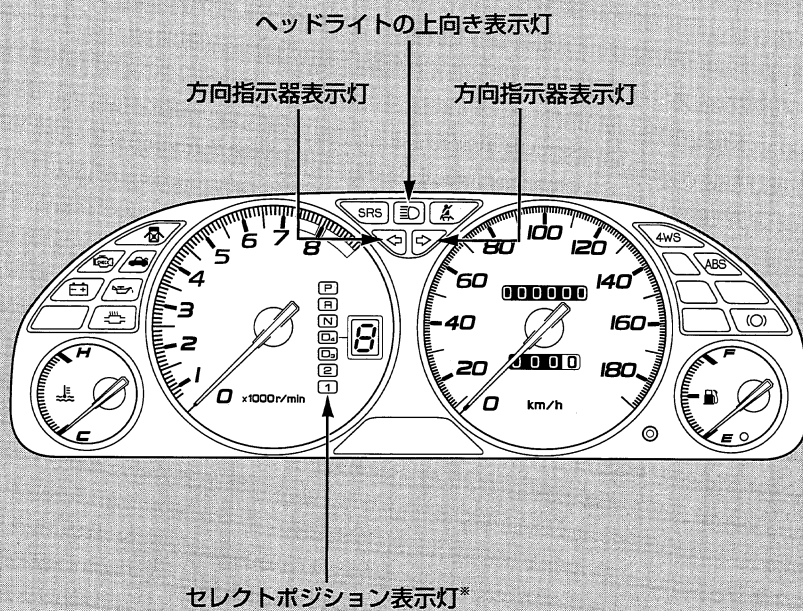
オーバーヒートしたとき

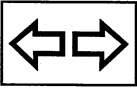
→200ページ

表示灯

イラストは代表例を掲載しています。

※タイプにより装備の有無があります。





方向指示器表示灯

方向指示器のランプの点滅状態を表示します。

知識

- 電球が切れたときや、ワット(W)数の違ったものを使ったときは、表示灯の点滅周期が異常になります。

電球(バルブ)の交換

→206ページ

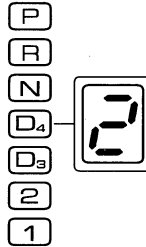
電球(バルブ)のワット数

→240ページ



ヘッドライトの上向き(ハイビーム)表示灯

ヘッドライトが上向きのときに点灯します。




セレクトポジション表示灯 (トランスミッション警告灯兼用)

オートマチック車

使用中のセレクトレバー位置が表示されます。

シーケンシャルモード時は、右側にギヤの位置が表示されます。

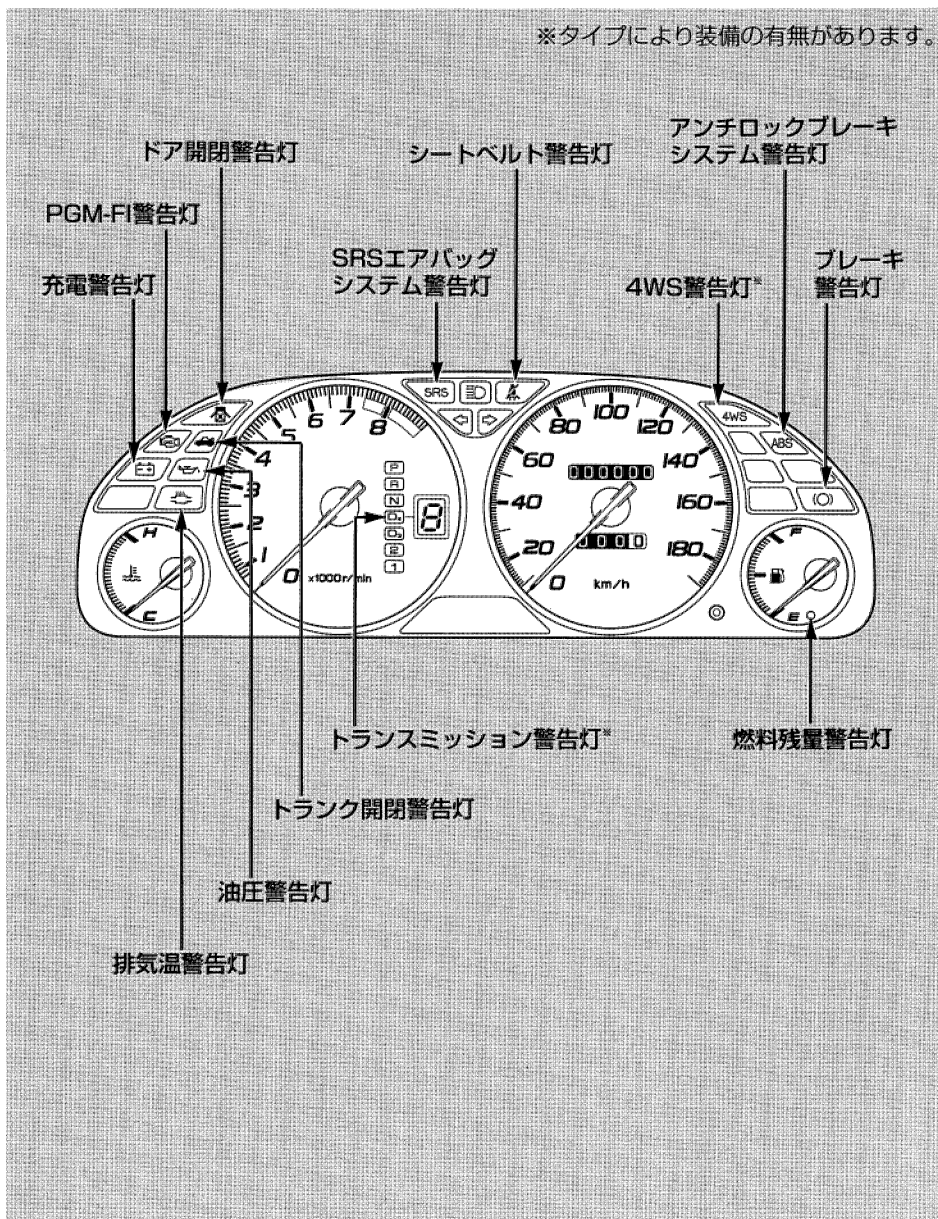
トランスミッションが異常のときには、が点滅します。

トランスミッション警告灯 →63ページ

警告灯

イラストは代表例を掲載しています。

※タイプにより装備の有無があります。





油圧警告灯

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。

点灯したときは

エンジン回転中に点灯した場合は、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。

エンジンオイルが減っていないのに点灯したときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、ただちにホンダベルノ店へご連絡ください。

アドバイス

- 点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。



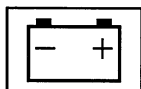
ブレーキ警告灯

駐車ブレーキレバーが完全に戻っていないときやブレーキ液量がいちじるしく減少しているときに点灯します。

点灯したときは

走行中点灯したときや駐車ブレーキを解除しても消灯しないときは、

- ①ブレーキ液量を点検します。
- ②下限より下がっていたらただちにホンダベルノ店へご連絡ください。
ブレーキ液量が下限以下になっていないのに点灯するときや、駐車ブレーキをかけても点灯しないときは、お早めにホンダベルノ店で点検を受けてください。

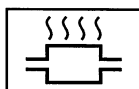


充電警告灯

充電系統が異常のときに点灯します。
(排気温警告灯も同時に点灯します。)

点灯したときは

走行中に点灯した場合は、電気の消費を減らすため、エアコンスイッチ、リヤデフロスタースイッチを“OFF”にして、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。



排気温警告灯

触媒装置の温度が異常に高いときに点灯します。

点灯したときは

- ①走行中に点灯したときは、枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10分以上エンジン进行を止めて、冷えるまでお待ちください。
- ②走行中に一度点灯した警告灯は、触媒装置の温度が下がっても修理するまで消灯しません。触媒装置保護のため、急加速、急減速などの無理な運転を避け、50km/h以下の速度で、最寄りのホンダベルノ店まで走行し点検を受けてください。



アドバイス

- 警告灯が点灯した状態で運転は続けしないでください。触媒装置を焼損することがあります。



知識

- 充電警告灯が点灯すると排気温警告灯も同時に点灯します。この場合は充電系統の異常を知らせています。



PGM-FI警告灯

エンジン制御システムが異常のときに点灯します。



点灯したときは

運転中に点灯した場合は、高速走行を避けて、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。



トランスミッション警告灯 (セレクトポジション表示灯兼用)

オートマチック車

トランスミッションが異常のときに点滅します。



点滅したときは

走行中に点滅した場合は、急発進、急加速を避けて、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。



シートベルト警告灯

エンジンスイッチを「II」にすると、運転席シートベルトを着用するまで点灯し続けます。



警告灯

燃料残量警告灯

燃料タンク内のガソリン残量が9ℓ前後になったときに点灯します。

燃料の補給 →38ページ



ドア開閉警告灯

ドアが完全に閉まっていないときに点灯します。



ドアを完全に閉めてください。



トランク開閉警告灯

トランクが完全に閉まっていないときに点灯します。



トランクを完全に閉めてください。

4WS

4WS警告灯

4WS装備車

4WSシステムが異常のときに点灯します。

→98ページ

SRS

SRSエアバッグシステム警告灯

SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。

→109ページ

ABS

アンチロックブレーキシステム (ABS) 警告灯

ABSが異常のときに点灯します。

(運転中に数秒間点灯してもすぐ消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。)

→111ページ



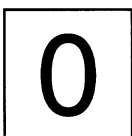
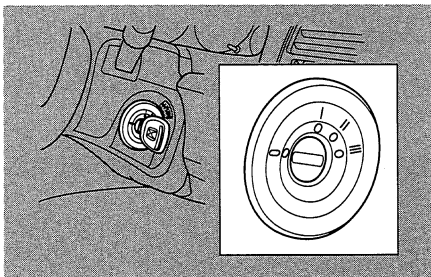
警告灯の電球切れの点検

エンジンスイッチを“II”にしたとき、下記の警告灯類が点灯するのが正常です。

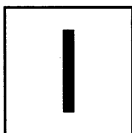
- 油圧警告灯
（エンジン始動後消灯）
- ブレーキ警告灯
（駐車ブレーキレバーを完全に戻すと消灯）
- 充電警告灯
（エンジン始動後消灯）
- 排気温警告灯
（エンジン始動後消灯）
- トランスミッション警告灯
（数秒後消灯）
- PGM-FI警告灯
（数秒後消灯）
- 4WS警告灯
（エンジン始動後消灯）
- SRSエアバッグシステム警告灯
（約6秒後消灯）
- アンチロックブレーキシステム
（ABS）警告灯
（数秒後消灯）

スイッチの使いかた

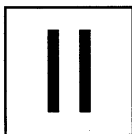
エンジンスイッチ



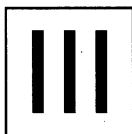
キーを抜き差しする位置です。



エンジンをかけずにラジオなどのアクセサリーを使用するときの位置です。



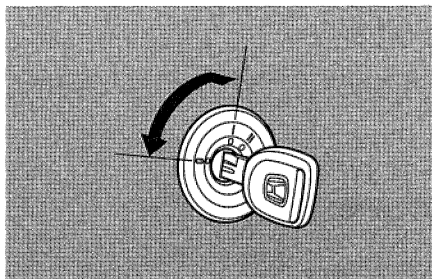
運転するときの位置です。



エンジン始動位置です。始動したら、キーから手を離してください。自動的に「II」に戻ります。

キーを抜くとき

「I」でキーを押し込んで「0」まで回してキーを抜けば、ハンドルは固定されます。



「0」から「I」にキーが回らないとき

ハンドルを左右に回しながらキーを回せば容易に回ります。



⚠ 警告

- 走行中はエンジンを止めないでください。
マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にするとキーが抜けることがあり、ハンドルがロックされ、思わぬ事故につながります。

🎓 知識

- エンジンを止めた状態で“II”のまま、長時間放置しないでください。バッテリー容量が低下し、エンジンがかからなくなることがあります。
- 車から離れるときは、バッテリー保護のため必ず“0”にしてください。

●キー抜き忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが“I”または“0”でキーを差し込んだまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りキーの抜き忘れを知らせます。

●キーインターロックについて

オートマチック車

キーを抜くときは、セレクトレバーをⅡに入れます。

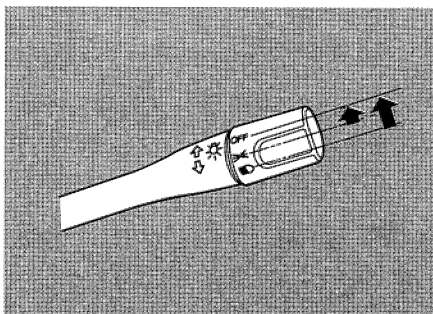
🎓 知識

- セレクトレバーがⅡ以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。

ライトスイッチ

●ライトの点灯・消灯

エンジンスイッチの位置に関係なく次のように点灯、消灯します。



| スイッチ位置 | ☺☺☺ | ☺☺ |
|-------------------------|-----|----|
| ヘッドライト | — | 点灯 |
| 計器類照明灯 車幅灯・尾灯 番号灯 | 点灯 | 点灯 |

🎓 知識

- エンジンが止まっている状態で、ライト類を点灯したままにしないでください。バッテリーあがりの原因となります。

●ライト消し忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが「I」または「0」で、ライトを消し忘れたまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りライトの消し忘れを知らせます。

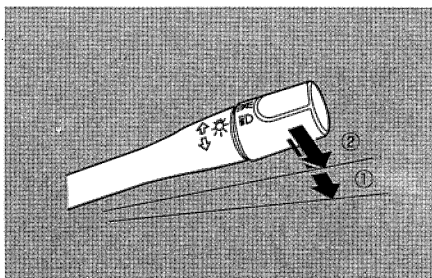
●ヘッドライトの上向き(ハイビーム)と下向き(ロービーム)の切り換え

レバーを①の位置まで引くと、上向きと下向きの切り換えができます。

上向きのときは、メーター内の表示灯が点灯します。

ヘッドライトの上向き(ハイビーム)表示灯

→59ページ



🎓 知識

- 対向車のあるときや市街地走行など、上向きが不適切なときは下向きにします。

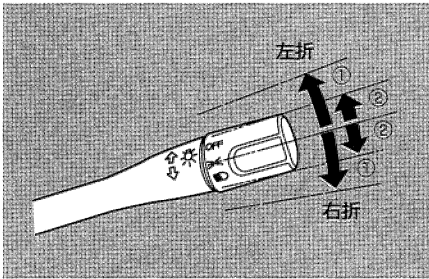
●追越合図(パッシング)

ヘッドライトが下向きのときに、レバーを軽く②の位置まで引いている間、上向きが点灯します。



方向指示器(ウィンカー) スイッチ

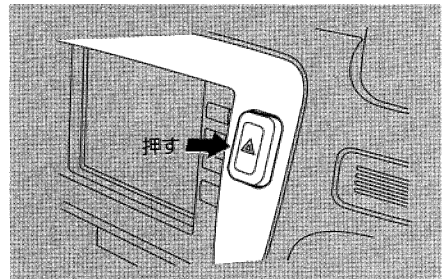
エンジンスイッチが「II」のとき使えます。ふだんは①の位置で使います。この位置ではハンドルの切り角が小さいときには戻らない場合もあります。戻らないときは手で戻してください。車線変更などでは②の位置に軽く手で押さえながら使います。



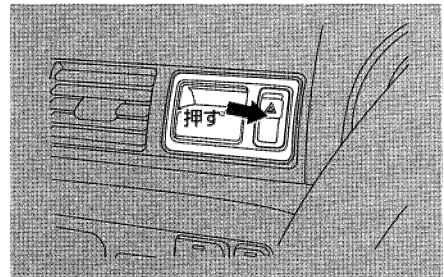
非常点滅表示灯(ハザード) スイッチ

スイッチを押すとすべての方向指示器のランプが点滅します。故障でやむをえず路上駐車するとき使います。

ナビゲーションシステム装備車



ナビゲーションシステム非装備車



知識

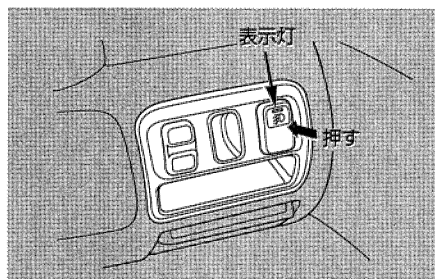
- 非常時にのみお使いください。完全充電の新しいバッテリーでも約2時間以上使うとバッテリー容量が低下し、エンジンの始動ができなくなります。

フォグライトスイッチ

タイプ別装備

ライトスイッチが“OFF”以外のときスイッチを押すとフォグライトが点灯します。同時にスイッチ内の表示灯が点灯します。

もう一度押すと消灯します。

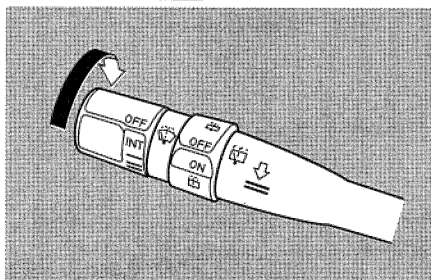


ワイパー/ウォッシャー スイッチ

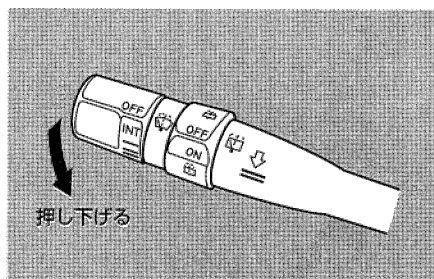
エンジンスイッチが“II”のとき使えます。

●フロントガラス

ワイパースイッチ



OFF……………停止
INT(間欠)……………雨量の少ないとき
一(低速)……………普通雨量のとき
二(高速)……………雨量の多いとき



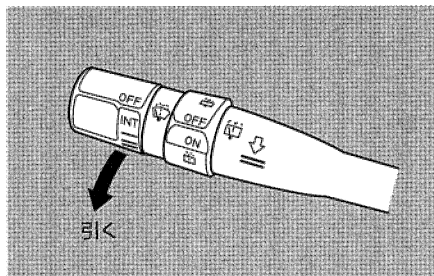
レバーを押し下げている間、高速で作動します。

霧や小雨のときなどに使うと便利です。



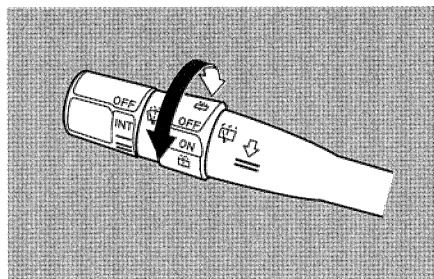
ウォッシャースイッチ


レバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射します。レバーを引いている間はワイパーが作動し、レバーを離れた後さらに2～3回作動します



● リヤガラス

タイプ別装備



- OFF……………停止
 ON……………ワイパーが作動します。
……………スイッチを回している間、ウォッシャー液が噴射します。

⚠ 注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

- 空ぶきをしないでください。ガラス面に傷をつけたり、ブレード(ゴム部)を傷めたりします。
 - ウォッシャー液が出ないときはウォッシャースイッチを切ってください。ウォッシャー液がないままで動かすとポンプの故障の原因となります。
 - 寒冷時、ブレード(ゴム部)がガラス面に張りつくことがありますのでヒーターでフロントガラスを暖めてください。凍りついたまま動かすとブレード(ゴム部)を傷めたり、ワイパーモーターの故障の原因となります。
- デフロスター →123、131ページ
- ワイパーアームを起こすときは、運転席側を先に起こしてください。また、倒すときは、助手席側を先に倒してください。

→235ページ

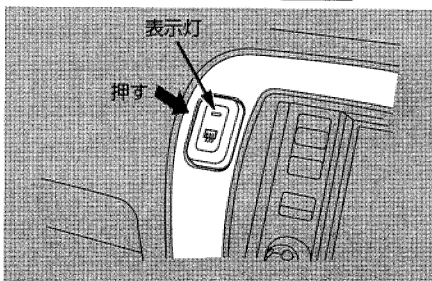
リヤデフロスタースイッチ

リヤガラスを暖め、曇りを取ることができます。

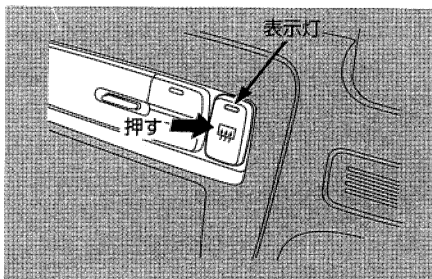


エンジンスイッチが「II」のときスイッチを押すと「ON」になり、同時に作動表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと「OFF」になり、作動表示灯は消灯します。

ナビゲーションシステム装備車



ナビゲーションシステム非装備車



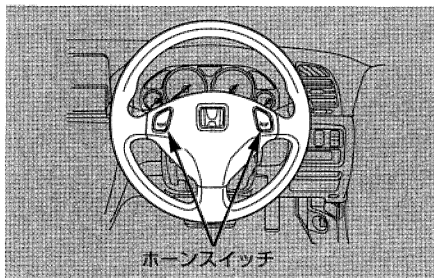
知 識

- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたら「OFF」にしてください。また、エンジンの回転が低いとき長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。
- リヤガラスの内側に電熱線が装着されています。電熱線は傷つきやすいので清掃のときは電熱線に沿ってやわらかい布でふいてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。



ホーンスイッチ

ハンドルにあるスイッチを押すとホーンが鳴ります。



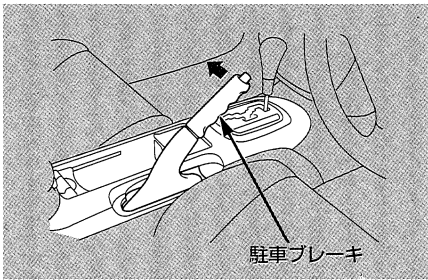
運転のしかた

エンジンのかけかた

●エンジンをかける前に

- ① 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。

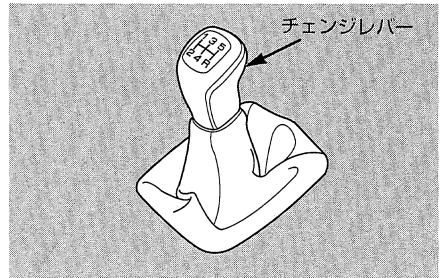
駐車ブレーキの操作 →76ページ



② **マニュアル車**

チェンジレバーをN (ニュートラル) にしてください。

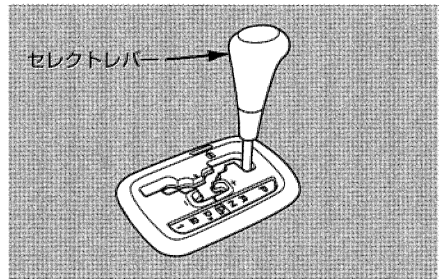
チェンジレバーの操作 →78ページ



オートマチック車

セレクトレバーがPの位置にあることを確認してください。

セレクトレバーの操作 →80ページ





●エンジンのかけかた

⚠警告

- 車庫や屋内などの換気の悪いところではエンジンをかけたままにしないでください。車内や屋内などに排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

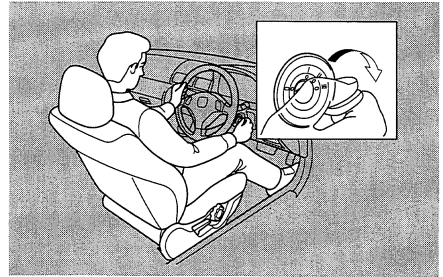
🛠アドバイス

- 排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのおいが消えない場合は、排気系や燃料系の異常が考えられますので、必ずホンダベルノ店で点検を受けてください。

📖知識

- 消費電力の大きいライト類、エアコン、リヤデフロスターのスイッチは“OFF”にした方が始動は容易になります。
- 寒い日や数日以上運転しなかったときは、エンジン保護のため必ず暖機が完了して(水温計の針が動き出して)から走行してください。
- バッテリーあがりを防ぐため、スターターは連続して15秒以上回さないでください。15秒回してもエンジンが始動しなかったときは、一度キーを“1”に戻して10秒以上待ってから再始動してください。

- ①アクセルペダルを踏まずに、エンジンが始動するまでスターターを回してください。

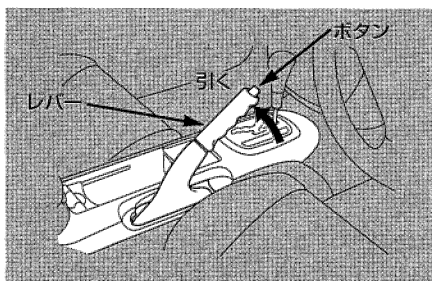


- ②エンジンがあたたまっていると始動に時間がかかることがあります。アクセルペダルを半分程度踏み込んだまま、スターターを回してください。エンジンが始動したらアクセルペダルを徐々に戻してください。
- ③エンジン始動後は、PGM-FIの働きによりエンジン回転が高くなりますが、自動的に適正回転に下がります。

駐車ブレーキ (パーキングブレーキ)

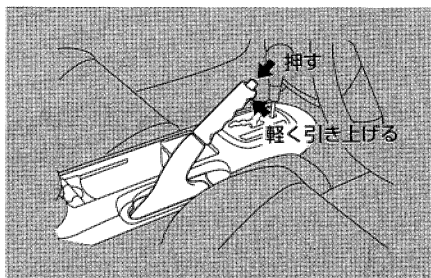
かけるとき

ボタンを押さずにレバーをいっぱい
引くと、後輪ブレーキがききます。

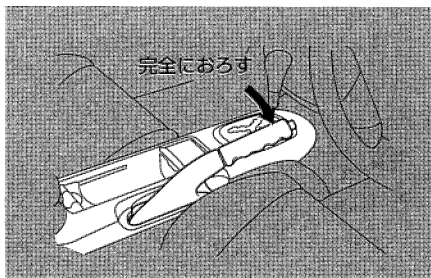


解除するとき

①レバーを軽く引き上げながら、ボタ
ンを押します。



②ボタンを押したまま、レバーを下に
完全におろします。





注意

- 駐車ブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

知識

- 駐車するときは、車が動き出さないように必ず駐車ブレーキをかけてください。

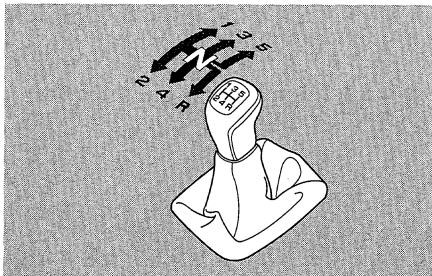
寒冷時の駐車ブレーキの取り扱い

→231ページ

チェンジレバーの操作

マニュアル車

●チェンジレバー



変速するときは、クラッチペダルをいっばいに踏み込んで、チェンジレバーを確実に操作します。

Rに入れるとき

誤操作を防ぐために、5からRへは直接入れられません。一度Nへ戻してからRに入れてください。

アドバイス

- 車が完全に止まらないうちはRに入れないでください。
トランスミッション破損の原因となります。

●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各チェンジレバー位置での速度範囲を参考に、シフトダウンしてください。

| レバーの位置 | 速度範囲 |
|--------|------------|
| 1 | 0～50km/h |
| 2 | 15～95km/h |
| 3 | 25～135km/h |
| 4 | 35km/h～ |
| 5 | 40km/h～ |



⚠ 注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。シフトダウンする際の車速には十分注意してください。

🛠 アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、下表の限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。

| タイプ | 限界回転数 (rpm) |
|-----|-------------|
| Xi | 6,300 |
| Si | 6,500 |
| SiR | 7,400 |

🎓 知識

- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じることがありますが、異常ではありません。

セレクトレバーの操作

オートマチック車

●それぞれの位置のはたらき

P

パーキング

駐車およびエンジンを始動する位置。
キーを抜く位置。

知識

- セレクトレバーがP以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。

R

リバース

車を後退(バック)させる位置。
チャ임が鳴り、セレクトレバーがRに入っていることを運転者に知らせます。

N

ニュートラル

中立位置。
(エンジン始動できますが、安全のためRで行ってください。)

D₄

ドライブ

通常の走行をする位置。
(1速から4速まで自動的に変速されます。)
シークエンシャルモードにすることができます。

D₃

上り坂、下り坂に使う位置。
(1速から3速まで自動的に変速されます。)

2

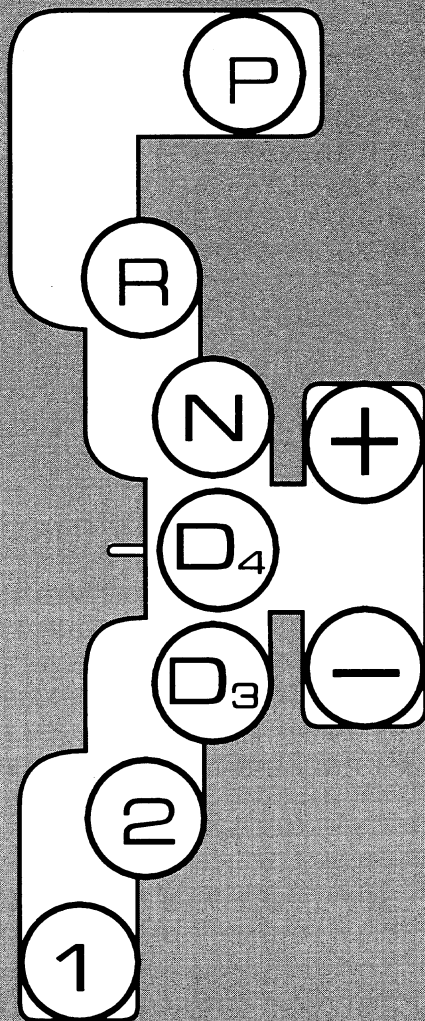
セカンド

エンジンブレーキが必要なときや、雪道などの滑りやすい路面での発進に使う位置。
(2速のまま変速されません。)

L

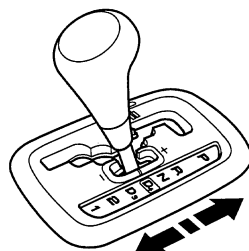
ロー

強力なエンジンブレーキが必要なときに使う位置。
(1速のまま変速されません。)

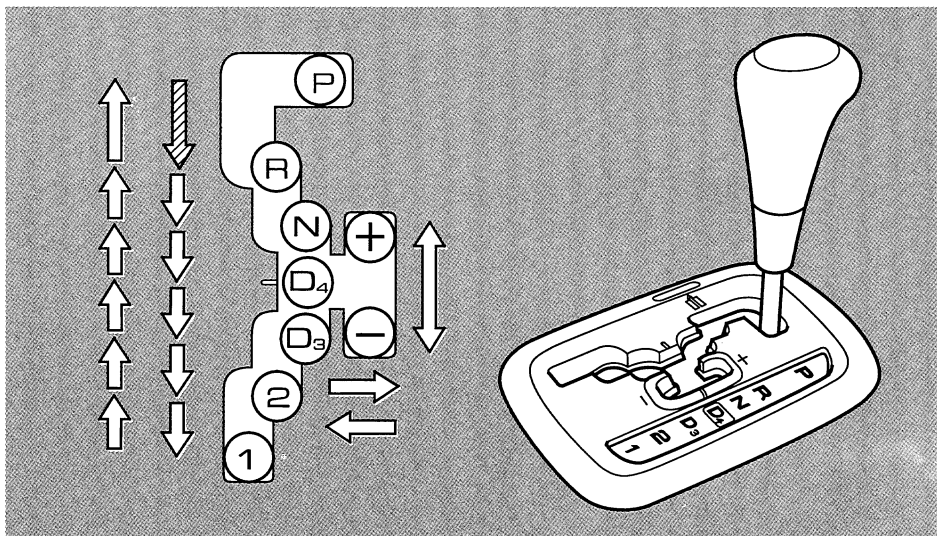


シーケンシャルモード

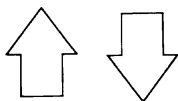
停車中や走行中に、セレクトレバーを④からシーケンシャルゲートに入れると、シーケンシャルモードがセットされマニュアルトランスミッションのような操作ができます。



●セレクトレバーの動かしかた



ブレーキペダルを踏んだまま、レバーをゲートにそって操作します。



そのままゲートにそって操作します。

🎓 知識

- セレクトレバーの操作は誤操作防止のため各位置ごとに節度をつけ、確実に行ってください。
- 回るときは、レバーを助手席側に動かしたままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができません。先にブレーキペダルを踏んでください。
- エンジンスイッチが“1”または“0”のときは、ブレーキペダルを踏んでも回から他の位置に切り換えられません。



●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各セレクトレバー位置での速度範囲内で切り換えを行ってください。

| セレクトレバーの位置 | 速度範囲 | 変速範囲 |
|----------------|-----------|--------------|
| D ₄ | 0km/h～ | 1↔2↔3↔4速(自動) |
| シーケンシャルモード | 0km/h～ | 1↔2↔3↔4速(手動) |
| D ₃ | 0km/h～ | 1↔2↔3速(自動) |
| 2 | 0～100km/h | 2速固定 |
| 1 | 0～60km/h | 1速固定* |

*：急激なエンジンブレーキによるショックを避けるため50km/h以上で1へ切り換えた場合は、一旦2速に入ります。

⚠注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。シフトダウンする際の車速には、十分注意してください。

🛠️アドバイス

- シーケンシャルモードでは自動的にシフトアップはしません。エンジン故障の原因となりますので、下記の限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。

| タイプ | 限界回転数 (rpm) |
|-----|-------------|
| Xi | 6,300 |
| Si | 6,500 |
| SiR | 7,400 |

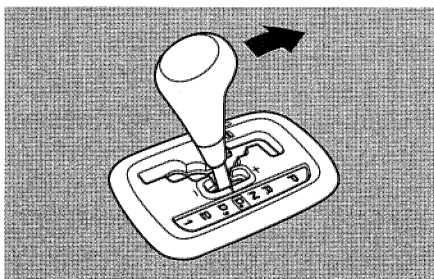
🏠知識

- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じることがありますが、異常ではありません。

●シーケンシャルモードの使いかた

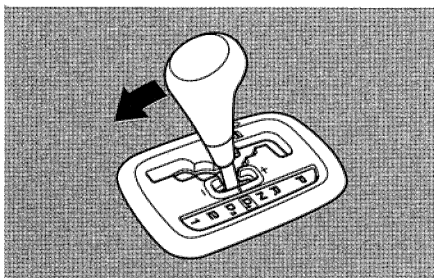
シフトアップするとき

レバーを+側に動かすとシフトアップ(高速ギアに変速)します。



シフトダウンするとき

レバーを-側に動かすとシフトダウン(低速ギアに変速)します。

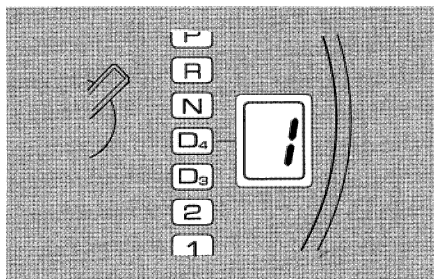


知識

- レバーを同じ方向に連続して動かしたときは、ギアを連続して変速します。

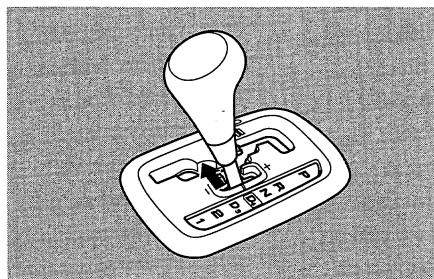
・シーケンシャルモード表示灯

シーケンシャルモードにすると、メーター内にあるセレクトポジション表示灯の横にギヤの位置を表示します。



シーケンシャルモードを解除するとき

レバーをメインゲートにもどすと、シーケンシャルモードは解除され通常のDモードにもどります。





●操作受けつけ车速

以下の条件のときに、スイッチを操作すると変速します。

| | シフトアップ | シフトダウン | |
|-------|----------|-----------|-----------|
| | | Xi、Si | SiR |
| 1速⇄2速 | 10km/h以上 | 50km/h以下 | |
| 2速⇄3速 | 10km/h以上 | 100km/h以下 | 108km/h以下 |
| 3速⇄4速 | 30km/h以上 | 145km/h以下 | 163km/h以下 |

また、シフトダウン時（4速→3速および3速→2速）に速度範囲を超えているときは、表示灯が点滅（最大約1秒間）します。点滅している間に车速が速度範囲内に下がったときはシフトダウンを行います。

📖 知識

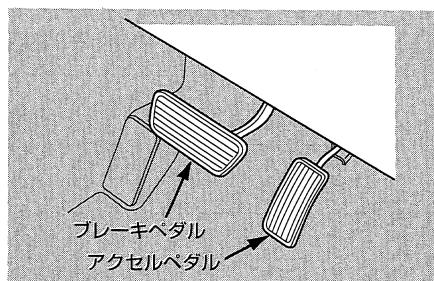
- シーケンシャルモードでは、発進は1速のみで行えます。
- 以下の場合、自動的にシフトダウンすることがあります。
 - ・10km/h以下になると、1速になります。
 - ・4速で30km/h以下になると、3速になります。
 - ・4速で30～50km/hのときに、登坂時に车速が下がったときや、降坂時にブレーキを踏んだときは3速になることがあります。
- エンジン始動直後の低温時に、シフトが出来ないことがあります。また、このときは📺モードになります。

オートマチック車の 運転のしかた

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り換えを自動化したもので、その分、操作の負担が軽くなり、運転が楽になりますが、運転の基本を十分理解し、正しく操作する習慣をつけてください。

エンジンをかける前に

正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。



知 識

- ペダルの踏みまちがいを防ぐため、ペダルの位置を実際に踏んでみて足におぼえさせておくことが重要です。
また、不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。
- 車を少し移動させるときにもペダルが確実に踏めるように、正しい運転姿勢をとりましょう。



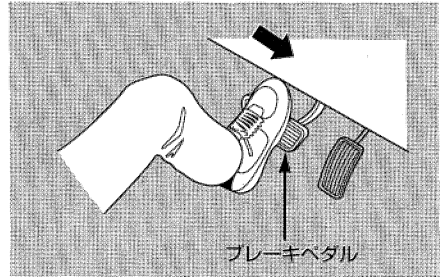
エンジン始動

- ① 駐車ブレーキがかかっていることを確認。
- ② セレクトレバーがPに入っていることを確認。

🎓 知識

- Nでも始動できますが、安全のため駆動輪が固定されるPで行ってください。

- ③ ブレーキペダルを右足で踏んで始動。

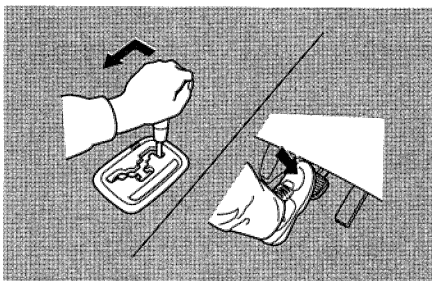


🎓 知識

- 始動時にアクセルペダル操作が必要な場合は、始動後、右足でブレーキペダルを踏んでください。

発進

- ①右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを前進は \square (または \square)、後退は \square に入れる。



- ②レバーの位置を目で再確認。
③駐車ブレーキをもどす。
④ブレーキ警告灯が消灯したことを確認。
(→61ページ)
⑤ブレーキペダルを徐々に離して、アクセルペダルをゆっくりと踏む。

⚠️ 注意

- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故の原因になります。

🎓 知識

- セレクトレバーを \square \square 以外に入れると、クリーブ現象により、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。ブレーキペダルを踏んでいてください。
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかり踏んでいてください。
- レバーを助手席側に動かしたままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- マニュアル車は、発進時の速度を、クラッチ操作とアクセル操作を併用して調節しますが、オートマチック車は、アクセル操作のみで行うので、アクセル操作は慎重に行ってください。



急な坂道での発進

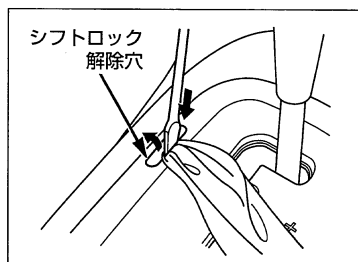
セレクトレバーの位置を目で確認し、

- ・ 駐車ブレーキをかけたままブレーキペダルを離し、
- ・ アクセルペダルをゆっくり踏んで、
- ・ 車が動き出す感触を確認しながら、
- ・ 駐車ブレーキをもどして発進。

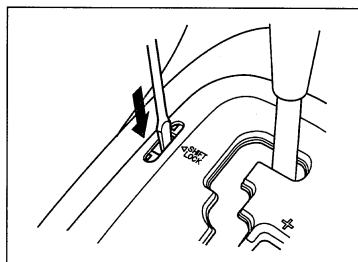
知識

- 万一、ブレーキペダルを踏んでも回から回や、回から回的位置に切り換えられないときは、

- ① ドライバーの先端に布等をまいてシフトロック解除穴のカバーをはずします。



- ② 解除穴にドライバーを差し込み、押しながらレバーを操作します。



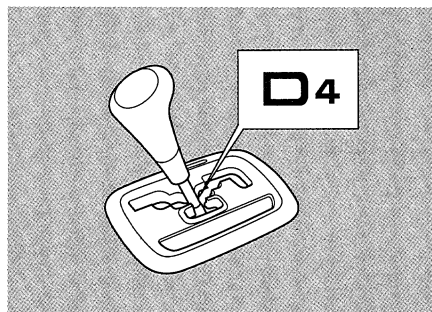
走行

走行中はセレクトレバーをDにしないでください。

知識

- Dにするとエンジンブレーキが全くきかなくなるため思わぬ事故の原因になります。またDにしても燃費の差はほとんどありません。

通常走行



セレクトレバーをDにして走行します。アクセルペダルの踏み加減と走行速度により、1速から4速まで自動的に変速されます。

注意

- 高速走行中に2または1に入れないでください。急激なエンジンブレーキがかかり、タイヤがスリップしたり、エンジンが過回転になり故障することがあります。

・シーケンシャルモード走行

停車中や走行中に、セレクトレバーをDからシーケンシャルゲートに入ると、シーケンシャルモードがセットされマニュアルトランスミッションのような操作ができます。

シーケンシャルモード →84ページ

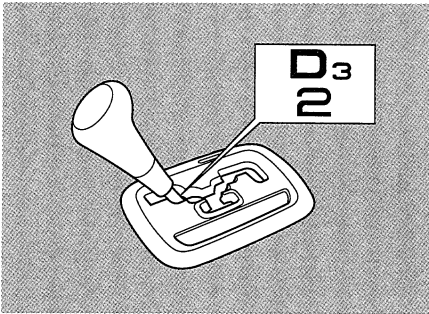


急加速したいとき

アクセルペダルをいっぱい踏み込むと、キックダウンして急加速します。

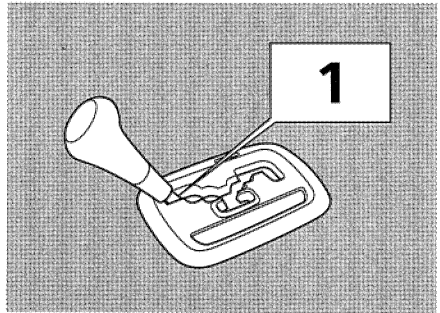
上り坂走行

坂の勾配に応じ、セレクタレバーをD₃またはD₂にしておくと、エンジン回転数の変化が少ない、なめらかな走行ができます。



下り坂走行

下り坂をD₃のまま走行すると、エンジンブレーキのききが弱く、速度が出すぎてしまうことがあります。このようなときには、セレクタレバーをD₂またはD₁にします。さらに強力なエンジンブレーキが必要なときは、D₁にします。シーケンシャルモードのときには、走行速度に合わせ、ギヤを一段ずつ落としてエンジンブレーキを併用してください。



⚠ 注意

- フットブレーキを使いすぎるとブレーキが過熱して、ききが悪くなるおそれがあります。長い下り坂や急な下り坂では、必ずエンジンブレーキを併用してください。

エンジンブレーキ →16ページ

停車

- ① ④のままブレーキペダルをしっかりと踏んでおく。
必要に応じて駐車ブレーキをかける。



アドバイス

- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂でP/N以外に入れた状態で、アクセルをふかしながら車を停止させたりしないでください。トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。

知識

- 急な上り坂での停車はクリーブ現象で前へ進もうとする力よりも車が後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退することがあります。ブレーキペダルを踏み、駐車ブレーキをかけてください。
- セレクトレバーがP/N以外でエアコンスイッチが入っている場合などは、エンジン回転数が断続的に高くなりクリーブ現象が強まります。ブレーキペダルを特にしっかりと踏み込んでください。
- セレクトレバーが中立の位置にあってもエンジンが冷えているときは、トランスミッションオイルの粘性により車がわずかに動き出すことがありますので、ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じて駐車ブレーキをかけてください。



②停車時間が長くなるときはセレクトレバーをNに入れる。

⚠ 注意

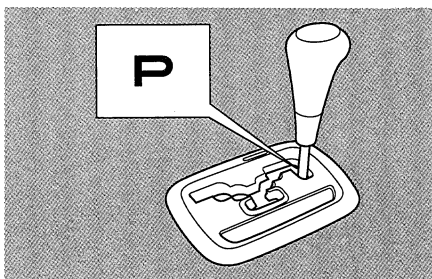
- 停車中、空ぶかしをしないでください。
万一、セレクトレバーがP/N以外のとき、思わぬ急発進の原因になります。

🎓 知識

- 停車後、再発進するときは、思い違いのないようセレクトレバーがNにあることを確認してください。

駐車

- ①車を完全に止める。
- ②ブレーキペダルを踏んだまま、駐車ブレーキをかける。
- ③セレクトレバーをPに入れる。



知識

- 駐車の際は、セレクトレバーが必ずPに入っていることを確認してください。セレクトレバーがPのときは、駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。

- ④エンジンを止める。

注意

- エンジンをかけたままにしておくと、万一、セレクトレバーがP/N以外に入っていたとき、クリーブ現象で車がひとりでに動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み急発進するおそれがあります。

アドバイス

- 車が完全に止まらないうちにPに入れないでください。トランスミッション破損の原因となります。



ほかに気をつけたいこと

車を少し移動させるとき

このような場合でも、正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

車を後退させるとき

この場合、体をうしろにひねった姿勢になり、ペダルの操作がしにくくなります。ブレーキペダルは確実に踏めるよう注意してください。

4WS(4輪操舵システム)

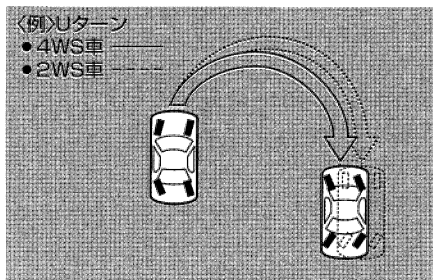
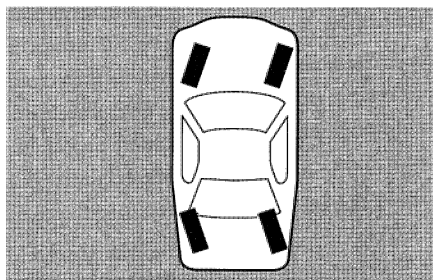
タイプ別注文装備

ハイパー4WSは、前輪だけを操舵する2WS(2輪操舵)に後輪の操舵を加えたシステムです。このシステムは車速、ハンドルの操作量およびハンドルを回す速さに応じて後輪の切れ角を変える電子制御の4輪操舵システムです。4WS車は、2WS車と比べて車体の軌跡が異なります。特に低速時は旋回半径が小さくなりますので慣れるまで十分注意してください。

●運転のしかた

低速走行(約30km/h以下)

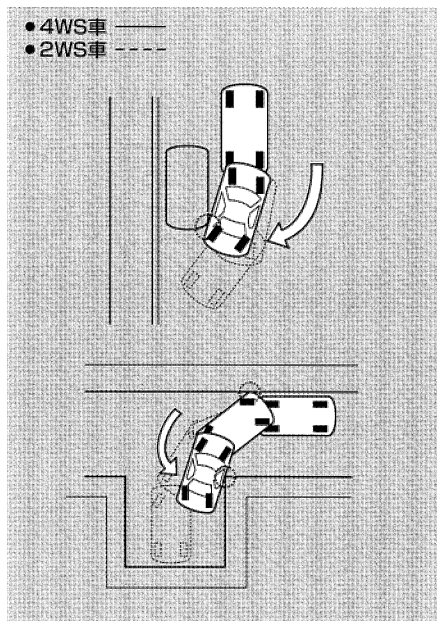
後輪の向きが前輪と逆方向に動きますので、車庫入れやUターンなどで小まわりができます。





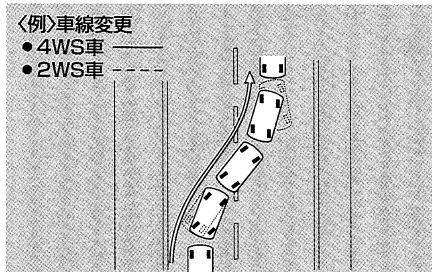
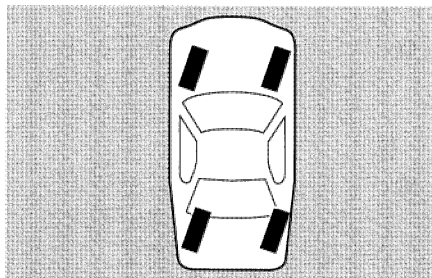
・後退時

2WS車よりも車体前部が外側にはみ出し、後部は内側に切れ込みます。



高速走行(約30km/h以上)

後輪の向きが前輪と同方向に動きますので、車線変更やゆるやかなカーブなどで車体の向きを大きく変えることなく安定した走行ができます。

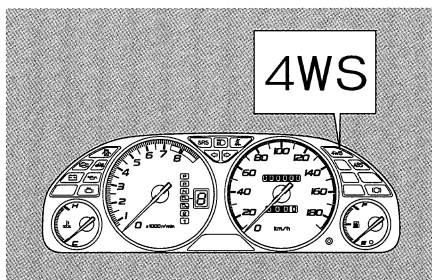


🎓 知識


- 4WSといえども、急な車線変更や無理な追い越しなど急なハンドル操作は避けてください。事故につながるおそれがあります。
- 4WSであってもカーブを曲がる速度には限界があります。カーブの手前では、十分に速度を落としてください。
- ハンドルをまわしたままでエンジンを止めると、後輪が直進方向に動きますが、再びエンジンを始動すると後輪の向きはもとに戻ります。
- エンジンがかかっているときにハンドルをまわしたまましばらく停車しておくと、後輪が直進方向に動きますが、ハンドルを動かすともとに戻ります。
- ジャッキアップするときは、必ずエンジンを止めて輪止めを確実に行ってください。また、ジャッキアップ中は、エンジンを始動しないでください。

●4WS警告灯

メーター内に組み込まれており、4WSシステムが異常のときに点灯します。



エンジンスイッチを「II」にしたとき点灯し、エンジン始動後に消灯するのが正常です。

 **アドバイス**

- 運転中に点灯した場合はいったん安全な場所に停車し、エンジンを止めてください。エンジン再始動後、一度点灯し、その後消灯していれば正常です。消灯しないときや走行中再び点灯するときは、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。なお、この場合後輪は直進状態に固定されます。

M

E

M

O

安全装備

- SRSエアバッグシステム
SRSエアバッグシステムの
しくみ……………102
SRSエアバッグシステムの
効果を十分に
発揮させるために……………106
取り扱いについて……………108
- アンチロックブレーキシステム
(ABS)
ABSのしくみ……………110
取り扱いについて……………111
- ビスカスリミテッドスリップデフ
(ビスカスLSD)
LSDのしくみ……………112
取り扱いについて……………112
- その他の安全装備……………113

SRSエアバッグシステム (運転席／助手席用シートベルト補助乗員保護装置)

SRSエアバッグシステムのしくみ

●SRSエアバッグシステムとは
前方向からの衝突により、エアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和する装置です。

SRSエアバッグシステムはシートベルトに代わるものではありません。必ず、シートベルトを着用してください。

警告

- SRSエアバッグシステム装備車であっても、必ずシートベルトを着用してください。シートベルトをしていないと衝突などのときエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

*SRS：サブリメンタルレストレイントシステム(Supplemental Restraint System)の略で補助拘束装置の意味

●どのように作動するか

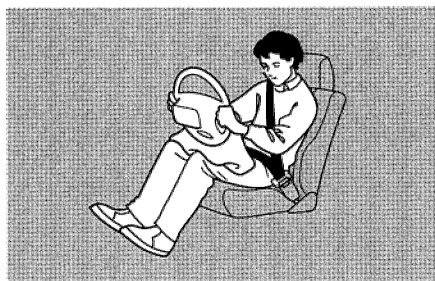
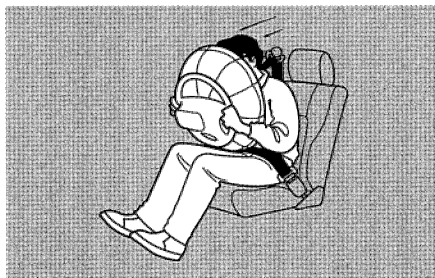
エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃(正しくシートベルトを着用していてもハンドルに顔面があたり、けがをするような場合)を感知するとシステムが作動し、エアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和します。

知識

- 膨らんだエアバッグはすぐにしぼみます。視界を妨げません。
- エアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。
- エアバッグは一度膨らむと再使用できません。ホンダベルノ店で交換してください。

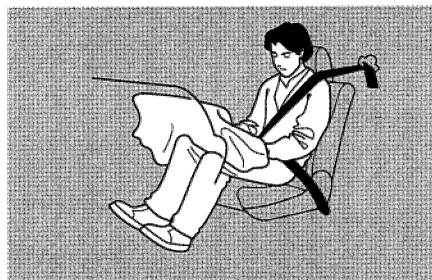
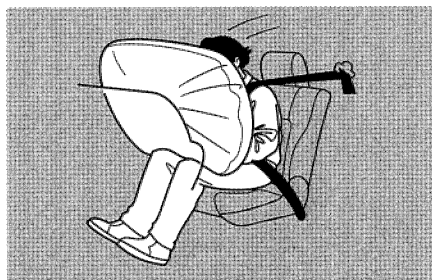


運転席用SRSエアバッグシステム



助手席用SRSエアバッグシステム

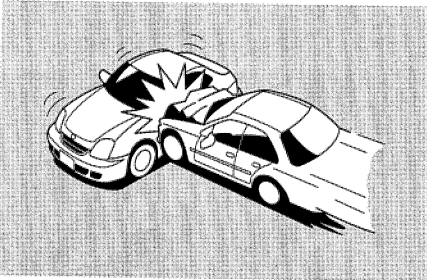
助手席用SRSエアバッグシステムは、同乗者がいなくても作動します。



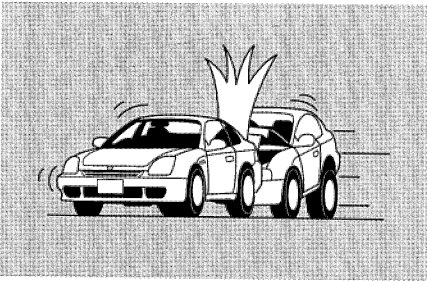
●作動しない場合があります。

次のような場合、エアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないので、システムは作動しません。

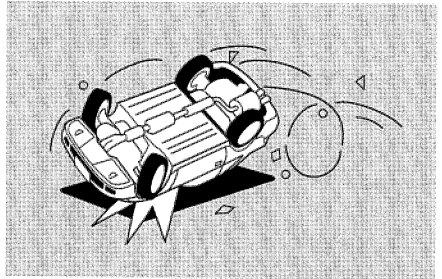
・横方向からの衝突



・後部からの衝突



・転覆

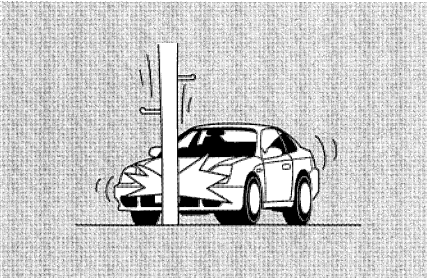


・シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突

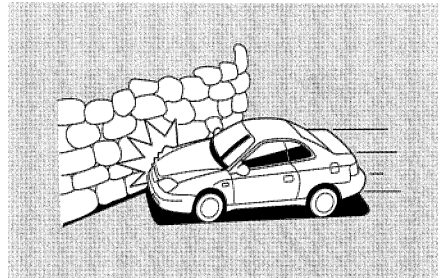


また、次のような衝突の場合、システムが正常であっても作動しないことがあります。

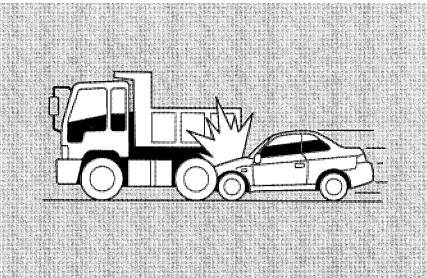
- ・ 出会い頭、電柱、立木などへの衝突



- ・ 部分的な衝突や斜め方向からの衝突



- ・ トラックなどへの潜り込み

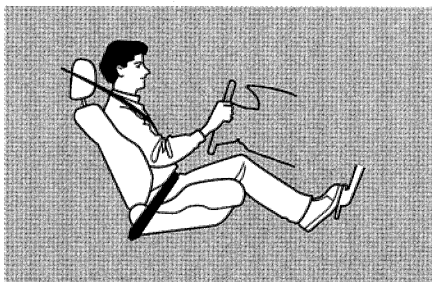


SRSエアバッグシステムの効果を十分に発揮させるために

●正しい乗車姿勢で

運転席

正しい運転姿勢(シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる状態)になるようにシートを調節します。

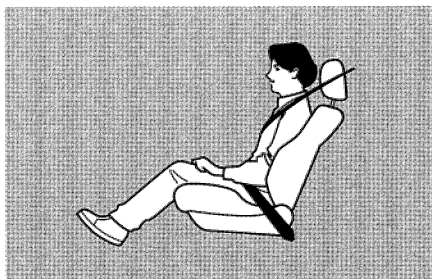


⚠ 注意

- ハンドルの顔や胸などを近づけていると、エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、けがをすることがあります。

助手席

シートに深く腰かけ、背中を背もたれから離さないようにします。



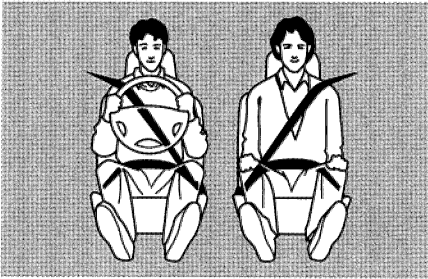
⚠ 注意

- インストルメントパネルに顔や胸などを近づけたり、手や足を置いたりすると、エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、けがをすることがあります。



●シートベルトは必ず着用

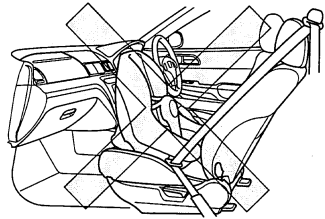
このシステムは、シートベルトと併用することでその効果を発揮します。必ず、シートベルトを着用してください。



●チャイルドシートなどの取り付けについて

⚠注意

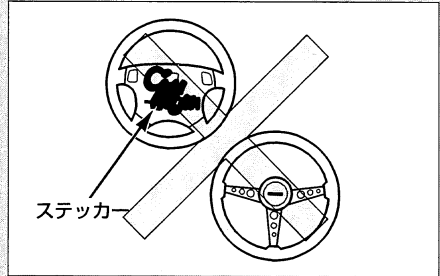
- 助手席には、ベビーシートを取り付けたり、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。エアバッグが膨らむ際、ベビーシートやチャイルドシートの背面に強い衝撃を受け、傷害を受けるおそれがあります。また、やむをえず前向きに取り付ける場合は、シートを一番後ろに下げてください。



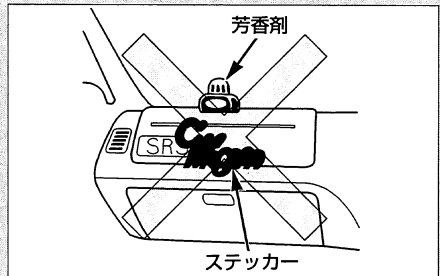
取り扱いについて

⚠ 注意

- エアバッグの取り外し、分解などはしないでください。
不適切に扱おうと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。
- ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりすると正常に機能しなくなります。



- インストルメントパネル上面にステッカー類を貼ったり、アクセサリや芳香剤など物を置かないでください。
また、フロントガラスにアクセサリなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。
正常に機能しなくなったり、作動時にこれらの物がとぶことがあります。



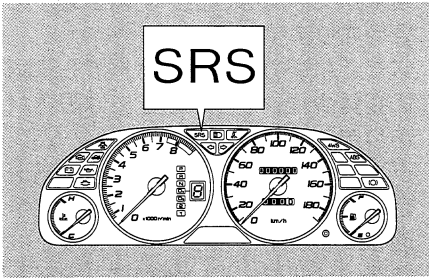
📖 知識

- ハンドルまわり、インストルメントパネルまわりやセンターコンソール付近の修理、カーステレオ等用品の取り付けおよびダッシュボード周辺の钣金塗装および修理をする場合は、SRSエアバッグシステムに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずホンダベルノ店にご相談ください。
- SRSエアバッグシステム装備車を廃棄するときは必ずホンダベルノ店にご相談ください。正しく取り扱わないとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。



●SRSエアバッグシステム警告灯

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

🚗 アドバイス

●警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。

- ・運転中に点灯したとき
- ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき

必要なときにエアバッグが膨らまないおそれがあります。

●定期点検について

SRSエアバッグシステムは、性能を維持するため、定期的に点検が必要です。点検は、お車を最初に登録してから10年後に1回目を、その後は5年ごとに受けてください。

アンチロックブレーキシステム (ABS)

ABSのしくみ

●ABSとは

急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとする装置です。

●作動について

- ・ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。これはABSが作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- ・低速(約10km/h以下)ではABSは作動せず、普通のブレーキと同じ作動になります。

知識

- エンジン始動時や、エンジンが冷えているときの発進時に、エンジンルームからモーター音等が聞こえることがありますが、これはシステムの動作チェックをしている音で異常ではありません。

●運転のしかた

- ・この装置は制動距離を短くするためのものではありません。ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすくなるほど長い制動距離が必要になります。
また、ABSが作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、ハイドロプレーニング現象が起こりやすい雨天時の高速走行などにおいても過信せず、安全運転に心がけてください。
- ・悪路、砂利道、深い新雪などの路面では、ABSの装備されていない車両に比べて制動距離が長くなる場合があります。
このような道路条件では速度は控えめにして車間距離を十分にとって運転してください。



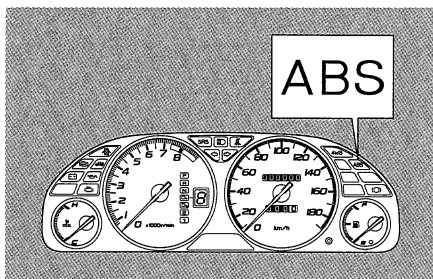
取り扱いについて

知識

- タイヤは必ず四輪とも同一指定サイズのものをお使いください。サイズ(外径)の異なるタイヤを混用すると、ABSが正常に機能しなくなることがあります。

●アンチロックブレーキシステム (ABS) 警告灯

メーター内に組み込まれており、ABSが異常のときに点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。また、運転中に数秒間点灯してもすぐ消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。

- ・運転中に点灯したとき(数秒間点灯してもすぐに消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。)
- ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき

なお、この場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。(ABSとしての作動はしません)

ビスカスリミテッドスリップデフ (ビスカスLSD)

タイプ別注文装備

LSDのしくみ

ビスカスLSDは走行条件によって発生する左右駆動輪の回転差に応じて駆動力を最適配分し、駆動力を有効に伝達するための装置です。

取り扱いについて

アドバイス

- 前輪は左右共、同一サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用するとビスカスLSDに悪影響をあたえます。

知識

- 前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した標準タイヤを前輪に取り付けてください。



その他の安全装備

ほかに、次のような安全装備を採用しています。

●シフトロック装置

セレクトレバーの誤操作防止を助けます。

(→21ページ)

●ハイマウントストップランプ

ストップランプを高い位置にも設置し、後方から見えやすくしています。

●後席三点式シートベルト

上半身も拘束する三点式シートベルトを後席にも採用しています。

(→52ページ)

●シートベルト警告灯

シートベルトの未着用をランプで知らせ、ベルトの着用を促します。

(→63ページ)

●ドアビーム

側面から外力が加わったときに、ドアの変形を抑える効果があります。

●ロールオーバーバルブ

車が転倒したとき、燃料タンクからの燃料流出を防止します。

●難燃性材料使用の内装

フロアカーペットやシートなどには、燃え広がりにくい素材を採用しています。

●リヤワイパー

雨天時の後方視界の確保に効果があります。

(→71ページ)

M

E

M

O

Handwriting practice area consisting of 15 horizontal dashed lines.

4

ドライブを 快適にする装備

●エアコン

吹き出し風の調節……………117

オートエアコン

(ナビゲーションシステム装備車) ……118

オートエアコン

(ナビゲーションシステム未装備車) ……126

●オーディオ

上手な使いかた……………134

アンテナ……………136

オーディオインデックス……………137

AM/FMラジオ一体式カセットステレオ

(CDチェンジャーコントローラー内蔵)

……………138、149、162

●室内装備品

時計……………172

室内灯……………173

スポットライト……………173

エンジンスイッチ照明灯……………173

シガレットライター……………174

灰皿……………175

サンバイザー……………176

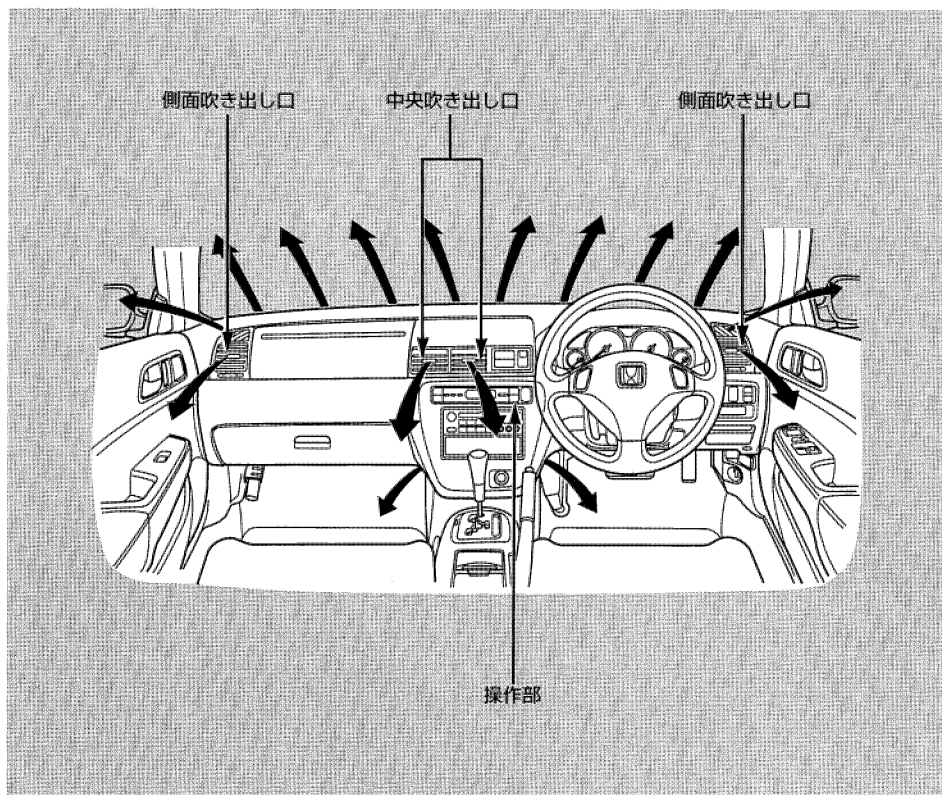
トランクスルー……………176

コインボックス……………177

小物入れ……………178

カップホルダー……………179

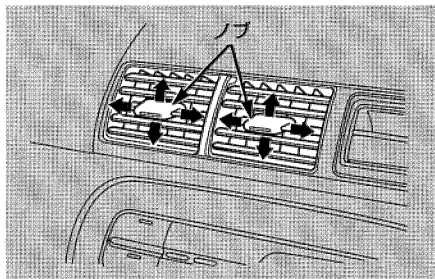
エアコン



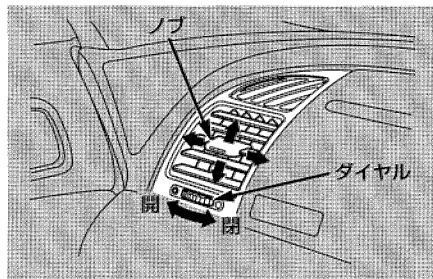


吹き出し風の調節

ノブを上下または左右に動かして、吹き出し風の向きを調節します。



側面の吹き出し口の開閉は、ダイヤルで行います。
送風が必要なときは、ダイヤルを“開”のほうに回します。

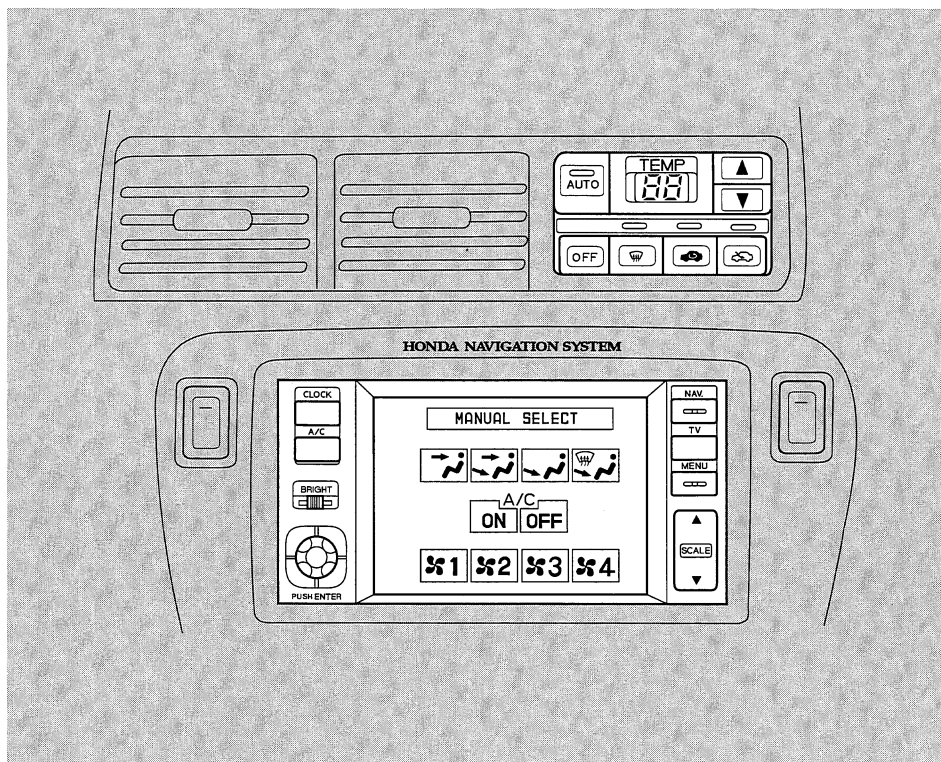


知識

- 側面ガラスが曇ったときは、吹き出し風がガラスに直接当るよう両側の吹き出し口の向きを調節すれば、より早く曇りを取ることができます。

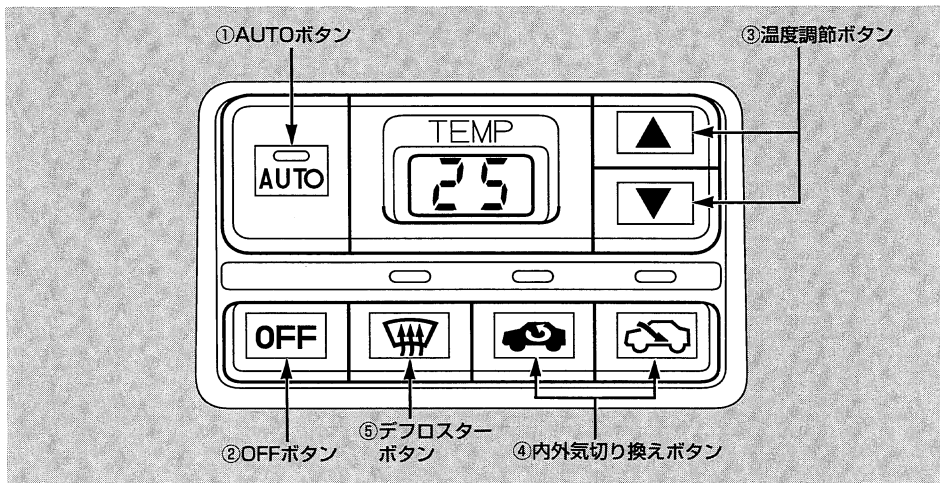
オートエアコン

ナビゲーションシステム装備車





●メイン操作部



①AUTOボタン

ボタンを押すとオートエアコンが作動し、表示灯が点灯します。

②OFFボタン



ボタンを押すとエアコン、ファンの作動が停止します。

③温度調節ボタン

オートエアコンが作動しているとき、上下のボタンを押して温度を設定します。

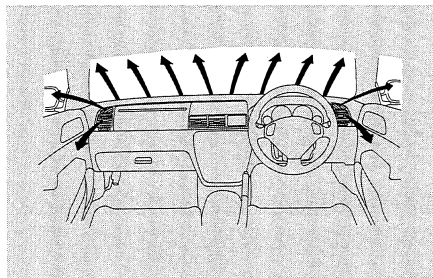
表示部に設定温度が18～32の間で表示されます。

④内外気切り換えボタン

“”のボタンを押すと内気循環になり、“”のボタンを押すと外気導入になります。

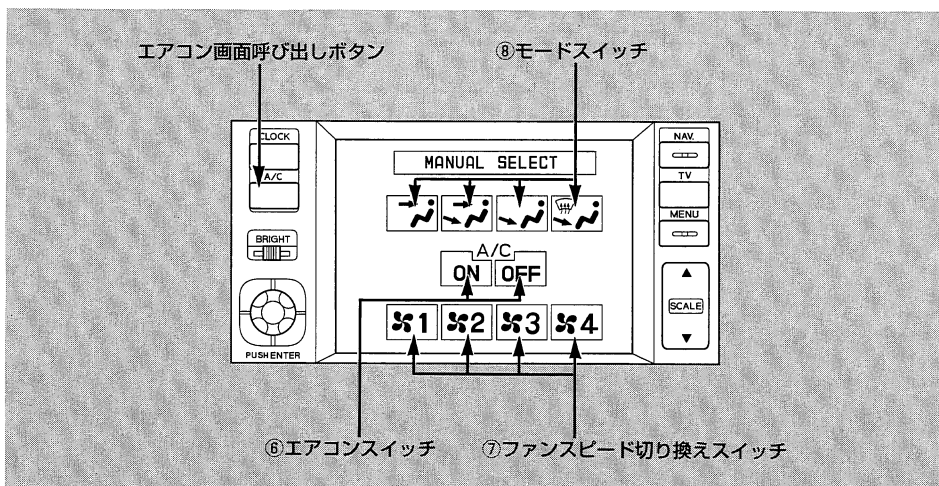
⑤デフロスターボタン

吹き出し口が前面および側面ガラスに切り換わります。ガラスの曇り取りなどに使用します。



●マニュアルセレクト操作部

マニュアルで操作したい場合には、ナビゲーションシステムのエアコン画面呼び出しボタンを押してエアコン画面にし、画面を軽く押して操作します。



⑥エアコンスイッチ

ON を押すとエアコンが“ON”になり、

OFF を押すとエアコンが“OFF”になります。

冷房や除湿暖房をするときは“ON”にし、不要のときは“OFF”にします。


⑦ファンスピード切り換えスイッチ
スイッチを押してファンのスピードを切り換えます。

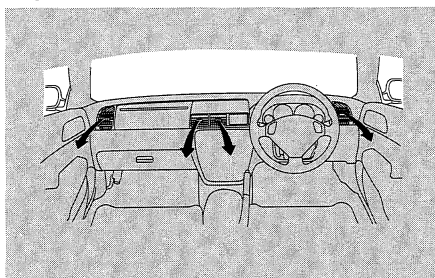
| | | | | |
|---------|----|----|----|----|
| スイッチの位置 | ❁1 | ❁2 | ❁3 | ❁4 |
| 風量 | 弱 | 中 | 強 | 最強 |




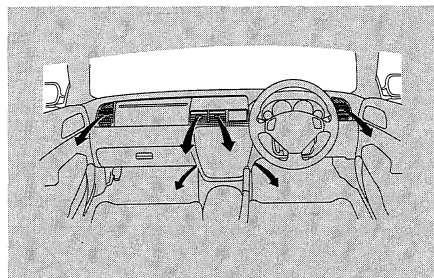
⑧モードスイッチ


スイッチを押して吹き出し口を切り換えます。

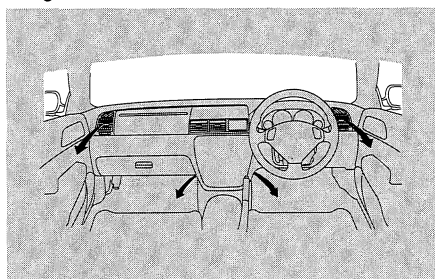
 上半身に送風したいとき




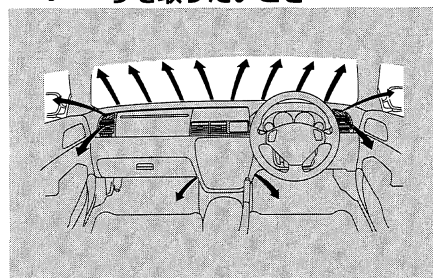
 上半身、足元に送風したいとき



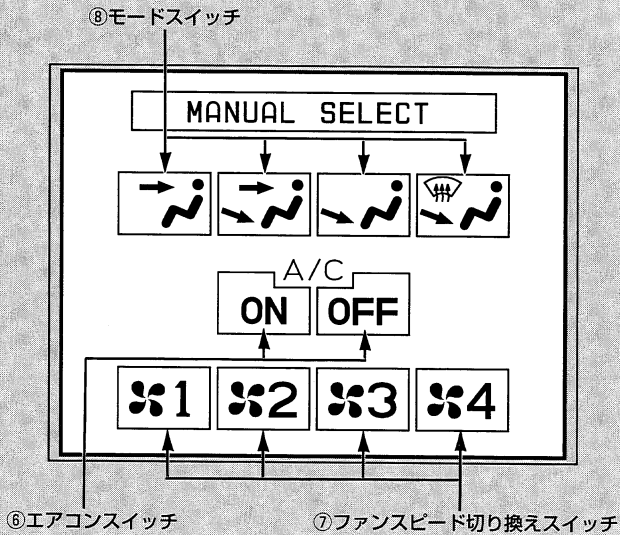
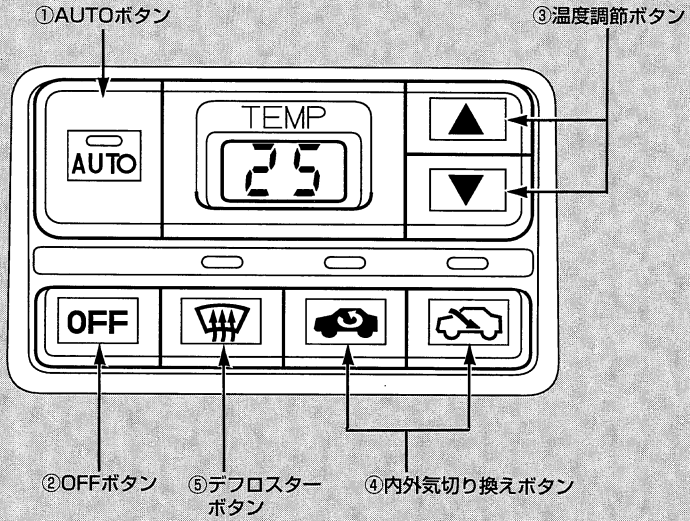
 足元に送風したいとき



 足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき



●使いかた





オートエアコンを使うとき

AUTOボタン①を押し、温度調節ボタン③を押しして室内の温度を設定します。

風量、吹き出し口や内外気の切り換え、エアコンの“ON/OFF”などが自動制御されます。

・停止するとき


OFFボタン②を押しします。

知識

- 外気温によっては、冷風の吹き出しを防ぐため、オートエアコン作動後一定時間ファンが回転しないことがあります。
- 希望温度に設定したら、温度調節ボタンをむやみに押さないでください。設定温度への到達時間が長くなることがあります。
- 長時間、冷風を直接体に当てないでください。冷やしすぎは健康上良くありません。
- 炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。

前面／側面ガラスの霜や曇りを取りたいとき

デフロスターボタン⑤を押しします。自動的にエアコンが作動し、外気導入に切り換わります。

急速に霜を取りたいときは、内外気切り換えボタン④の“”を押し内気循環にし、温度調節ボタン③を押しして温度表示を32にします。

知識

- デフロスタースイッチを入れているときは、設定温度を最大冷房付近にしないでください。冷風が前面ガラスにあたるとガラスの外側が曇ることがあり、視界の妨げになります。
- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。一度霜を取った後は外気導入で使ってください。

マニュアルで使うとき


内外気切り換えボタン④やデフロスターボタン⑤、マニュアルセレクトの3つのスイッチ⑥⑦⑧を組み合わせて使うことができます。

“AUTO”(自動)で使用中でも押したスイッチの機能が優先されます。

このときAUTOボタンの作動表示灯は消えますが、押したスイッチの機能以外は自動制御されます。

“AUTO”(自動)に戻したいときは、AUTOボタン①を押します。

停止するときは、OFFボタン②を押します。

・外気を室内に導入したくないとき
トンネルや渋滞地域などで汚れている外気を室内に入れたくないときは、内外気切り換えボタン④の“”を押して内気循環にします。



●冷房を常用しないとき

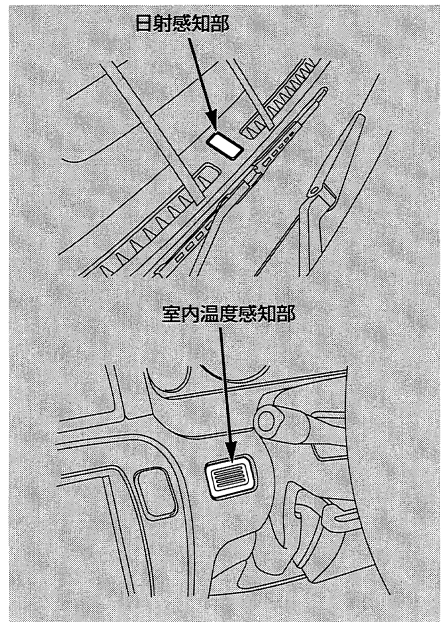
装置各部のオイルをきらさないために、ときどきエンジンを低回転させた状態で数分間冷房または除湿暖房をしてください。

🎓 知識

- 室内の温度が低い場合は、エアコンが作動しないことがあります。このような場合には、内気循環で室内を暖めてからエアコンスイッチを入れると作動します。

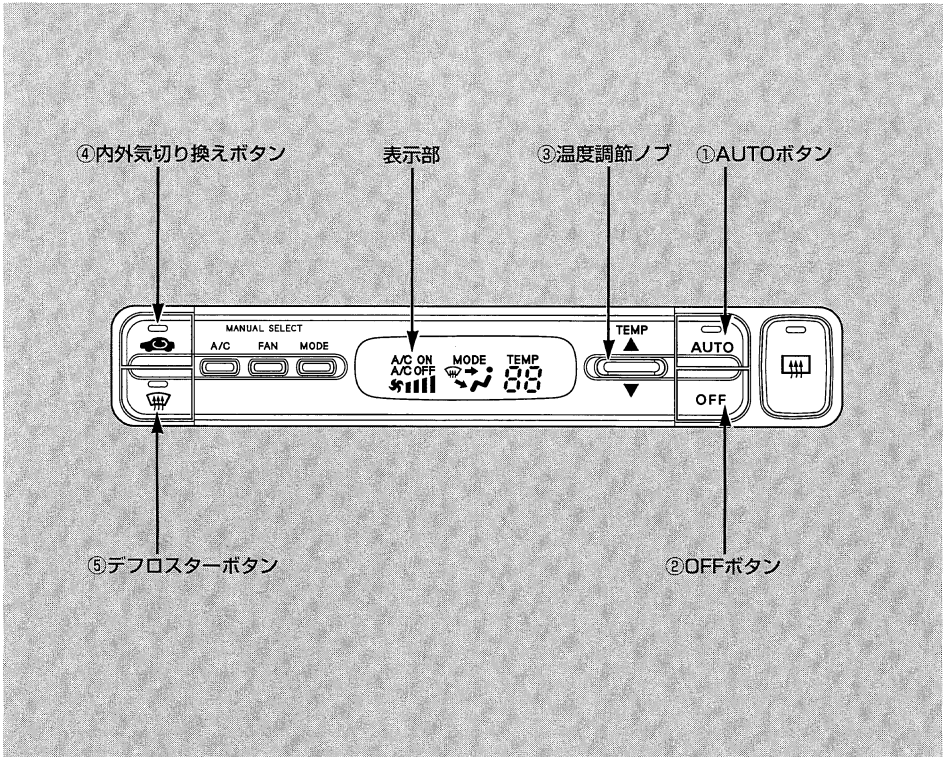
●温度感知装置

オートエアコンには、温度感知装置などのセンサーがついています。日射感知部や車内温度感知部の上に物を置いたり、水をかけたりしないでください。車内温度が設定温度とずれることがあります。



オートエアコン

ナビゲーションシステム非装備車



**①AUTOボタン**

ボタンを押すとオートエアコンが作動し、表示灯が点灯します。

②OFFボタン

ボタンを押すとエアコン、ファンの作動が停止します。

③温度調節ノブ

オートエアコンが作動しているとき、ノブを上下に動かして温度を設定します。

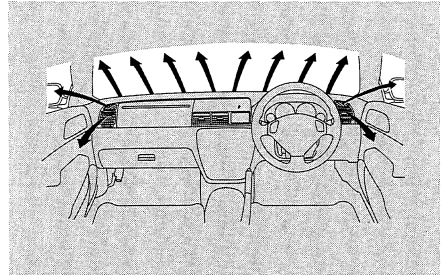
表示部に設定温度が18～32の間で表示されます。

④内外気切り換えボタン

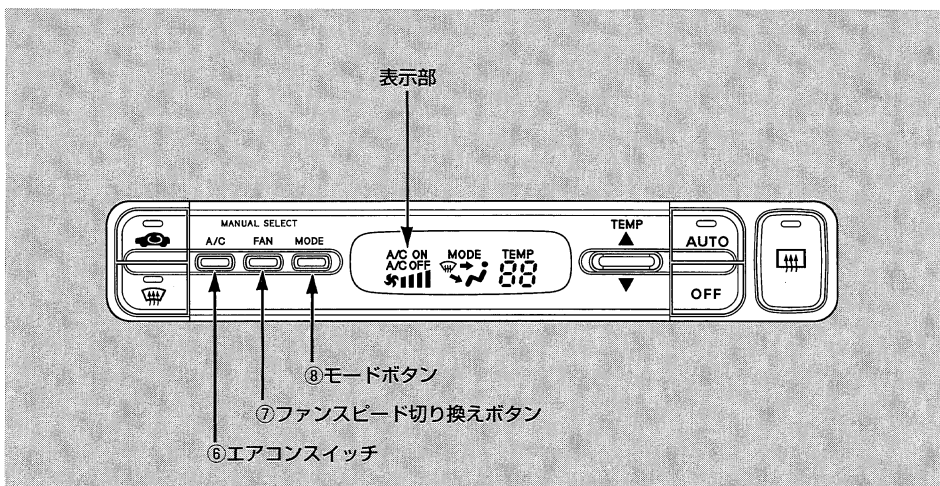
外気導入と内気循環を切り換えます。表示灯が消灯していると外気導入、ボタンを押して表示灯を点灯させると内気循環になります。

⑤デフロスターボタン

吹き出し口が前面および側面ガラスに切り換わります。ガラスの曇り取りなどに使用します。



●マニュアルセレクト



⑥エアコンボタン

ボタンを押すたびにエアコンの“ON”“OFF”が切り換わります。

表示部に、“A/C ON”“A/C OFF”が表示されます。

冷房や除湿暖房をするときは“ON”にし、不要のときは“OFF”にします。

⑦ファンスピード切り換えボタン


ボタンを押すたびにファンのスピードが切り換わり、それぞれの表示灯が点灯します。

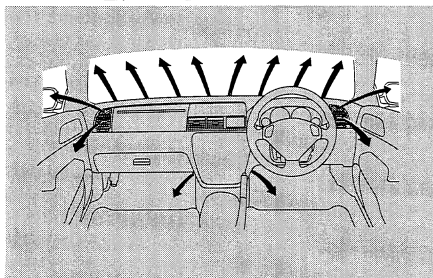
| | | | | |
|-----|---|---|---|----|
| 表示灯 | | | | |
| 風量 | 弱 | 中 | 強 | 最強 |




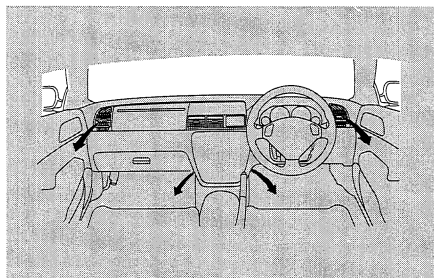
⑧モードボタン


ボタンを押すたびに吹き出し口が切り換わり、それぞれの表示灯が点灯します。

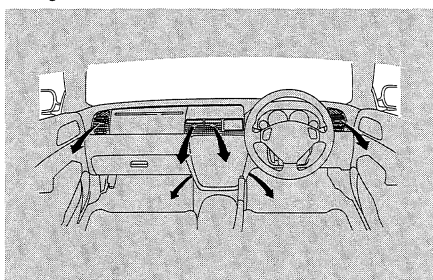
 足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき




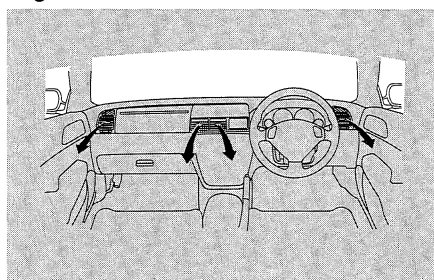
 足元に送風したいとき



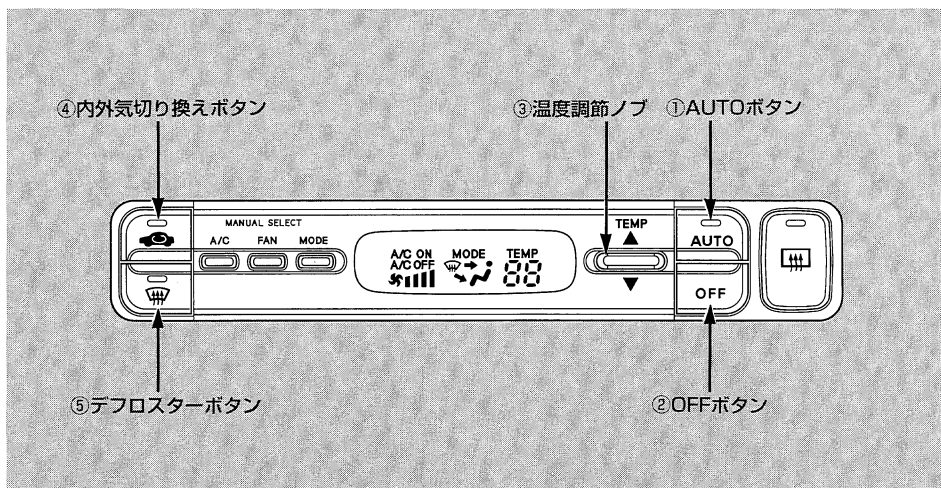
 上半身、足元に送風したいとき



 上半身に送風したいとき



●使いかた



オートエアコンを使うとき

AUTOボタン①を押し、温度調節ノブ③を使って室内の温度を設定します。風量、吹き出し口や内外気の切り替え、エアコンの“ON/OFF”などが自動制御されます。

・停止するとき

OFFボタン②を押します。

知 識

- 外気温によっては、冷風の吹き出しを防ぐため、オートエアコン作動後一定時間ファンが回転しないことがあります。
- 希望温度に設定したら、温度調節ノブをむやみに動かさないでください。設定温度への到達時間が長くなることがあります。
- 長時間、冷風を直接体に当てないでください。冷やしすぎは健康上良くありません。
- 炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。



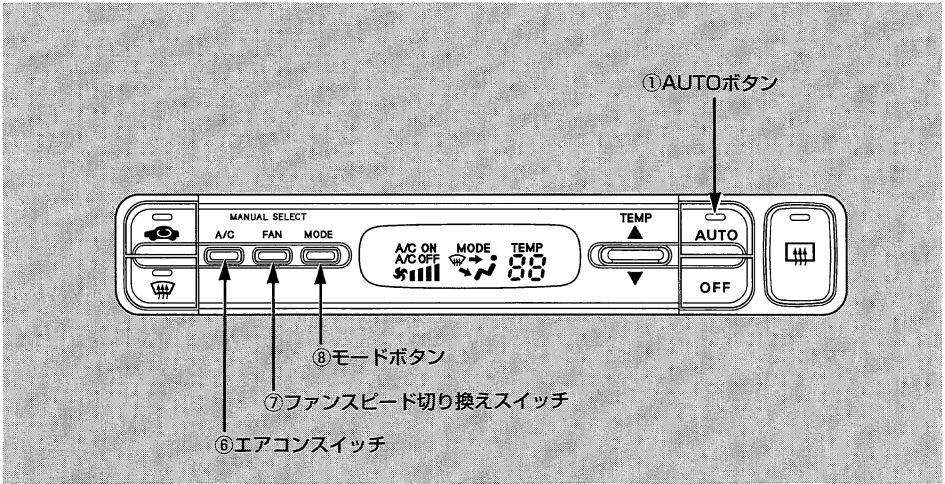
前面／側面ガラスの霜や曇りを取りたいとき

デフロスターボタン⑤を押します。自動的にエアコンが作動し、外気導入(表示灯消灯)に切り換わります。

急速に霜をとりたいときは、内外気切り換えボタン④を押し内気循環(表示灯点灯)にし、温度調節ノブ③を動かして温度表示を32にします。

知識

- デフロスタースイッチを入れているときは、設定温度を最大冷房付近にしないでください。冷風が前面ガラスにあたるとガラスの外側が曇ることがあり、視界の妨げになります。
- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。一度霜を取った後は外気導入で使ってください。



マニュアルで使うとき

マニュアルセレクトの3のボタン⑥⑦⑧を組み合わせで使います。冷房や除湿暖房が不要のときエアコンスイッチ⑥を押して“OFF”にします。自動制御に戻したいときはAUTOボタン①を押します。

・外気を室内に導入したくないとき
トンネルや渋滞地域などで汚れている外気を室内に入れたくないときは、内外気切り換えボタン④を押して内気循環(表示灯点灯)にします。



●冷房を常用しないとき

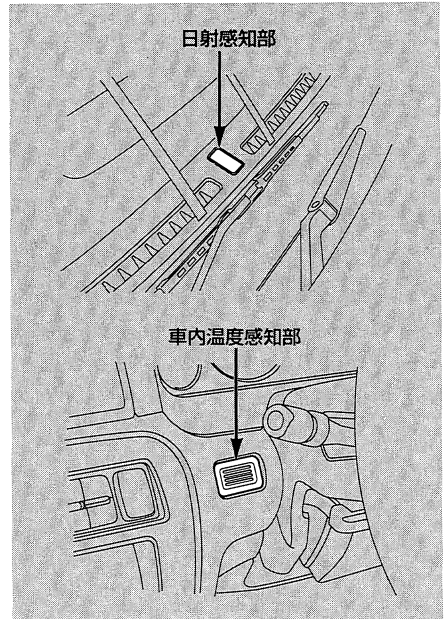
装置各部のオイルをきらさないために、ときどきエンジンを低回転させた状態で数分間冷房または除湿暖房をしてください。

🏠 知識

- 室内の温度が低い場合は、エアコンが作動しないことがあります。このような場合には、内気循環で室内を暖めてからエアコンスイッチを入れると作動します。

●温度感知装置

オートエアコンには、温度感知装置などのセンサーがついています。日射感知部や車内温度感知部の上に物を置いたり、水をかけたりしないでください。車内温度が設定温度とずれることがあります。



オーディオ

上手な使いかた

知識

- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。
車外の音が聞こえない状態では安全運転の妨げとなります。
また、運転中のオーディオ操作は、安全運転に支障がないようにしてください。

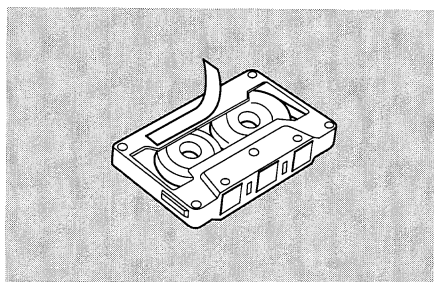
●ラジオについて

ラジオの受信については、車の走行にともない受信状態が刻々と変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

●カセットについて

次のようなカセットテープは、故障の原因になりますので、ご使用はお避けください。

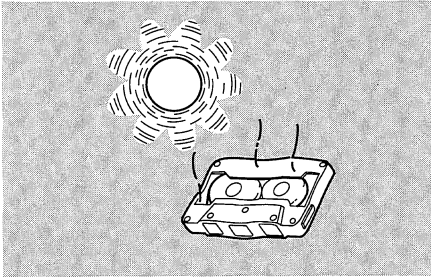
- ・ラベルがはがれかけていたり変形したカセットテープを使用すると、回転不良を起こしたりテープが取り出せなくなる場合があります。



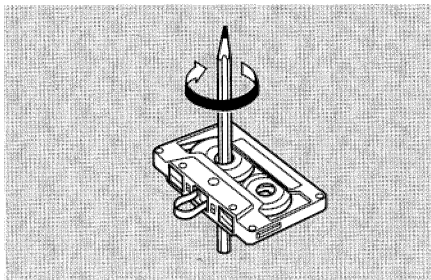
- ・120分以上のテープは非常に薄いため、伸びたり、プレーヤーに巻き付いたりする場合があります。



カセットテープは、変形したり録音が消えてしまわないようにほこり、直射日光や磁気のあるものの近くを避けてケースに入れ保管してください。



カセットテープは、プレーヤーにテープが巻き込まれたりしないように鉛筆などでたるみをとってから差し込んでください。



音が歪んだり高音が出にくくなった場合は、市販のクリーニングテープなどでプレーヤーの手入れをしてください。

●CDについて

CDチェンジャー装備車

下記マークのついているディスク以外は使えません。



ディスクの信号面は直接手で触れないでください。指紋等の汚れが付くと、音とびなどをすることがあります。

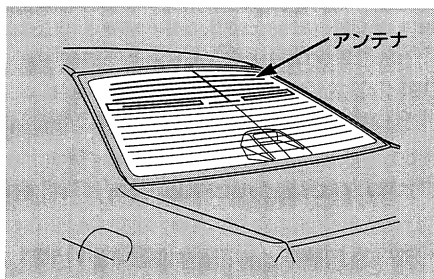
ディスクの変形を避けるため、直射日光や高温多湿を避けてケースに入れ保管してください。

悪路走行などで激しく振動した場合、音とびすることがあります。

寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露（水滴）が生じ、正しく作動なくなることがあります。その場合、ディスクを取り出し、換気または除湿をしてからお使いください。

アンテナ

リヤウィンドー内側にアンテナ線があります。



知識

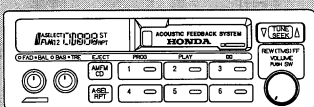
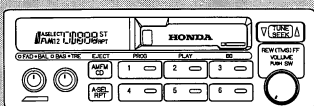
- アンテナ線は傷つきやすいので、清掃のときはアンテナ線に沿って柔らかい布でふいてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。



オーディオインデックス

AM/FMラジオ一体式カセットステレオ
(CDチェンジャーコントローラー内蔵)

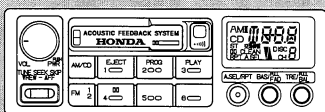
ナビゲーションシステム装備車



- ・基本操作……………138
- ・ラジオの使いかた……………140
- ・カセットプレーヤーの使いかた…143
- ・CDチェンジャーコントローラー
(CDチェンジャー装備車)
使いかた……………146
- エラーコード……………148

AM/FMラジオ一体式カセットステレオ
(CDチェンジャーコントローラー内蔵)

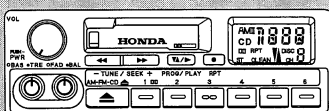
タイプ別装備



- ・基本操作……………149
- ・ラジオの使いかた……………151
- ・カセットプレーヤーの使いかた…155
- ・CDチェンジャーコントローラー
(CDチェンジャー装備車)
使いかた……………158
- エラーコード……………161

AM/FMラジオ一体式カセットステレオ
(CDチェンジャーコントローラー内蔵)

タイプ別装備

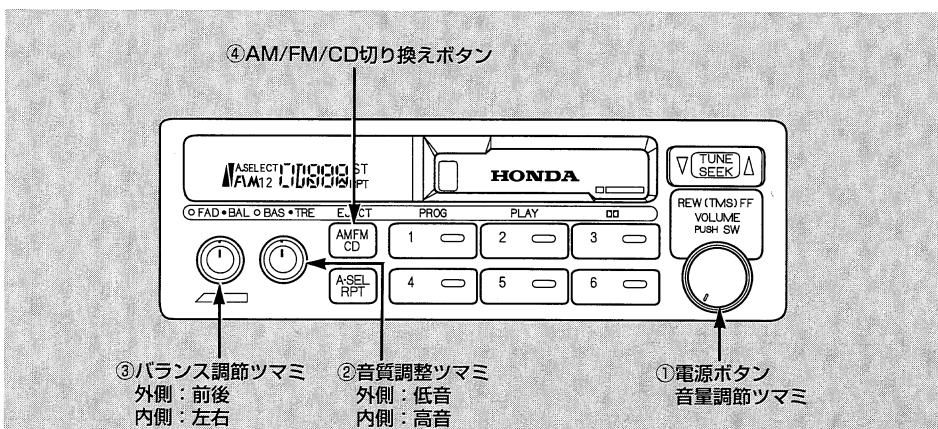


- ・基本操作……………162
- ・ラジオの使いかた……………164
- ・カセットプレーヤーの使いかた…166
- ・CDチェンジャーコントローラー
(CDチェンジャー装備車)
使いかた……………169
- エラーコード……………171

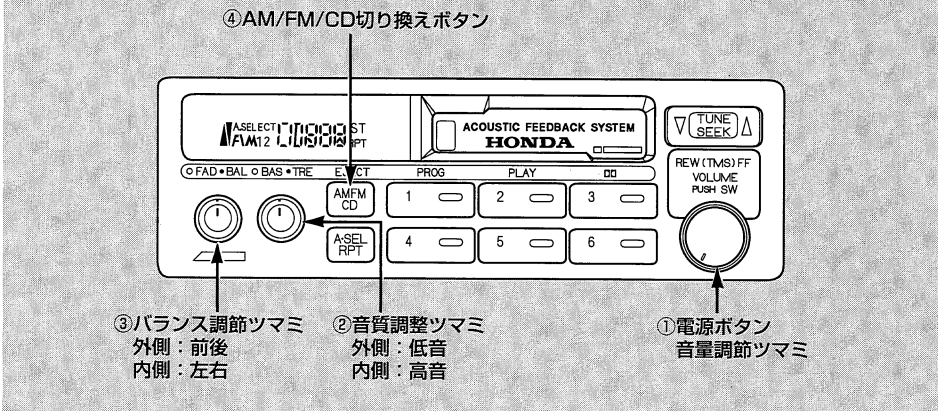
AM/FMラジオ一体式カセットステレオ (CDチェンジャーコントローラー内蔵)

ナビゲーションシステム装備車

●基本操作



ホンダAFBサウンドシステム



ホンダAFBサウンドシステム：

AFBとはアコースティック フィードバック システム (Acoustic Feedback System) の略で、車内で発生するノイズ等をスピーカーに付属するマイクで検出し、自動的に補正して歪みの少ない歯切れの良い音を再生するシステム



電源



エンジンスイッチが“I”または“II”のとき、電源が入ります。電源ボタン①を押すごとに“ON” ↔ “OFF”が切り換わります。

音量調節



音量調節ツマミ①で調節します。右へ回すと音量は大きくなり、左へ回すと小さくなります。

知識

- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態では安全運転の妨げとなります。

音質調節

◎ BAS・TRE



音質調節ツマミ②を押してとび出させて、低音(BAS)と高音(TRE)の音質を調節します。

ツマミをもう一度押すと元の位置に戻ります。

バランス調節

◎ FAD・BAL



バランス調節ツマミ③を押してとび出させて、前後スピーカー(FAD)と左右スピーカー(BAL)の音量バランスを調節します。

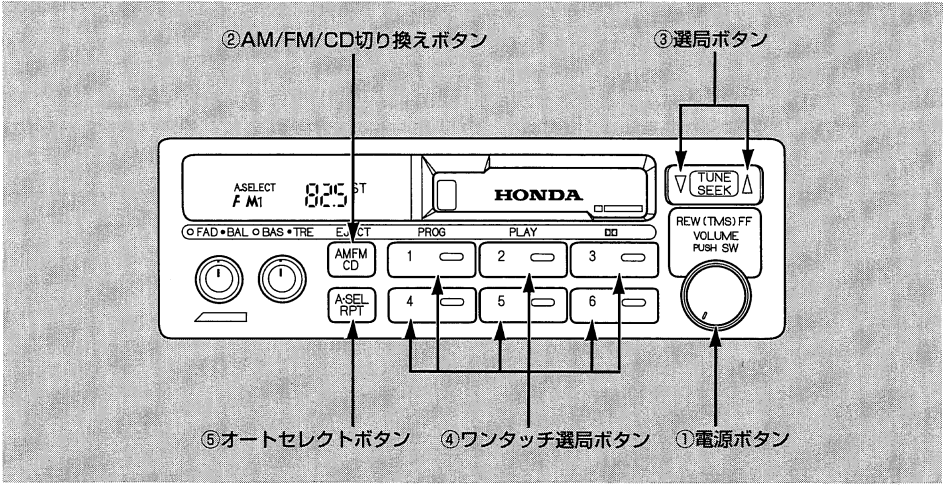
ツマミをもう一度押すと元の位置にもどります。

モードの切り換え

AMFM
CD

AM/FM/CD切り換えボタン④を押してAM放送、FM放送、CD演奏(CDチェンジャー装備車)を切り換えます。カセットテープを挿入口に差し込むとテープ演奏に切り換わります。

●ラジオの使いかた



ラジオ受信のしかた



電源ボタン①を押してラジオの電源を入れます。

AM/FMの切り換え



AM/FM/CD切り換えボタン②を押してAMまたはFM放送を選択します。表示部にバンド表示灯が点灯します。FMステレオ放送が感度よく受信できたときは、表示部に“ST”のFMステレオ表示灯が点灯します。



選局のしかた



・手動選局

選局ボタン③を軽く押します。
押すたびに受信周波数が少しずつ変わり選局できます。

周波数の高いほうへ選局するときは、右側(▲)を押します。

周波数の低いほうへ選局するときは、左側(▼)を押します。

・自動選局

選局ボタン③を“ピッ”という電子音がするまで押し続けて自動選局し、放送を受信すると止まります。

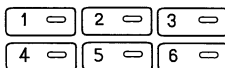
周波数の高いほうへ選局するときは、右側(▲)を押します。

周波数の低いほうへ選局するときは、左側(▼)を押します。

🎓 知識

- 受信電波が弱いときは、自動選局できないことがあります。このようなときは手動で選局してください。

・ワンタッチ選局



ワンタッチ選局ボタン④を押すとあらかじめセットされた放送が受信できます。

〈セットのしかた〉

ワンタッチ選局ボタン④にAM6局、FM12局(FM1、FM2それぞれ6局)まで記憶させることができます。

1. 選局ボタン③で選局します。
2. ワンタッチ選局ボタン④のいずれか一つを“ピッ”という電子音がするまで(約2秒間)押し続けます。

🎓 知識

- 一度電源が切れた場合(バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど)、記憶が消去されます。そのときは再度記憶操作をしてください。

オートセレクト

A:SEL
RPT

放送局の違う地域へ出かけたときなど、セットされた放送局が聞けなくなった場合に操作します。

オートセレクトボタン⑤を押すと表示部のオートセレクト表示灯が点滅し、自動選局を始めます。

自動選局された電波の強い放送局が、周波数の低い順からワンタッチ選局ボタン④にAM6局、FM12局(FM1、FM2それぞれ6局)まで自動的に記憶され、表示部のオートセレクト表示灯が点滅から点灯に変わります。

知識

- 放送局が6局にみえない場合、残りのボタンには何も記憶されません。記憶されていないボタンを押すと、周波数が“0”と表示されます。

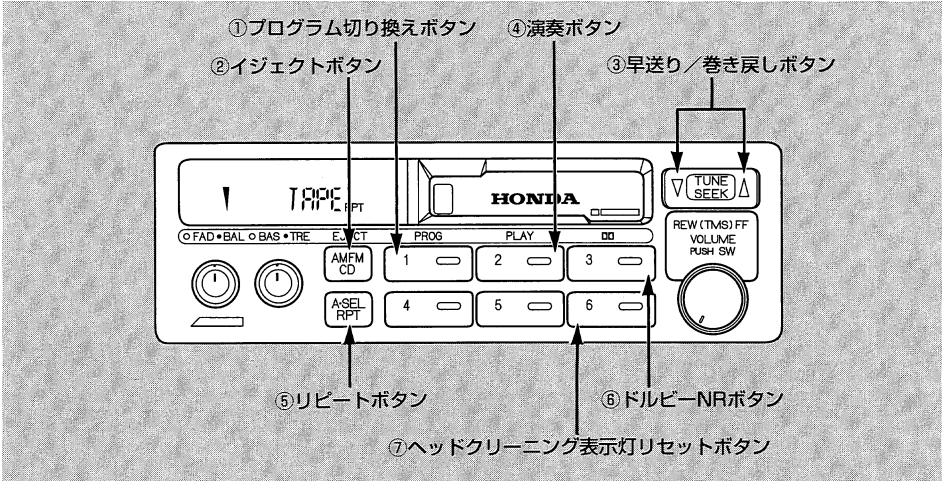
(例)

放送局が4局の場合、1から4のボタンを押すと周波数が表示され、5と6のボタンを押すと“0”が表示されます。

オートセレクトボタン⑤をもう一度押すと、表示部のオートセレクト表示灯は消灯されワンタッチ選局ボタンの記憶は、あらかじめセットされていた状態に戻ります。



●カセットプレーヤーの使いかた

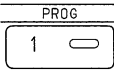


テープの聞きかた

カセットテープを挿入口に差し込みます。

表示部に“▼”または“▲”のテープ走行表示灯が点灯し、テープ演奏が開始されます。

走行方向の切り換え



演奏の途中で走行方向を切り換えたいときは、プログラム切り換えボタン①を押します。

テープの片面が終了したときは、自動的にもう一面の演奏を開始します。

テープの取り出し



イジェクトボタン②を押すとカセットテープが押し出されます。

ラジオの電源が“ON”のとき、ラジオ放送に切り換わります。

本体の電源が“OFF”のときでもイジェクトボタン②を押すとテープを取り出すことができます。

早送り、巻き戻し



早送り／巻き戻しボタン③で操作します。

早送りはボタンの右側を軽く押しします。このとき表示部には“FF”が表示されます。

巻き戻しはボタンの左側を軽く押しします。このとき表示部には“REW”が表示されます。

早送り、巻き戻しを止めるときは、演奏ボタン④を押します。

頭出し演奏

早送りや巻き戻しのかきに早送り／巻き戻しボタン③を“ピッ”という電子音がするまで押し続けて離します。このとき、表示部の“FF”または“REW”の表示は点滅します。

🎓 知識

- 次の場合、頭出し機能がはたらかないことがあります。
 - 一曲と曲の間の音が無い部分が4秒以下のとき。
 - 一曲と曲の間に雑音が入っているとき。
 - 一曲の途中で音が無い部分があるとき。

リピート



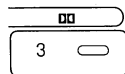
演奏中の曲を繰り返し聞きたいときは、リピートボタン⑤を押します。同時に表示部に“RPT”が点灯します。リピート機能を解除するときは、もう一度リピートボタンを押します。

🎓 知識

- 次の場合、リピート機能がはたらかないことがあります。
 - 一曲と曲の間の音が無い部分が4秒以下のとき。
 - 一曲と曲の間に雑音が入っているとき。
 - 一曲の途中で音が無い部分があるとき。




ドルビーNR



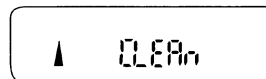
ドルビーNRボタン⑥を押すと、ドルビーNR再生およびその解除ができます。

ドルビーNR再生中は、ボタン内の表示灯が点灯します。ドルビーNR録音されたテープを再生すると、高域雑音の少ない演奏が楽しめます。

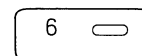
※ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

ドルビー、DOLBY及びダブルD記号  はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの登録商標です。

ヘッドクリーニング表示灯



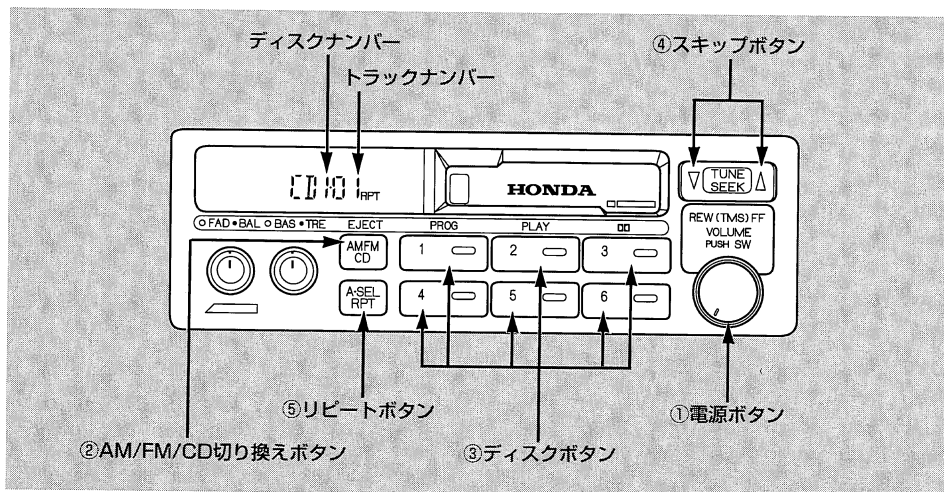
テープ演奏が50時間を超えると、カセットテープが挿入される毎に、表示部に“CLEAN”のヘッドクリーニング表示灯が約5秒間点滅します。市販のクリーニングテープなどでプレーヤーの手入れをしてください。



リセットするときには、リセットボタン⑦を“ピッ”という電子音がするまで(約3秒間)押し続けます。ボタンを押すと同時に表示部の“CLEAN”が点灯し、リセットされると消灯します。

●CDチェンジャーコントローラーの使いかた

CDチェンジャー装備車



CDの聞きかた



電源ボタン①を押してラジオの電源を入れます。



AM/FM/CD切り換えボタン②を押してCDに切り換えます。

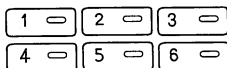
表示部にディスク及びトラックナンバーが表示され、演奏が開始されます。

知識

- ディスクの最後の曲の演奏が終わると、自動的に次のディスクの初めから演奏が始まります。
- ディスクマガジンの中の6枚目のディスクの最後の曲の演奏が終わると、自動的に1枚目のディスクの初めから演奏が始まります。



ディスクの呼び出し



ディスクボタン③を押すことで、演奏させたいディスクを呼び出すことができます。ディスクボタンに続けてスキップボタン④を軽く押し離すと、トラックナンバーの指定もできます。

早送り、早戻し



スキップボタン④の右側(▲)を押し続けると早送りされ、左側(▼)を押し続けると早戻しされます。

ディスクの最初まで戻ると自動的に演奏を開始します。

また、ディスクの最後まで送ったときは、ポーズ状態になります。早送り以外のボタンを押せば解除されます。

スキップ、リプレイ



スキップ、リプレイはスキップボタン④の右側(▲)または左側(▼)を軽く押して表示部のトラックナンバーを聞きたい曲番にします。

・スキップ

演奏中の曲より先の曲を聞くととき、ボタンの右側(▲)を押します。

演奏中のディスクの最後の曲のときにボタンを押すと、そのディスクの最初の曲になります。

・リプレイ

演奏中の曲より前の曲を聞くととき、または演奏中の曲を初めから聞くととき、ボタンの左側(▼)を押します。

演奏中のディスクの最初の曲のときにボタンを押すと、そのディスクの最後の曲になります。

リピート



演奏中の曲を繰り返し聞きたいときは、リピートボタン⑤を押します。同時に表示部に“RPT”が点灯します。

リピート機能を解除するときは、もう一度リピートボタンを押します。

エラーコード

パネル表示部にエラーコードが表示されたときは、下表にしたがって点検してください。

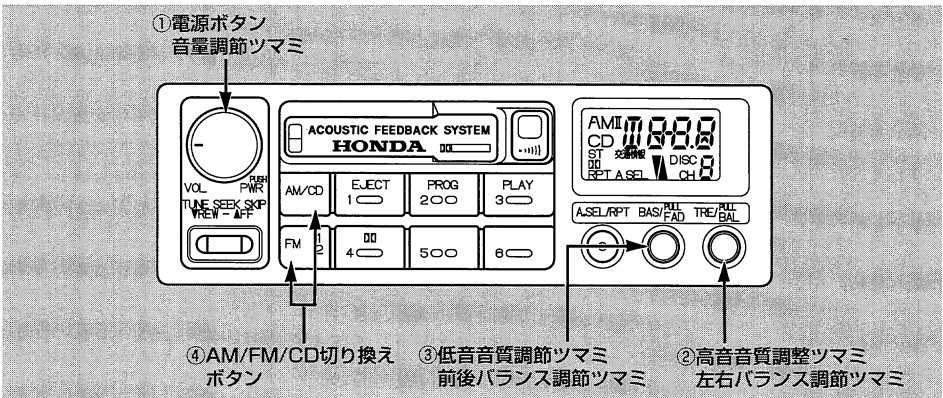
| エラーコード | 原因 | 処置 |
|---|--------------------------|---|
| E-01 | ディスクチェンジの動作の異常 | ホンダベルノ店で点検を受けてください。 |
| E-02 | ディスクがトランクユニット内部に残っている | トランクユニットのイジェクトスイッチを押してディスクマガジンを取り出した後、空のディスクマガジンを挿入してディスクを回収します。 |
| E-03 E-04 E-05 | ディスクチェンジの動作の異常 | 数秒間表示されることがありますが、エラー表示が消えれば問題はありません。表示が消えないときは、ホンダベルノ店で点検を受けてください。 |
| E-06 | ディスクチェンジの動作の異常 | トランクユニットのイジェクトスイッチを押して、ディスクマガジンを取り出します。エラー表示が消えれば問題はありません。表示が消えないとき、またはディスクマガジンが取り出せないときは、ホンダベルノ店で点検を受けてください。 |
| E-07 | ディスクマガジンがイジェクトできない（装着不良） | |
| ---H | 車内温度の上昇を検知 | 車内温度が適温に戻ると、エラー表示は消えます。 |
| E-EE | チェンジャーと、CDプレーヤーの通信が不通 | チェンジャーと、CDプレーヤーの接続を確認してください。 |
| ---- | チェンジャーにディスクマガジンが入っていない | チェンジャーにディスクマガジンを入れてください。 |



AM/FMラジオ体式カセットステレオ (CDチェンジャーコントローラー内蔵)

タイプ別装備

●基本操作



ホンダAFBサウンドシステム：

AFBとはアコースティック フィードバックシステム(Acoustic Feedback System)の略で、車内で発生するノイズ等をスピーカーに付属するマイクで検出し、自動的に補正して歪みの少ない歯切れの良い音を再生するシステム

電源



エンジンスイッチが“I”または“II”のとき、電源が入ります。電源ボタン①を押すごとに“ON”↔“OFF”が切り換わります。

音量調節



音量調節ツマミ①で調節します。右へ回すと音量は大きくなり、左へ回すと小さくなります。

知 識

- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。
車外の音が聞こえない状態では安全運転の妨げとなります。

音質調節

・高音



高音音質調節ツマミ②を押してとび出させて、高音(TRE)の音質を調節します。

ツマミをもう一度押すと元の位置にもどります。

・低音



低音音質調節ツマミ③を押してとび出させて、低音(BAS)の音質を調節します。

ツマミをもう一度押すと元の位置にもどります。

バランス調節

・左右



左右バランス調節ツマミ②を押してとび出させたあとツマミを引いて、左右スピーカーの音量バランス(BAL)を調節します。

ツマミを押すと元の位置にもどります。

・前後



前後バランス調節ツマミ③を押してとび出させたあとツマミを引いて、前後スピーカーの音量バランス(FAD)を調節します。

ツマミを押すと元の位置にもどります。

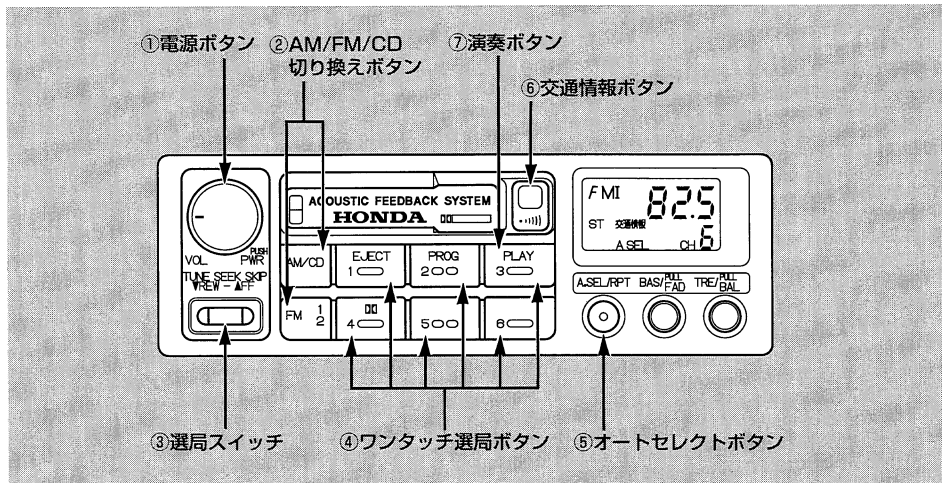
モードの切り換え



AM/FM/CD切り換えボタン④を押してAM放送、FM放送、CD演奏(CDチェンジャー装備車)を切り換えます。カセットテープを挿入口に差し込むとテープ演奏に切り換わります。



●ラジオの使いかた



ラジオ受信のしかた



電源ボタン①またはAM/FM/CD切り換えボタン②を押してラジオの電源を入れます。

AM/FMの切り換え



AM/FM/CD切り換えボタン②を押してAMまたはFM(FM1、FM2)を選択します。AMは上側のボタンを、FM1またはFM2は下側のボタンを押します。表示部にバンド表示灯が点灯します。FMステレオ放送が感度よく受信できたときは、表示部に“ST”のFMステレオ表示灯が点灯します。

選局のしかた

TUNE SEEK SKIP
VREW - AFF



・手動選局

選局スイッチ③を軽く押します。
押すたびに受信周波数が少しずつ変わり選局できます。
周波数の高いほうへ選局するときは、上に押します。
周波数の低いほうへ選局するときは、下に押します。

・自動選局

選局スイッチ③を“ピッ”という電子音がするまで押して離すと自動選局し、放送を受信すると止まります。
周波数の高いほうへ選局するときは、上に押します。
周波数の低いほうへ選局するときは、下に押します。

🎓 知識

- 受信電波が弱いときは、自動選局できないことがあります。このようなときは手動で選局してください。

・ワンタッチ選局

| | | |
|------------|-------------|-----------|
| EJECT 1 | PROG 200 | PLAY 3 |
| 00 4 | 500 | 600 |

ワンタッチ選局ボタン④を押すとあらかじめセットされた放送が受信できます。

〈セットのしかた〉

ワンタッチ選局ボタン④にAM6局、FM12局(FM1、FM2それぞれ6局)、まで記憶させることができます。

1. 選局スイッチ③で選局します。
2. ワンタッチ選局ボタン④のいずれか一つを“ピッ”という電子音がするまで（約2秒間）押し続けます。

🎓 知識

- 一度電源が切れた場合（バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど）、記憶が消去されます。そのときは再度記憶操作をしてください。



オートセレクト

A.SEL/RPT



放送局の違う地域へ出かけたときなど、セットされた放送局が聞けなくなった場合に操作します。

オートセレクトボタン⑤を押すと表示部に“A.SEL”のオートセレクト表示灯が点滅し、自動選局を始めます。

自動選局された電波の強い放送局が、周波数の低い順からワンタッチ選局ボタン④にAM6局、FM12局(FM1、FM2それぞれ6局)まで自動的に記憶され、表示部のオートセレクト表示灯が点滅から点灯に変わります。

知識

- 放送局が6局にみえない場合、残りのボタンには何も記憶されません。記憶されていないボタンを押すと、周波数が“0”と表示されます。

(例)

放送局が4局の場合、1から4のボタンを押すと周波数が表示され、5と6のボタンを押すと“0”が表示されます。

オートセレクトボタン⑤をもう一度押すと、表示部のオートセレクト表示灯は消灯されワンタッチ選局ボタンの記憶は、あらかじめセットされていた状態に戻ります。

交通情報

ラジオを聞いているときやカセットテープ・CDを演奏中または、本体の電源が“OFF”でもワンタッチで交通情報を受信することができます。あらかじめ2つの受信周波数(1620kHz、1629kHz)がセットされています。

・聞きかた



交通情報ボタン⑥を押します。表示部の交通情報表示灯が点灯し、受信周波数が表示されます。

・受信周波数の切り換え

TUNE SEEK SKIP
VREW - AFF



選局スイッチ③を上または下に押します。押すたびに受信周波数が1620kHzと1629kHzとに交互に切り換わります。

・解除のしかた

交通情報ボタン⑥をもう一度押します。

表示部の交通情報表示灯が消灯し、交通情報を聞く前の状態に戻ります。

AM/FM/CD切り換えボタン②を押したときも解除されます。

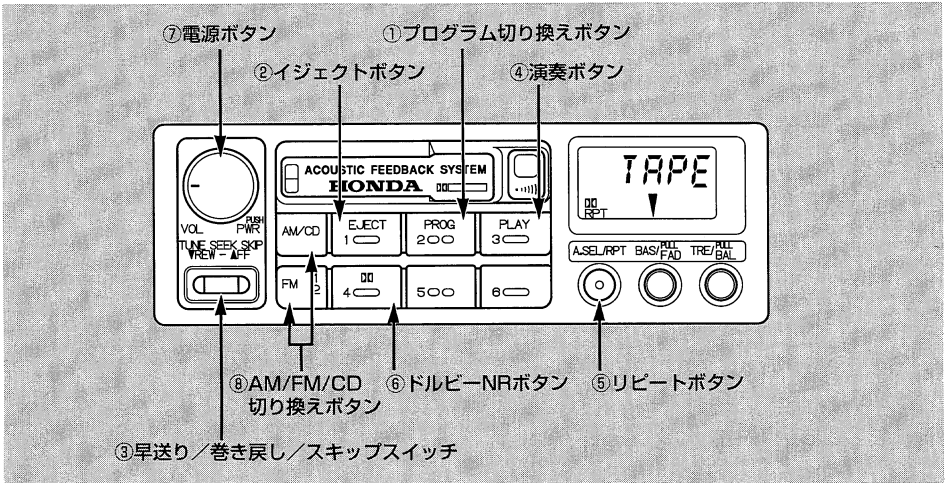
テープが差し込まれているときは、演奏ボタン⑦を押すとテープ演奏が開始されます。

知 識

- 交通情報ボタンにあらかじめセットされている受信周波数を変えることはできません。



●カセットプレーヤーの使いかた



テープの聞かた

カセットテープを挿入口に差し込みます。

テープが差し込まれているときは、電源ボタン⑦または演奏ボタン④を押します。

表示部に“▼”または“▲”のテープ走行表示灯が点灯し、テープ演奏が開始されます。

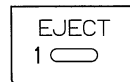
走行方向の切り換え



演奏の途中で走行方向を切り換えたいときは、プログラム切り換えボタン①を押します。

テープの片面が終了したときは、自動的にもう一面の演奏を開始します。

テープの取り出し



イジェクトボタン②を押すとカセットテープが押し出されます。

ラジオの電源が“ON”のとき、ラジオ放送に切り換わります。

AM/FM/CD切り換えボタン⑧を押すとカセットテープが押し出され、ラジオ放送に切り換わります。

本体の電源が“OFF”のときでもイジェクトボタン②を押すとテープを取り出すことができます。

早送り、巻き戻し

TUNE SEEK SKIP
REW-▲FF



早送り／巻き戻し／スキップスイッチ③で操作します。

早送りはスイッチを上を軽く押します。このとき表示部には“FF”が表示されます。

巻き戻しはスイッチを下を軽く押します。このとき表示部には“REW”が表示されます。

早送り、巻き戻しを止めるときは、スイッチ③を上または下にもう一度軽く押すか、演奏ボタン④を押します。

頭出し演奏

早送りや巻き戻しのかきに早送り／巻き戻し／スキップスイッチ③を“ピッ”という電子音がするまで押し続けると、曲の頭出しができます。このとき、表示部の“FF”または“REW”の表示は点滅します。

知識

- 次の場合、頭出し機能ははたらかないことがあります。
 - 曲と曲の間の音が無い部分が4秒以下のとき。
 - 曲と曲の間に雑音が入っているとき。
 - 一曲の途中に音が無い部分があるとき。



リピート

A.SEL/RPT



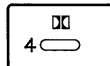
演奏中の曲を繰り返し聞きたいときは、リピートボタン⑥を押します。同時に表示部に“RPT”が点灯します。

リピート機能を解除するときは、もう一度リピートボタンを押します。

知識

- 次の場合、リピート機能がはたらかないことがあります。
 - 一曲と曲の間の音が無い部分が4秒以下のとき。
 - 一曲と曲の間に雑音が入っているとき。
 - 一曲の途中で音が無い部分があるとき。


ドルビーNR



ドルビーNRボタン⑥を押すと、ドルビーNR再生およびその解除ができます。

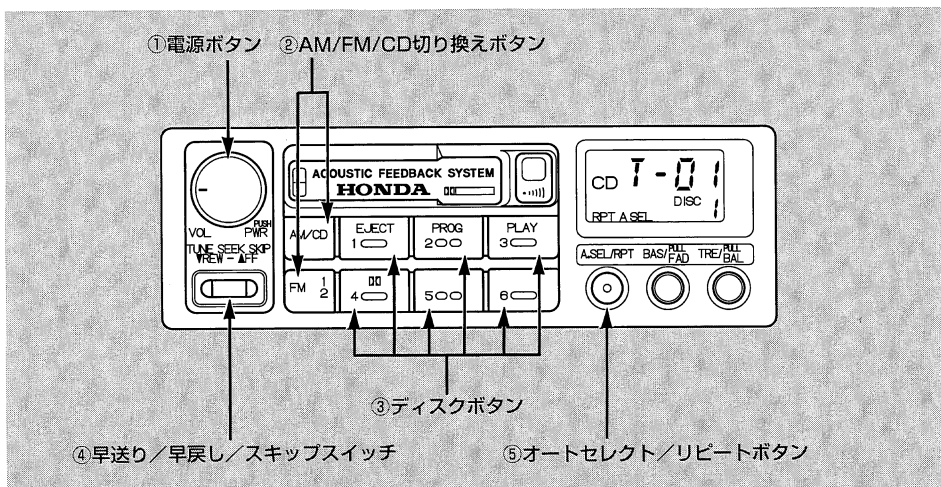
ドルビーNR再生中は、表示部に“NR”のドルビー表示灯が点灯します。ドルビーNR録音されたテープを再生すると、高域雑音の少ない演奏が楽しめます。

※ドルビーノイズリダクションはドルビーラポラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

ドルビー、DOLBY及びダブルD記号  はドルビーラポラトリーズライセンスコーポレーションの登録商標です。

●CDチェンジャーコントローラーの使いかた

CDチェンジャー装備車



CDの聞きかた



電源ボタン①またはAM/FM/CD切り換えボタン②を押してラジオの電源を入れます。



AM/FM/CD切り換えボタン②を押してCDに切り換えます。

表示部にディスク及びトラックナンバーが表示され、演奏が開始されます。

知識

- ディスクの最後の曲の演奏が終わると、自動的に次のディスクの初めから演奏が始まります。
- ディスクマガジンの中の6枚目のディスクの最後の曲の演奏が終わると、自動的に1枚目のディスクの初めから演奏が始まります。



ディスクの呼び出し



ディスクボタン③を押すことで、演奏させたいディスクを呼び出すことができます。ディスクボタンに続けて早送り／早戻し／スキップスイッチ④を軽く押しと、トラックナンバーの指定もできます。

早送り、早戻し



早送り／早戻し／スキップスイッチ④で操作します。

スイッチを上押し続ける間早送りされ、下押し続ける間早戻しされます。ディスクの最初まで戻ると自動的に演奏を開始します。

また、ディスクの最後まで送ったときは、ポーズ状態になります。早送り以外のボタンを押せば解除されます。

スキップ、リプレイ



スキップ、リプレイは早送り／早戻し／スキップスイッチ④を上下に押し表示部のトラックナンバーを聞きたい曲番にします。

・スキップ

演奏中の曲より先の曲を聞くと、スイッチを上押しします。

演奏中のディスクの最後の曲のときにスイッチを押すと、そのディスクの最初の曲になります。

・リプレイ

演奏中の曲より前の曲を聞くと、または演奏中の曲を初めから聞くと、スイッチを下押しします。

演奏中のディスクの最初の曲のときにスイッチを押すと、そのディスクの最後の曲になります。

リピート

A.SEL/RPT



演奏中の曲を繰り返し聞きたいときは、オートセレクト／リピートボタン⑤を押します。

同時に表示部に“RPT”が点灯します。

リピート機能を解除するときは、もう一度ボタンを押します。

ランダム演奏

A.SEL/RPT



1枚のディスクの曲順をランダムに演奏します。

オートセレクト／リピートボタン⑤を表示部に“A.SEL”のオートセレクト表示灯が点灯するまで(約2秒間)押しと、ランダム演奏が開始されます。

ランダム演奏は演奏中のディスクの中で行われ、演奏が終わると自動的に次のディスクに移り、ふたたびランダム演奏が開始されます。

ランダム演奏の機能を解除するには、もう一度ボタンを押します。

この場合、演奏中の曲から通常の演奏に戻ります。

知識

- リピート中にランダム演奏にするときは、一度ボタンを押してリピートを解除してから再度ボタンを押してください。



エラーコード

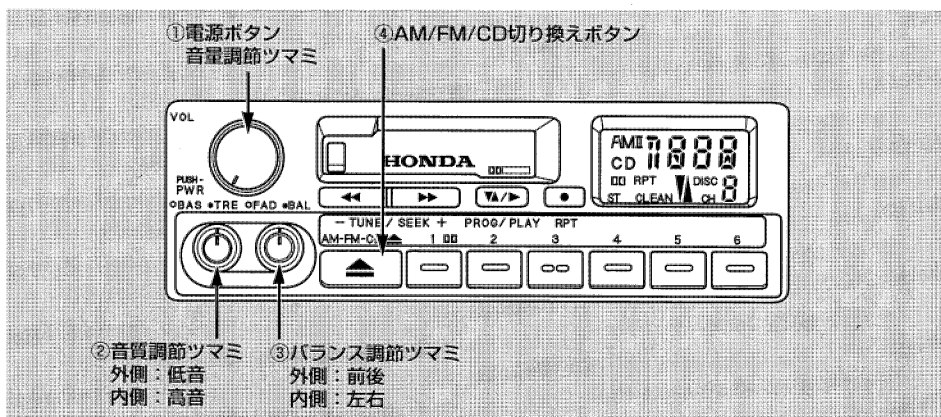
パネル表示部にエラーコードが表示されたときは、下表にしたがって点検してください。

| エラーコード | 原因 | 処置 |
|-------------------|--------------------------|---|
| E01 | ディスクチェンジの動作の異常 | ホンダベルノ店で点検を受けてください。 |
| E02 | ディスクがトランクユニット内部に残っている | トランクユニットのイジェクトスイッチを押してディスクマガジンを取り出した後、空のディスクマガジンを挿入してディスクを回収します。 |
| E03 E04 E05 | ディスクチェンジの動作の異常 | 数秒間表示されることがありますが、エラー表示が消えれば問題はありません。表示が消えないときは、ホンダベルノ店で点検を受けてください。 |
| E06 | ディスクチェンジの動作の異常 | トランクユニットのイジェクトスイッチを押して、ディスクマガジンを取り出します。エラー表示が消えれば問題はありません。表示が消えないとき、またはディスクマガジンが取り出せないときは、ホンダベルノ店で点検を受けてください。 |
| E07 | ディスクマガジンがイジェクトできない(装着不良) | トランクユニットのイジェクトスイッチを押して、ディスクマガジンを取り出します。エラー表示が消えれば問題はありません。表示が消えないとき、またはディスクマガジンが取り出せないときは、ホンダベルノ店で点検を受けてください。 |
| --H | 車内温度の上昇を検知 | 車内温度が適温に戻ると、エラー表示は消えます。 |
| EEE | チェンジャーと、CDプレーヤーの通信が不通 | チェンジャーと、CDプレーヤーの接続を確認してください。 |
| --- | チェンジャーにディスクマガジンが入っていない | チェンジャーにディスクマガジンを入れてください。 |
| T-00 | ディスクマガジンにディスクが入っていない | ディスクマガジンにディスクを入れてください。 |

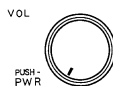
AM/FMラジオ一体式カセットステレオ (CDチェンジャーコントローラー内蔵)

タイプ別装備

●基本操作

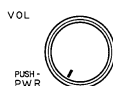


電源



エンジンスイッチが“I”または“II”のとき、電源が入ります。電源ボタン①を押すことに“ON” ↔ “OFF”が切り換わります。

音量調節



音量調節ツマミ①で調節します。右へ回すと音量は大きくなり、左へ回すと小さくなります。

知 識

- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。
車外の音が聞こえない状態では安全運転の妨げとなります。



音質調節

○BAS • TRE

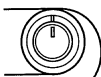


音質調節ツマミ②を押してとび出させて、低音(BAS)と高音(TRE)の音質を調節します。

ツマミをもう一度押すと元の位置に戻ります。

バランス調節

○FAD • BAL



バランス調節ツマミ③を押してとび出させて、前後スピーカー(FAD)と左右スピーカー(BAL)の音量バランスを調節します。

ツマミをもう一度押すと元の位置にもどります。

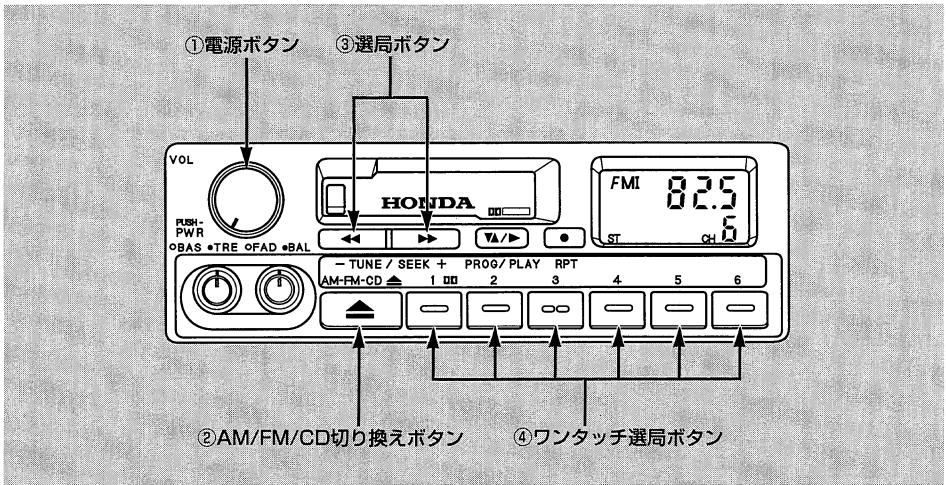
モードの切り換え

AM-FM-CD ▲

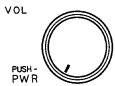


AM/FM/CD切り換えボタン④を押してAM放送、FM放送、CD演奏(CDチェンジャー装備車)を切り換えます。カセットテープを挿入口に差し込むとテープ演奏に切り換わります。

●ラジオの使いかた



ラジオ受信のしかた



電源ボタン①を押してラジオの電源を入れます。

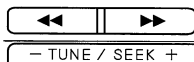
AM/FMの切り換え



AM/FM/CD切り換えボタン②を押してAMまたはFM放送を選択します。表示部にバンド表示灯が点灯します。FMステレオ放送が感度よく受信できたときは、表示部に“ST”のFMステレオ表示灯が点灯します。



選局のしかた



・手動選局

手動選局ボタン③を押します。
 押すたびに受信周波数が少しずつ変わり選局できます。
 周波数の高いほうへ選局するときは、右側を押します。
 周波数の低いほうへ選局するときは、左側を押します。

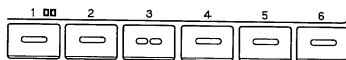
・自動選局

選局ボタン③を“ピッ”という電子音がするまで押し、離すと自動選局し、放送を受信すると止まります。
 周波数の高いほうへ選局するときは、右側を押します。
 周波数の低いほうへ選局するときは、左側を押します。

📖 知識

- 受信電波が弱いときは、自動選局できないことがあります。このようなときは手動で選局してください。
- 選局ボタン③を“ピッ”という電子音がしても離さず押し続けると、ボタンを押している間だけ周波数が連続的に変わります。

・ワンタッチ選局



ワンタッチ選局ボタン④を押すとあらかじめセットされた放送が受信できます。

〈セットのしかた〉

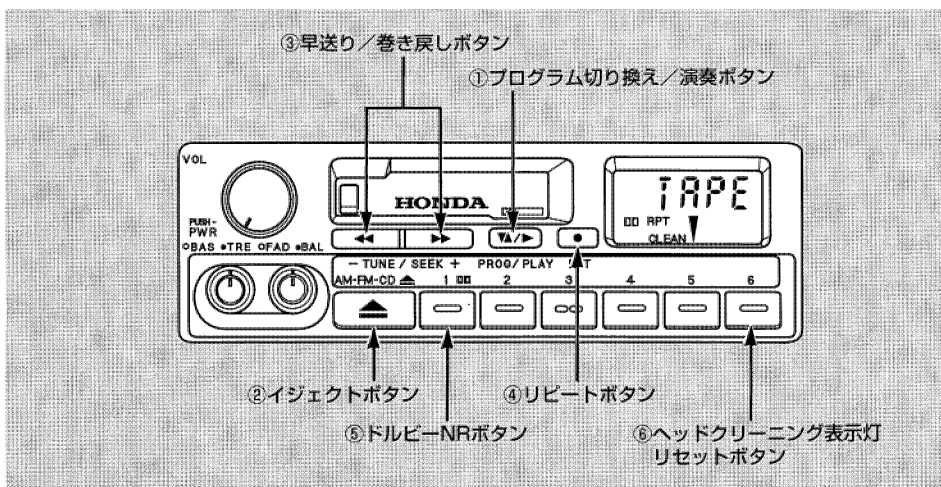
ワンタッチ選局ボタン④にAM6局、FM12局(FM1、FM2それぞれ6局)まで記憶させることができます。

1. 選局ボタン③で選局します。
2. ワンタッチ選局ボタン④のいずれか一つを“ピッ”という電子音がするまで(約2秒間)押し続けます。

📖 知識

- 一度電源が切れた場合(バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど)、記憶が消去されます。そのときは再度記憶操作をしてください。

●カセットプレーヤーの使いかた



テープの聞きかた

カセットテープを挿入口に差し込みます。

表示部に“▼”または“▲”のテープ走行表示灯が点灯し、テープ演奏が開始されます。

走行方向の切り換え



PROG/PLAY

演奏の途中で走行方向を切り換えたいときは、プログラム切り換えボタン①を押します。

テープの片面が終了したときは、自動的にもう一面の演奏を開始します。



テープの取り出し

AM-FM-CD ▲



イジェクトボタン②を押すとカセットテープが押し出されます。

ラジオやCDチェンジャーの電源が“ON”のとき、テープ演奏前にセットされていた状態に切り換わります。

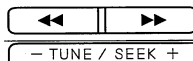
本体の電源が“OFF”のときでもイジェクトボタン②を押すとテープを取り出すことができます。

知 識

- イジェクトボタンを押しても、テープを取り出せない場合は、表示部に“TA-Er”が表示されます。

この場合、再度イジェクトボタンを押せば、他のラジオ演奏やCD演奏へは切り換えられます。

早送り、巻き戻し



早送り／巻き戻しボタン③で操作します。早送りはボタンの右側を軽く押します。このとき表示部には“FF”が表示されます。

巻き戻しはボタンの左側を軽く押します。このとき表示部には“REW”が表示されます。

早送り、巻き戻しを止めるときは、操作した側と反対側のボタンを軽く押すか、演奏ボタン①を押します。

頭出し演奏

早送りや巻き戻しのとときに早送り／巻き戻しボタン③を“ピッ”という電子音がするまで押して離します。このとき、表示部の“FF”または“REW”の表示は点滅します。

知 識

- 次の場合、頭出し機能がはたらかないことがあります。
 - 一曲と曲の間の音が無い部分が4秒以下のとき。
 - 一曲と曲の間に雑音が入っているとき。
 - 一曲の途中に音が無い部分があるとき。

リピート



RPT

演奏中の曲を繰り返し聞きたいときは、リピートボタン④を押します。同時に表示部に“RPT”が点灯します。リピート機能を解除するときは、もう一度リピートボタンを押します。


知識

- 次の場合、リピート機能がはたらかないことがあります。
 - 一曲と曲の間の音が無い部分が4秒以下のとき。
 - 一曲と曲の間に雑音が入っているとき。
 - 一曲の途中で音が無い部分があるとき。


ドルビーNR



ドルビーNRボタン⑤を押すと、ドルビーNR再生およびその解除ができます。

ドルビーNR再生中は、表示部に“ ”のドルビー表示灯が点灯します。ドルビーNR録音されたテープを再生すると、高域雑音の少ない演奏が楽しめます。

※ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

ドルビー、DOLBY及びダブルD記号  はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの登録商標です。

ヘッドクリーニング表示灯

テープ演奏が50時間を超えると、カセットテープが挿入される毎に、表示部に“CLEAN”のヘッドクリーニング表示灯が約5秒間点滅します。市販のクリーニングテープなどでプレイヤーの手入れをしてください。

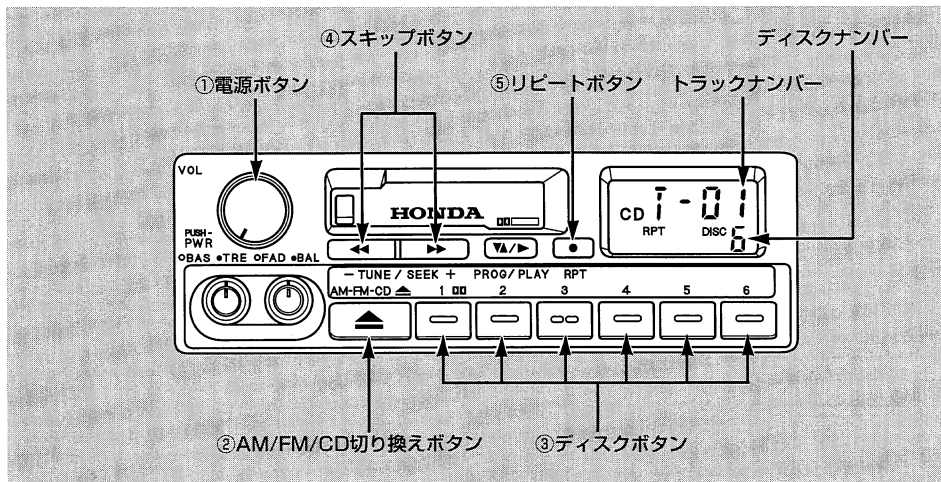


リセットするときは、リセットボタン⑥を“ピッ”という電子音がするまで(約3秒間)押し続けます。ボタンを押すと同時に表示部の“CLEAN”が点滅し、リセットされると消灯します。

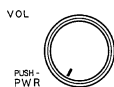


●CDチェンジャーコントローラーの使いかた

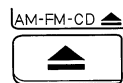
CDチェンジャー装備車



CDの聞きかた



電源ボタン①を押してラジオの電源を入れます。



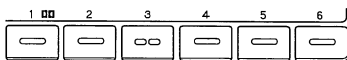
AM/FM/CD切り換えボタン②を押してCDに切り換えます。

表示部にディスク及びトラックナンバーが表示され、演奏が開始されます。

知識

- ディスクの最後の曲の演奏が終わると、自動的に次のディスクの初めから演奏が始まります。
- ディスクマガジンの中の6枚目のディスクの最後の曲の演奏が終わると、自動的に1枚目のディスクの初めから演奏が始まります。

ディスクの呼び出し



ディスクボタン③を押すことで、演奏させたいディスクを呼び出すことができます。ディスクボタンに続けてスキップボタン④を軽く押し離すと、トラックナンバーの指定もできます。

早送り、早戻し



スキップボタン④の右側を押し続けると早送りされ、左側を押し続けると早戻しされます。

ディスクの最初まで戻ると自動的に演奏を開始します。

また、ディスクの最後まで送ったときは、ポーズ状態になります。早送り以外のボタンを押せば解除されます。

スキップ、リプレイ



スキップ、リプレイはスキップボタン④の右側または左側を軽く押して表示部のトラックナンバーを聞きたい曲番にします。

・スキップ

演奏中の曲より先の曲を聞くととき、ボタンの右側を押します。

演奏中のディスクの最後の曲のときにボタンを押すと、そのディスクの最初の曲になります。

・リプレイ

演奏中の曲より前の曲を聞くととき、または演奏中の曲を初めから聞くととき、ボタンの左側を押します。

演奏中のディスクの最初の曲のときにボタンを押すと、そのディスクの最後の曲になります。

リピート



RPT

演奏中の曲を繰り返し聞きたいときは、リピートボタン⑤を押します。同時に表示部に“RPT”が点灯します。

リピート機能を解除するときは、もう一度リピートボタンを押します。



エラーコード

パネル表示部にエラーコードが表示されたときは、下表にしたがって点検してください。

| エラーコード | 原因 | 処置 |
|--------|--------------------------|---|
| E01 | ディスクチェンジの動作の異常 | トランクユニットのイジェクトスイッチを押して、ディスクマガジンを取り出します。エラー表示が消えれば問題はありません。表示が消えないとき、またはディスクマガジンが取り出せないときは、ホンダベルノ店で点検を受けてください。 |
| | ディスクマガジンがイジェクトできない(装着不良) | |
| E02 | ディスクがトランクユニット内部に残っている | トランクユニットのイジェクトスイッチを押してディスクマガジンを取り出した後、空のディスクマガジンを挿入してディスクを回収します。 |
| --H | 車内温度の上昇を検知 | 車内温度が適温に戻ると、エラー表示は消えます。 |
| EEE | チェンジャーと、CDプレーヤーの通信が不通 | チェンジャーと、CDプレーヤーの接続を確認してください。 |
| --- | チェンジャーにディスクマガジンが入っていない | チェンジャーにディスクマガジンを入れてください。 |
| T-00 | ディスクマガジンにディスクが入っていない | ディスクマガジンにディスクを入れてください。 |

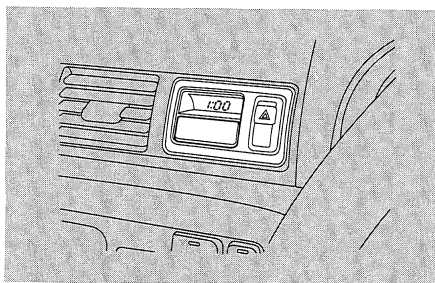
室内装備品

時計

ナビゲーションシステム非装備車

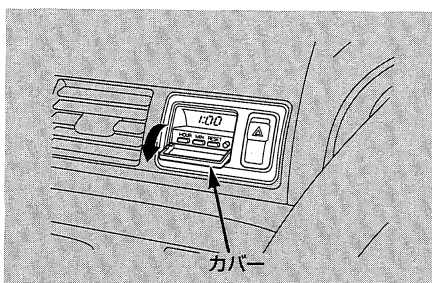
●時計表示

エンジンスイッチが“II”で表示されま
す。



●表示の合わせかた

カバーを開け、エンジンスイッチを“II”
にします。



「時」の調整

“HOUR”ボタンを押している間、「時」
の早送りができます。

「分」の調整

“MIN”ボタンを押している間、「分」の
早送りができます。

「時報合わせ」

時報と同時に“RESET”ボタンを押すと
時報に合わせることができます。

(例) 1:01~1:29の場合は1:00に
1:30~1:59の場合は2:00に
なります。

知 識

- 「秒」表示はありませんが、
“RESET”ボタンを押すと0秒か
ら作動を始めます。
- バッテリーの取り外し、ヒュー
ズ切れなどで電源が切れ、再び
電源が接続されると“1:00”の表
示から始まります。
正しい時刻に合わせてください。



室内灯

“ON”

ドアの開閉に関係なく点灯します。

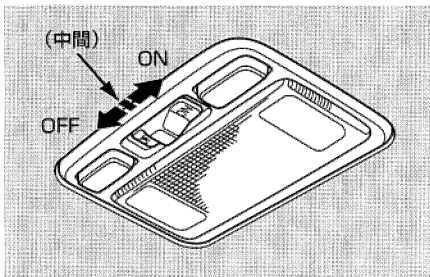
(中間)

ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。運転席ドアを解錠したときにも点灯し、その後消灯します。消灯するときは、徐々に減光してから消えます。

また室内灯が点灯しているときに、運転席ドアを施錠したり、エンジンスイッチにキーが差し込まれた状態で運転席ドアを閉めたときは、室内灯は減光せずに消灯します。

“OFF”

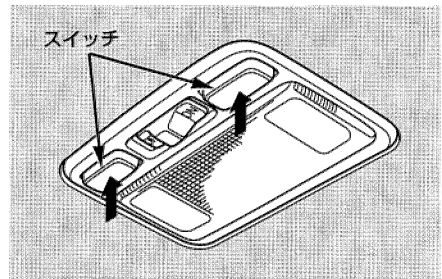
ドアの開閉に関係なく消灯します。



スポットライト

スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

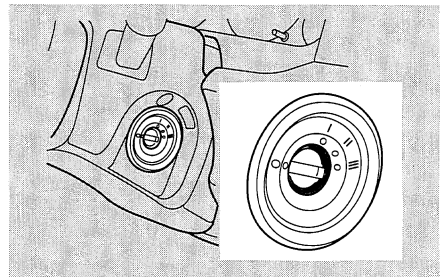
夜間、車を止めて地図などを見るときに便利です。



エンジンスイッチ照明灯

運転席ドアを開けると点灯します。

運転席ドアを閉めると数秒後に消灯します。

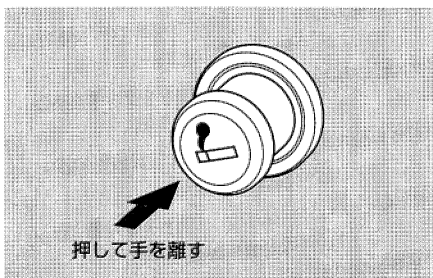


シガレットライター

エンジンスイッチが「I」または「II」のときだけ使えます。

ライターを押し込んで、手を離し、元の位置に戻るまで待ちます。

ヒーター部が赤熱すると自動的に戻ります。



ライター使用後は灰皿で灰を落としてからすみやかに元に戻してください。

⚠注意

- シガレットライターの金属部分には触れないでください。やけどをするおそれがあります。

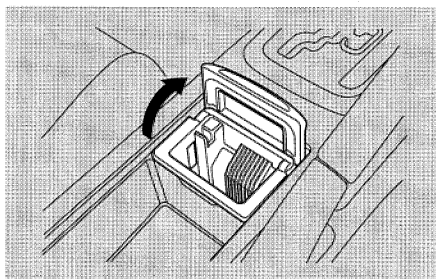
🎓知識

- シガレットライターの破損を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・ライターを押し込んだあと、押さえ続けしないでください。
 - ・ヒーター部に灰や異物が付着したまま使用しないでください。
 - ・ライターのさし込み口からは、ホンダ純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。
- 他の車のライターを使ったり、自車のライターを修正したりしないでください。戻らなかったり、とび出したりするおそれがあります。
- ライターを押し込んでから、30秒以上たっても戻らないときは故障のおそれがありますので手で引き出し、ホンダベルノ店で点検を受けてください。

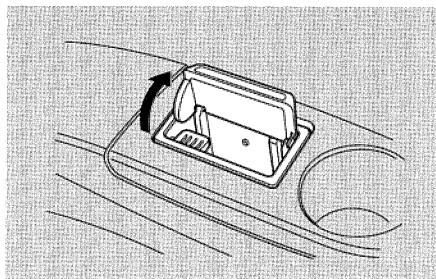


灰皿

前席用

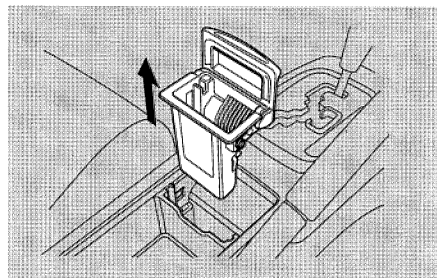


後席用



●清掃するとき

灰皿本体を引き抜けば、取り外すことができます。

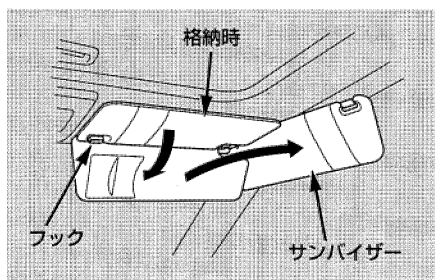


⚠注意

- タバコ、マッチなどは確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。また、吸いがらをためすぎたり、紙くすなどの燃えやすいものを入れないでください。タバコの火が燃え広がるおそれがあります。

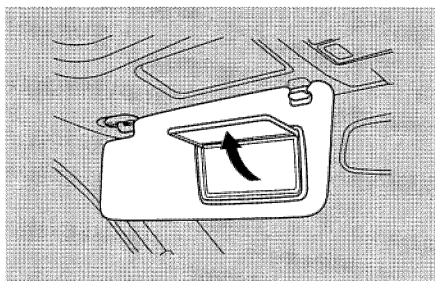
サンバイザー

サンバイザーを横にするときは、フックから外して行います。



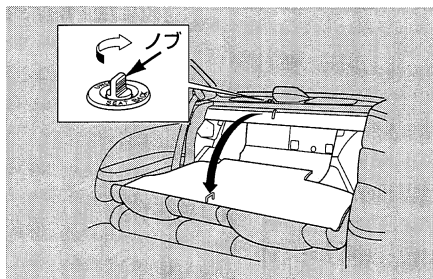
●バニティミラー(化粧鏡)

助手席のサンバイザーに鏡があります。お化粧のときなどに便利です。

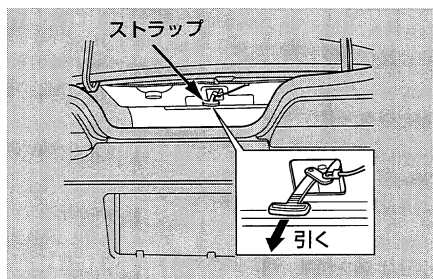


トランクスルー

ノブを回してロックを解除すると背もたれが倒せます。



ストラップを引くと、トランクルーム内からも開けられます。



背もたれを元へ戻すときは、後へ押しつければ、自動的に固定します。



⚠ 注意

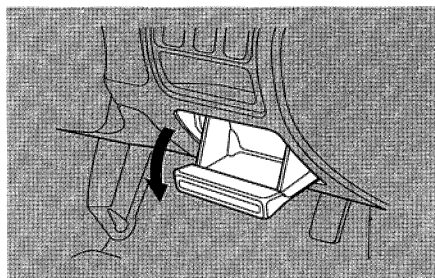
- 走行中は荷物の出し入れはしないでください。
急ブレーキなどのときに思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

- 背もたれを起こしたときは、固定されていることを必ず確認してください。

コインボックス

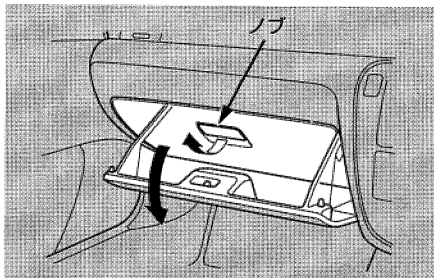
小銭などを入れておくと有料道路の料金所などで便利です。



小物入れ

●グローブボックス

ノブを引くと開きます。

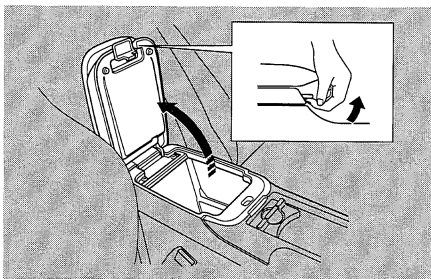


⚠警告

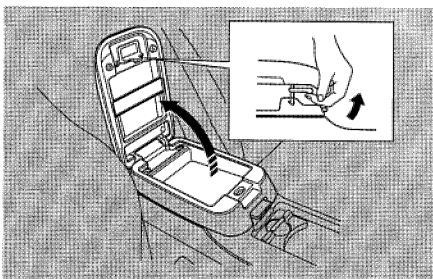
- 走行中は、グローブボックスのふたを必ず閉めてください。グローブボックスのふたが開いていると、衝突したときなどにふたにぶつかったり、内部の物が飛び出したりして思わぬ事故につながります。

●コンソールボックス

ノブを引くと開きます。



ふたの中も小物入れとして使えます。
ノブを引いて開けます。





カップホルダー

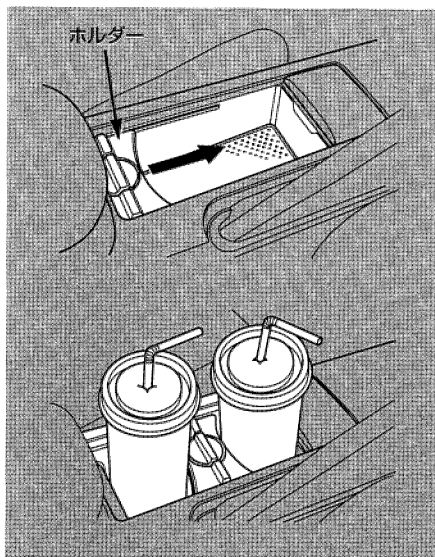
カップなどを置くときに使います。

知識

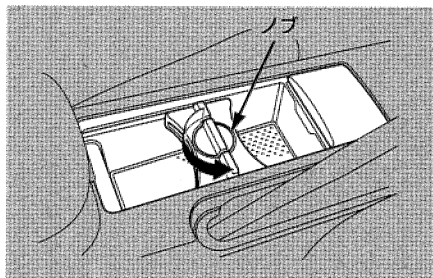
- ドアの開閉や走行中の振動、車の動きなどで飲み物がこぼれることがあります。
熱い飲み物などはやけどのおそれがありますので注意してください。
- 飲み物がラジオ、カセットデッキ等にかかるると、故障の原因となりますので注意してください。

●前席用

ホルダーを前方へスライドさせて使います。



小型のカップをおくときは、ノブを回します。

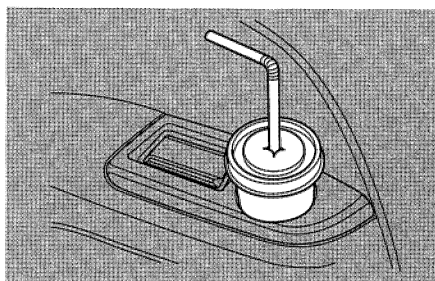


知識

- ホルダーを後方にスライドさせれば、小物入れとして使えます。

●後席用

後席左側にあります



M

E

M

O

Handwriting practice area consisting of 15 horizontal dashed lines.

5

万ーのとき

●工具・スペアタイヤ・発炎筒

| | |
|---------|-----|
| 格納場所 | 182 |
| 工具の種類 | 183 |
| 発炎筒について | 183 |

●故障したとき

| | |
|--------------|-----|
| 踏切で動けなくなったとき | 184 |
| 高速道路で故障したとき | 184 |
| 道路で動けなくなったとき | 185 |
| 故障の修理について | 185 |

●事故が起きたとき

●けん引

| | |
|-------------|-----|
| けん引されるとき | 188 |
| 故障車をけん引するとき | 191 |

●バンクしたとき

| | |
|-----------|-----|
| ジャッキの取り扱い | 192 |
| 応急用スペアタイヤ | 194 |
| タイヤ交換 | 195 |

●オーバーヒートしたとき

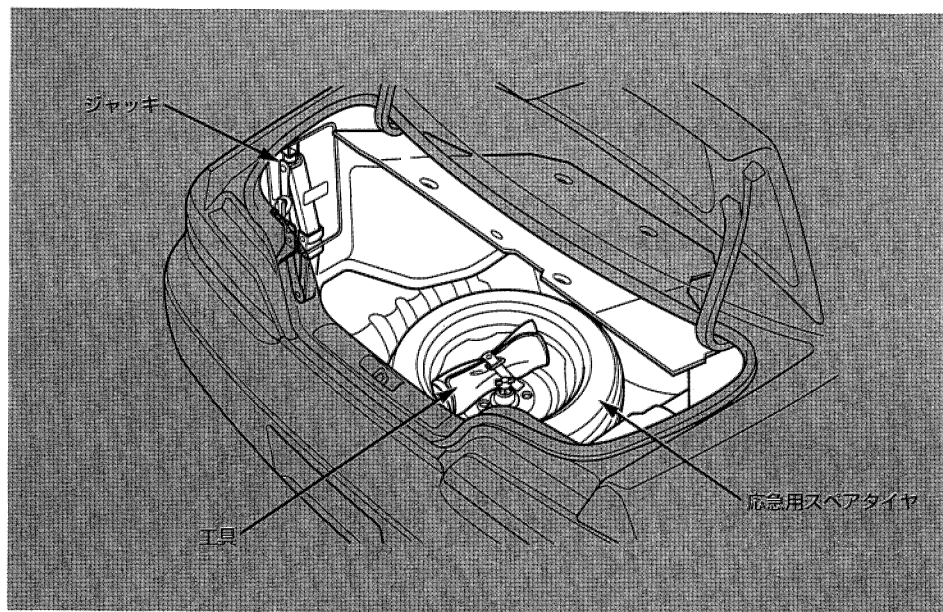
●電気系統が異常のとき

| | |
|-------------------------------|-----|
| バッテリーあがりのとき | 202 |
| ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき | 204 |
| サンルーフが作動しないとき | 210 |

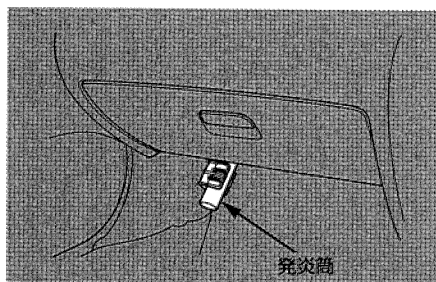
工具・スペアタイヤ・発炎筒

格納場所

●工具・スペアタイヤ



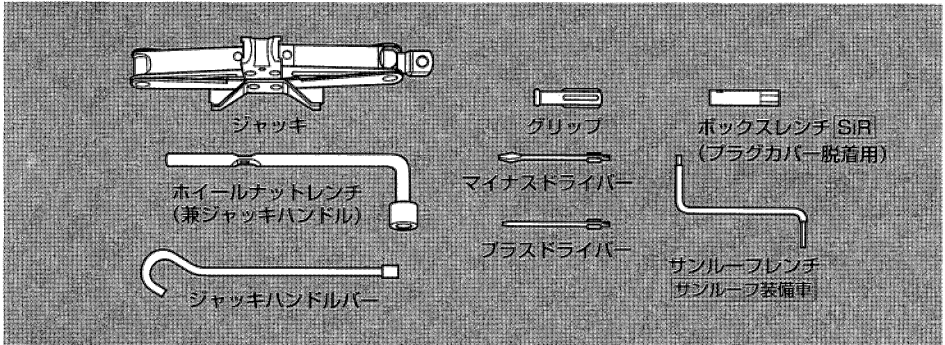
●発炎筒



発炎筒は助手席足元にあります。



工具の種類



知識

- 工具の種類、ジャッキ、発炎筒の使いかたなどは万一のとき困らないようあらかじめ確かめておきましょう。
- スペアタイヤ、ジャッキは走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- 高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器材による表示義務がありますので、停止表示板などを常時携帯するようにしましょう。

発炎筒について

高速道路、踏切などの危険な場所で故障したときに使います。発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- ・ 使いかた
- ・ 使用上の注意
- ・ 発炎時間
- ・ 有効期限

警告

- ガソリンなどの燃えやすいもののそばでは使わないでください。火災や爆発のおそれがあります。

注意

- お子さまにいじらせないでください。いたすらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故ややけどの原因になります。
- 発炎筒を使うときは顔やからだに向けてとやけどなどをすることがあるのでおやめください。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

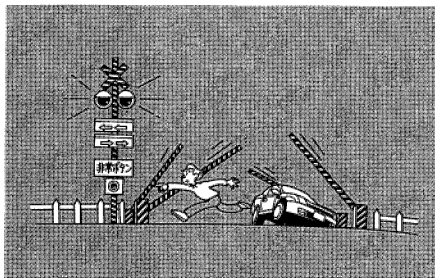
故障したとき

車を路肩に停め、非常点滅表示灯を点滅させます。必要に応じて停止表示板(または停止表示灯)、発炎筒を使い、後続する車に故障車とわかるようにします。

踏切で動けなくなったとき

脱輪などで踏切内で動けなくなったときは、踏切の非常ボタンを押してください。

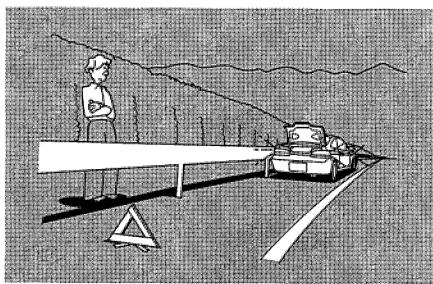
非常ボタンがわからず、緊急を要するときは、発炎筒で合図をしてください。



高速道路で故障したとき

車を路側帯に寄せ、非常点滅表示灯を点滅させ、車両後方に停止表示板(または停止表示灯)を置いて表示してください。

法律で義務づけられています。

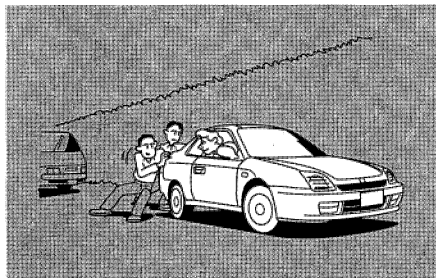


人は車からおりて、安全な場所に避難してください。



道路で動けなくなったとき

一般道路で動けなくなったときは、付近の人に安全な場所まで押してもらってください。



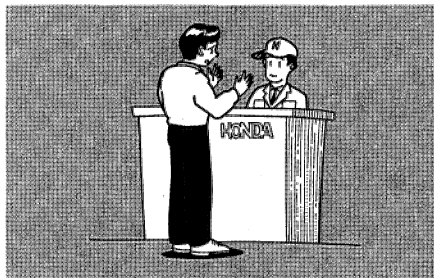
または、マニュアル車の場合は、ギヤを2に入れて、クラッチペダルを踏まずにスターターを回して移動します。

知識

- オートマチック車はスターターを回して車を動かすことはできません。

故障の修理について

ホンダベルノ店へお申しつけください。



お持ちこみいただければ、簡単なものはその場で修理いたします。長くかかるものは、予定をお知らせします。お持ちこみのむずかしいときには電話でご連絡ください。

遠出などのときは全国どこでもホンダ販売店へご連絡ください。

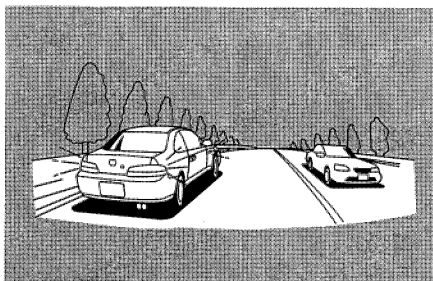
ホンダ販売店およびJAFの電話番号については別冊の「サービス網一覧」をご覧ください。

事故が起きたとき

あわてずに次の処置をとります。

1 事故の続発を防ぐ。

他の交通の妨げにならないような安全な場所(路肩、あき地など)に車を移動させ、エンジンを止めます。



2 負傷者がいる場合は、応急手当を行う。

医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行います。この場合、とくに頭部に傷などがあるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしますが、後続事故の心配があるときは安全な場所に移動させます。



🎓 知識

- 外傷がなくても医師の診断を受けましょう。後になってから後遺症が出るおそれがあります。



3 警察へ連絡する。

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し、指示を受けます。



4 相手方、事故の状況をメモする。

5 ご購入された販売店や保険会社へ連絡する

けん引

けん引は専門業者に依頼し、できるだけ四輪または前輪を持ち上げて行ってください。

アドバイス

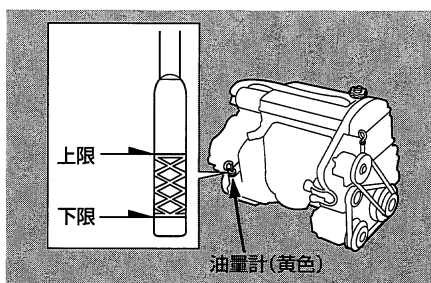
- 車輪が動かないときなど動力伝達装置に異常があると思われるときは、必ず四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。

けん引されるとき (ロープによるけん引)

やむをえず四輪を接地させてロープでけん引を行う場合は、次の方法で行ってください。

① オートマチック車

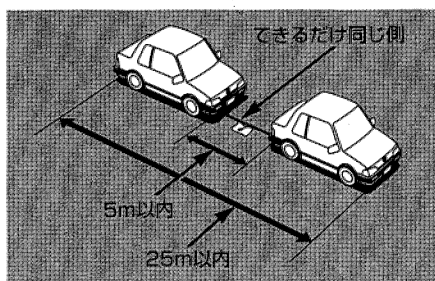
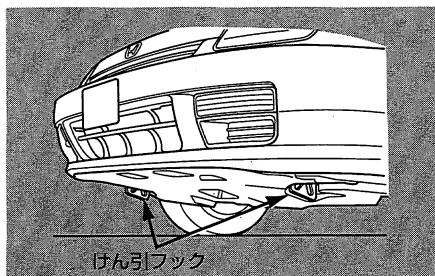
トランスミッションオイルの量が目盛りの上限と下限の間にあるかを点検します。



下限より下がっている場合は、四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。



- ②ロープをけん引フックにかけ、ロープ中央部に白い布(0.3m平方以上)を付けます。



- ③チェンジレバーまたはセレクトレバーはN(ニュートラル)に、エンジンスイッチは“I”または“II”にします。

- ④駐車ブレーキを解除し、けん引されます。けん引中は、前の車の制動灯に注意してロープをたるませないようにしてください。

⑤ **オートマチック車**

速度30km/h以下、走行距離80km以内でけん引してください。

アドバイス

- けん引フックにロープをかけるときは、車体やフックの破損・変形を防ぐために次のことに気をつけてください。
 - ・けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
 - ・けん引時にけん引フックに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。
- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使ってけん引するときは、車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどして行ってください。
そのままけん引すると、バンパーに傷をつけるおそれがあります。

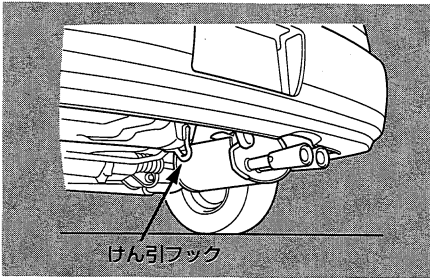
知識

- エンジンが停止している状態でのけん引は、次のことに気をつけてください。
 - ・ブレーキの倍力装置がはたらかなくなるので、ブレーキのききが悪くなります。
 - ・パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなるので、ハンドル操作が重くなります。
 - ・マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にするとキーが抜けることがあります、ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり、事故につながるおそれがあります。
- 長い下り坂では、ブレーキ部の温度が上がりブレーキがきかなくなるおそれがあります。レッカー車にけん引してもらってください。



故障車をけん引するとき

やむをえず故障車をけん引するとき
は、自車より重い車のけん引は避けて
ください。



アドバイス

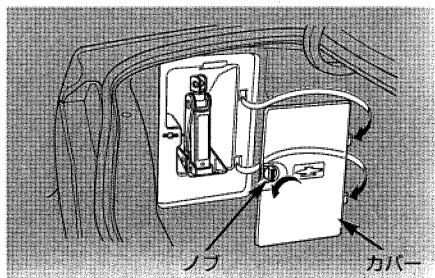
- けん引フックにロープをかける
ときは、車体やフックの破損・
変形を防ぐために次のことに気
をつけてください。
 - ・けん引フック以外のところに
ロープをかけないでくださ
い。
 - ・けん引時にけん引フックに大
きな衝撃が加わるような運転
をしないでください。
- ワイヤーロープや金属製のチェ
ーンなどを使ってけん引すると
きは、車体にあたる部分のチェ
ーンに布をまくなどして行っ
てください。
そのままけん引すると、パンパ
ーに傷をつけるおそれがあり
ます。

パンクしたとき

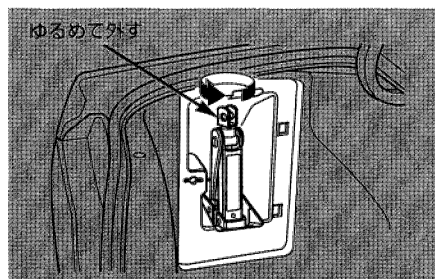
ジャッキの取り扱い

●ジャッキの取り出しかた

①ノブを回してカバーを外します。



②ジャッキをゆるめて外します。

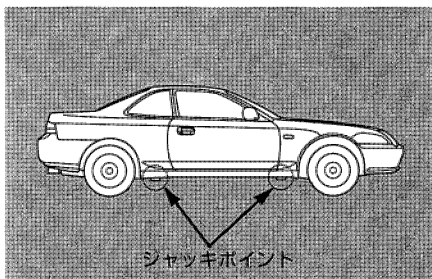


🎓 知識

●ジャッキを格納するときはドライバーなどで無理に締めないでください。

ジャッキ取り付け部が変形するおそれがあります。

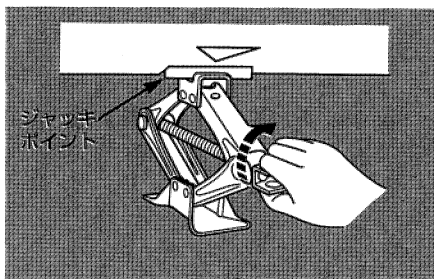
●ジャッキをかける位置



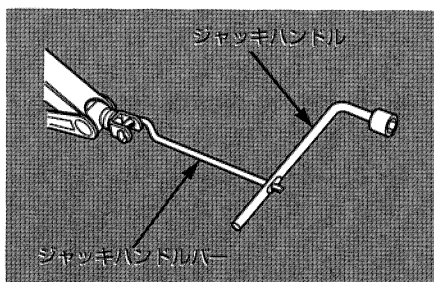


●ジャッキのかけかた

- ①地面が固い平らなところに車を停めます。
- ②駐車ブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。
- ③ジャッキを地面に置き、手で回してジャッキの溝がジャッキポイントに入るまで上げます。



- ④ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを使って、タイヤと地面が少し離れるまで車体を上げます。



⚠警告

- 車がジャッキだけで支えられているときは、不安定な状態にあるので車の下に入ったりしないでください。
万一、ジャッキが外れると、思わぬ事故につながります。

⚠注意

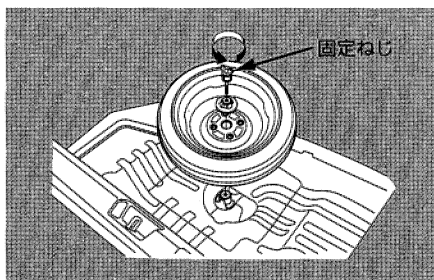
- ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守ってください。
 - ・エンジンをかけたままにしない。
 - ・地面が固い平らなところ以外では使用しない。
 - ・指定された位置以外にかけない。
 - ・人や荷物をのせたままにしない。
 - ・ジャッキの上や下に物をいれたりしない。
 - ・タイヤ交換やタイヤチェーン着脱以外には使用しない。

📖知識

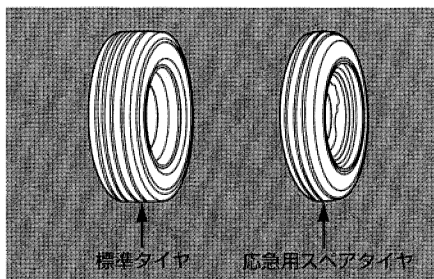
- この車に搭載されているジャッキをお使いください。他のジャッキでは支えられる重量（呼重量）が不足したり、形状が合わないことがあります。

応急用スペアタイヤ

固定ネジをゆるめて取り出します。



応急用スペアタイヤは、タイヤがパンクしたときの応急用としてのみを使うタイヤです。



ビスカスLSD装備車には、専用の応急用スペアタイヤをお使いください。

お使いになるときは次のことをお守りください。

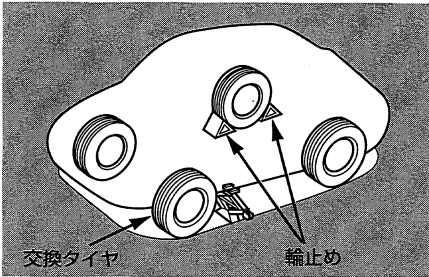
知識

- 空気圧はときどき点検し、指定空気圧でお使いください。
(指定空気圧：4.2kgf/cm²)
- 応急用スペアタイヤを装着したときは、100km/h以下で走行し、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
- 応急用スペアタイヤは標準タイヤと比べて直径が小さいため車高が低くなります。突起物など乗り越えるときは、車の下にひっかかないように注意してください。(ビスカスLSD車を除く)
- この応急用スペアタイヤとホイールはこの車の専用品です。他のタイヤやホイールと組み合わせたり、他の車に使わないでください。
- 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンは装着できません。チェーン装着時に前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これにタイヤチェーンを装着してください。
- ビスカスLSD装備車は、前輪に応急用スペアタイヤを装着しないでください。

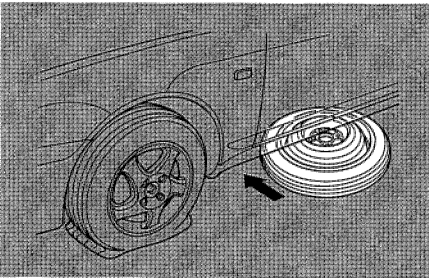


タイヤ交換

- ①車を安全な場所に停め、工具類、応急スペアタイヤを取り出します。
- ②駐車ブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。



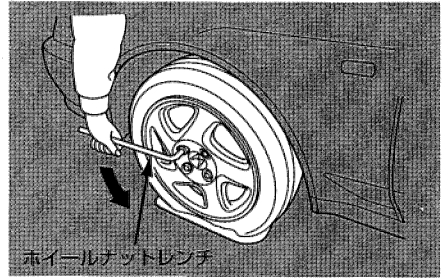
- ③応急スペアタイヤは交換するタイヤ近くの車体の下にホイール表面を上にして置きます。



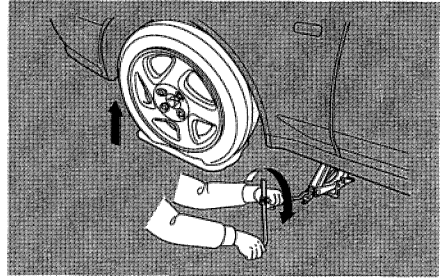
- ④ジャッキをセットします。

→193ページ

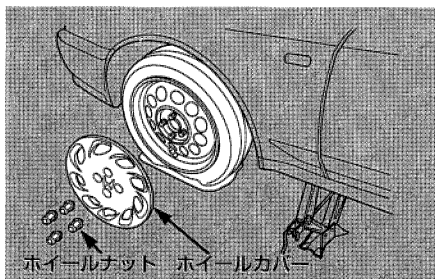
- ⑤ホイールナットをホイールナットレンチで少し(約1回転)ゆるめます。



- ⑥タイヤと地面が少し離れるまでジャッキで車体を上げます。



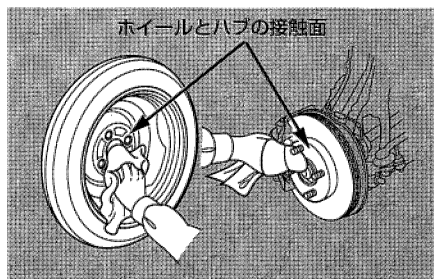
- ⑦ホイールナット、ホイールカバー
(タイプ別装備)を外し、タイヤを外
します。



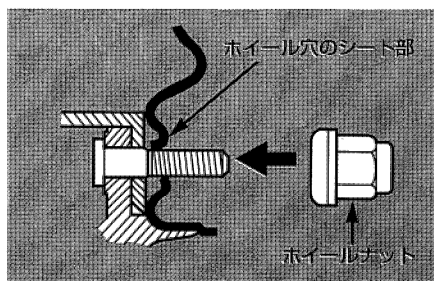
知識

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。
下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。
- ホイールカバー(タイプ別装備)は、ホイールナットを外さないと取り外しができません。ドライバーなどで無理にこじらないでください。

- ⑧応急用スペアタイヤのホイールと、
ハブの接触面のよごれをふき取りま
す。



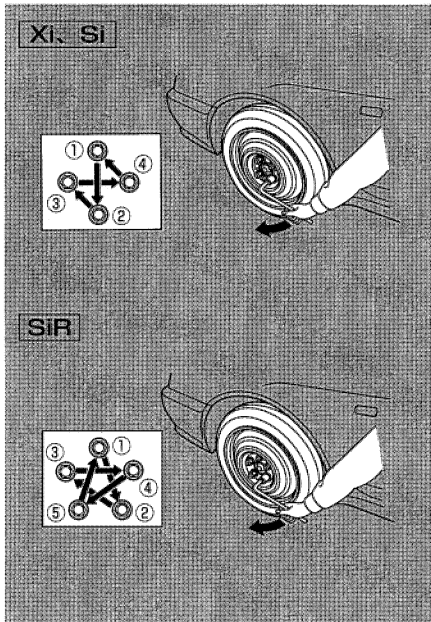
- ⑨応急用スペアタイヤを取り付けま
す。
⑩ホイールナットがホイール穴のシー
ト部に軽く当たり、ホイールがガタ
つかない程度までホイールナットを
締めます。





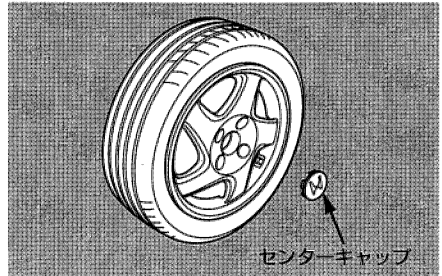
- ⑪ ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっかりと締め付けます。

ホイールナット締め付けトルク：
10.0～12.0kg・m

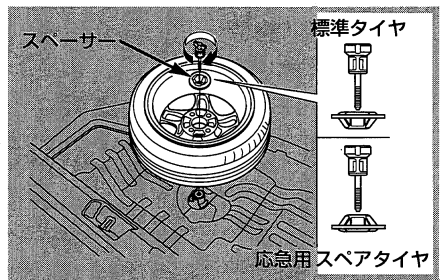


- ⑫ **アルミホイール装備車**

パンクした標準タイヤはセンターキャップを外します。

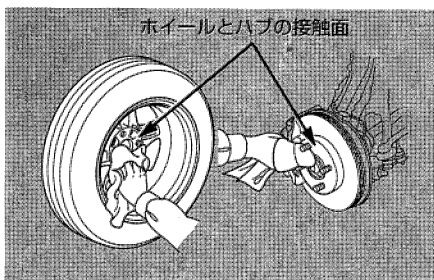


- ⑬ パンクした標準タイヤをしまい、スペーサーを、応急用スペアタイヤを固定していたときとは逆向きにして固定します。



●標準タイヤを取り付けるとき

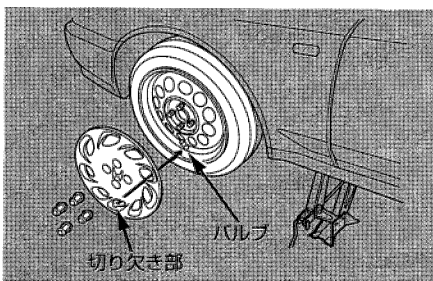
- ①標準タイヤのホイールと、ハブの接触面のよごれをふき取ります。



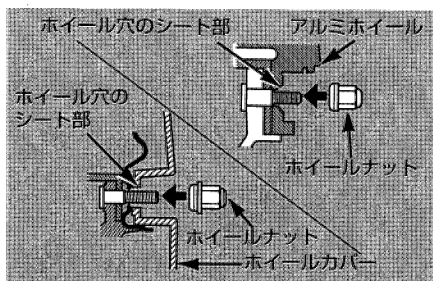
知識

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。
下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

- ②ホイールカバー(タイプ別装備)を取り付けるときは、切り欠き部がバルブの位置にくるようにします。



- ③ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。

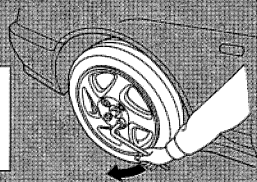
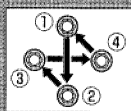


- ④ジャッキをおろし、図の番号順に2~3度にわたり、ホイールナットをしっかりと締め付けます。

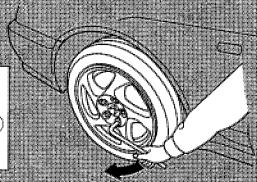
ホイールナット締め付けトルク：

10.0~12.0kgf·m

Xi, Si



SiR





アドバイス

- ビスカスLSD装備車の前輪は左右共、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。
サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用するとビスカスLSDに悪影響をあたえます。

知識

- この車専用のホイールをお使いください。
専用以外のホイールを使うと走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそがあります。ホイール交換に際しては、必ずホンダベルノ店にご相談ください。
- レンチを足で踏んだり、パイプなどを使って必要以上に締め付けないでください。
トルクがかかりすぎる場合があります。
- タイヤ交換は安全のため、地面の硬い平らな場所で、他の交通に十分注意して行ってください。必要に応じて停止表示板、非常点滅表示灯を使ってください。
- 必ず指定サイズ、同一種類のタイヤを使ってください。指定サイズ以外のタイヤや種類の異なるタイヤを使うと安全性を損ないます。
- 応急用スペアタイヤの空気圧は使うときに調整してください。
やむをえず、未調整のまま走る場合は、速度を控えめにしてください。
タイヤの空気圧 →243ページ
- パンク修理、タイヤの摩耗、リムの変形などでホイールバランスが狂うことがあります。車体の振動などの異常を感じたらホンダベルノ店で点検を受けてください。

アルミホイール装備車

- パンク修理などでホイールを取り付け直したときには、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。

オーバーヒートしたとき

次のようなときは、オーバーヒートです。

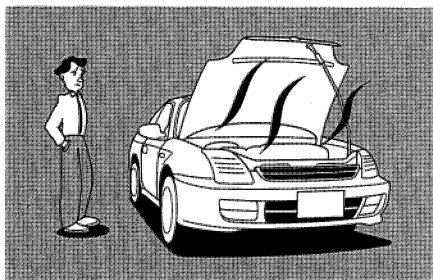
- ・水温計の針が赤いマークに入ったり、エンジンの力が急に落ちる。
- ・エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている。

⚠ 警告

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットを開けないでください。蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

●処置のしかた

- ①車を安全な場所に停めます。
- ②エンジンをかけたままボンネットを開けて風通しをよくします。

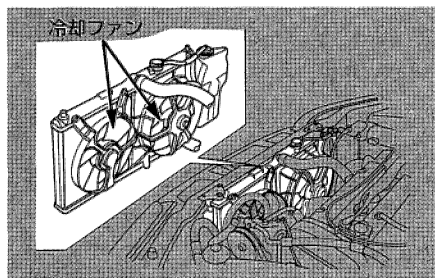


🎓 知識

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、エンジンを止めます。蒸気が出なくなってからボンネットを開け、エンジンをかけてください。



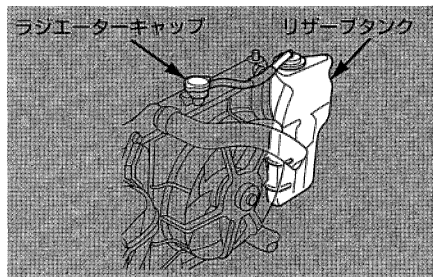
- ③冷却ファンの作動を確認し、水温計の針が下がってきてからエンジンを止めます。冷却ファンが作動していないときはすぐにエンジンを止めてください。



🔧 アドバイス

- 冷却ファンが作動していない場合は、故障が考えられますので、ホンダベルノ店へご連絡ください。

- ④エンジンが冷えてから、冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検します。



- ⑤冷却水量が不足していたら補給します。

⚠️ 警告

- エンジンが十分に冷え、水温が下がるまでラジエーターキャップを外さないでください。冷却水には圧力がかかっているため、蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けおそれがあります。

- ⑥なるべく早くホンダベルノ店で点検を受けてください。

電気系統が異常のとき

バッテリーあがりのとき

次のようなときは、バッテリーあがりです。

- ・スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからない。
- ・ライトがいつもより極端に暗かったり、ホーンの音が小さい。

●処置のしかた

安全のため、押しがけはしないでください。

救援車のバッテリーを利用してエンジンを始動させます。

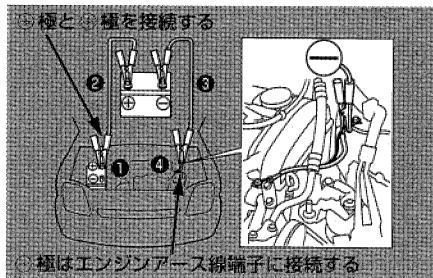
- ①ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

1本目

- ①自車のバッテリーの⊕端子
- ②救援車のバッテリーの⊕端子

2本目

- ③救援車のバッテリーの⊖端子
- ④自車のエンジンのアース端子



- ②救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにします。
- ③自車のエンジンをかけます。
- ④ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。
- ⑤ホンダ販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。



⚠ 警告

- バッテリーを取り扱うときは次のことを必ず守ってください。
バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ 火気を近づけないでください。
 - ・ 帯電した体でバッテリーに触れないでください。
 - ・ 換気に十分注意し、換気の悪い場所では行わないでください。
 - ・ バッテリーを充電するときは、すべてのキャップを外してください。
- ブースターケーブルをつなぐときは次のことを必ず守ってください。火花が出て、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ 自車のバッテリーの⊖端子に直接ケーブルをつながないでください。
 - ・ ⊕端子と⊖端子を間違えないでください。
 - ・ ケーブルの先端どうしを接触させないでください。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮ふに着くとその部分が侵されますので十分注意してください。
万一、付着したときはすぐに多量の水ですくなくとも5分間以上洗浄し、飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲んでください。応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

🎓 知識

- ブースターケーブルのクリップは、エンジン始動時などの振動で外れたりしないように確実に固定してください。
また、ブースターケーブルが冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分気をつけてください。
- オートマチック車は、押しがけはできません。
- 救援車には、12Vのバッテリーを装着している車を使用してください。

ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき

バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れや電球(バルブ)切れが考えられます。

- ①エンジンスイッチを“0”の位置にします。
- ②ヒューズが切れていないかを点検します。

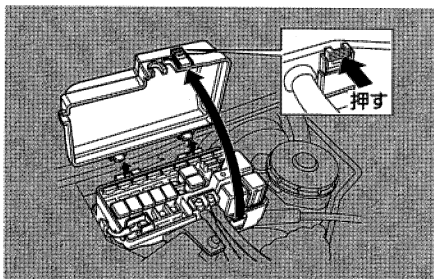
故障の状況から点検すべきヒューズをヒューズボックスの表示で確認し、点検します。

- ③必要に応じて、ヒューズや電球を交換します。

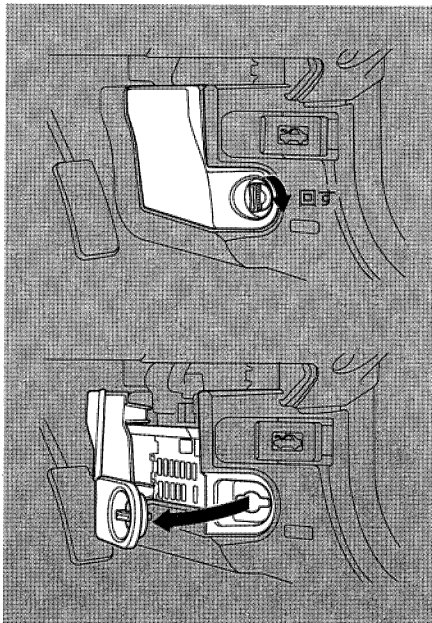
●ヒューズの点検、交換

ヒューズボックスの位置

・エンジンルーム

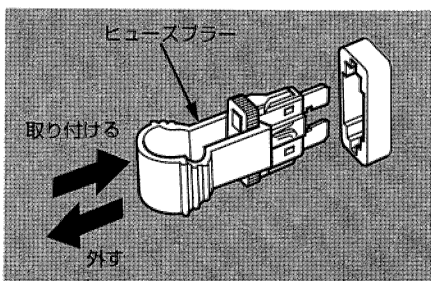


・運転席足元



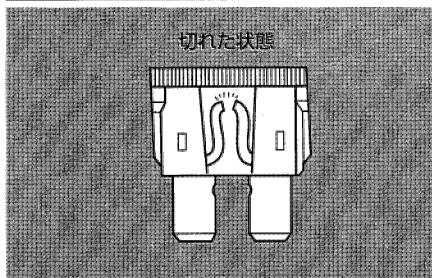
ヒューズの外しかた

備え付けのヒューズプラーでヒューズを外します。





ヒューズが切れているとき



ヒューズボックスの表示に従い規定容量のヒューズに交換します。

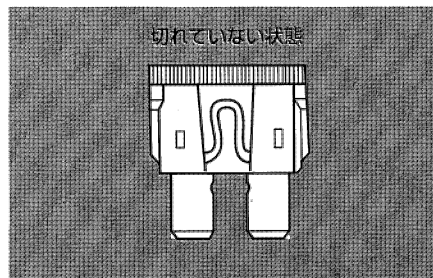
アドバイス

- 規定容量のヒューズ以外のものは絶対に使わないでください。配線コードなどを焼損させる原因となります。

知識

- 交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダベルノ店で点検を受けてください。

ヒューズが切れていないとき



- ライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。

知識

- 電球が切れていない場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダベルノ店で点検を受けてください。
- ライト類以外の電気装置が作動しないときは、電気系統の異常が考えられますので、ホンダベルノ店で点検を受けてください。

●電球(バルブ)の交換

ヒューズが切れていないのにライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。

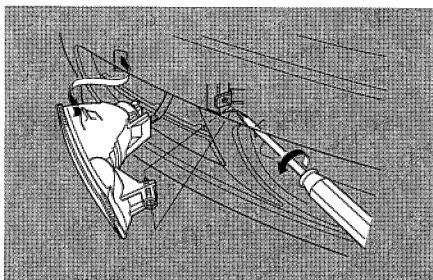
電球のワット数 →240ページ

知識

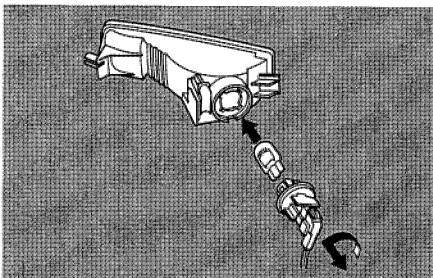
- ランプ本体やレンズを外すときは、ボディに傷を付けないように注意してください。
- 電球を交換するときはワット(W)数の違うものを使わないでください。
- ハロゲンバルブはガラス球内部の圧力が高いため、落したり、物をぶついたり、傷をつけたりすると破損してガラスが飛び散ることがあります。
取り扱いには十分に注意してください。また、ハロゲンバルブの電球の表面に手などが、触れないようにしてください。使用时電球が高温になるため、油などが付着すると寿命が短くなります。触れた場合は、中性洗剤の薄い水溶液を柔らかい布に含ませてよくふき取ってください。
- レンズを取り付けるときは、ネジを締めすぎないようにしてください。レンズを破損するおそれがあります。

前面方向指示器/前面非常点滅表示灯

①ネジをゆるめてランプ本体を外します。



②ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。





車幅灯

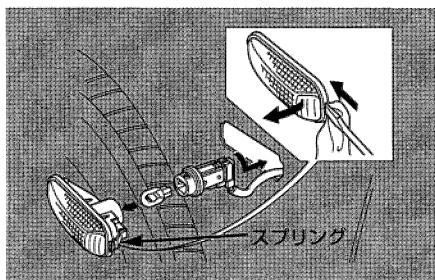
エンジンルーム側からソケットを左に回して外し、電球を抜き取ります。



側面方向指示器／側面非常点滅表示灯

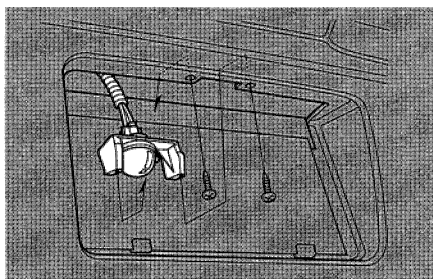
ドライバーの先端に布などを巻き、後方よりスプリングを押しながらランプ本体を外します。

ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

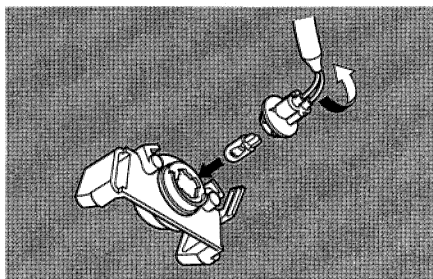


番号灯

①ネジを外し、ランプ本体を外します。

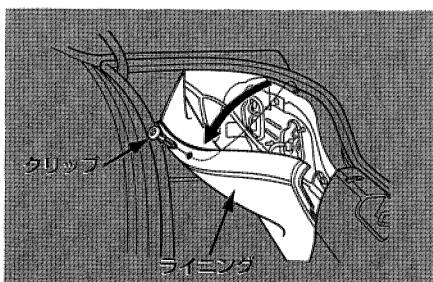


②ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

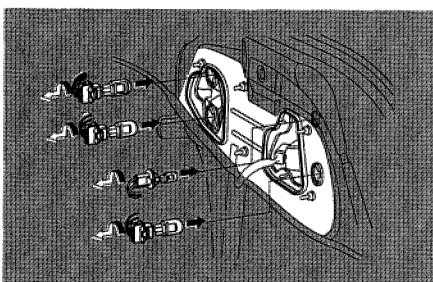


**制動灯／尾灯、後面方向指示器／
後面非常点滅表示灯、後退灯**

- ①交換する側のライニングからクリップ1個を引き抜き、ライニングをめくります。

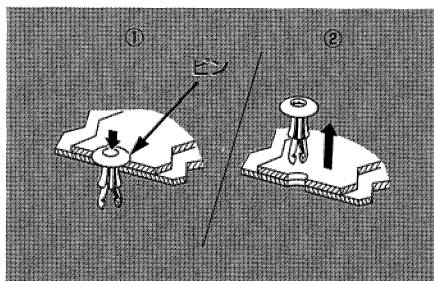


- ②ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

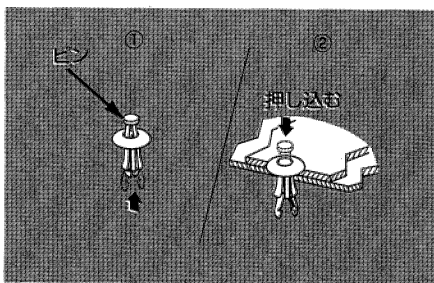


・クリップの脱着のしかた

クリップ中央部のピンを“カチッ”と音がするまで軽く(2mm程度)押し込んでクリップを引き抜きます。



固定するときは、クリップ中央部のピンを押し戻して、取り付けたダクトやライニングに差し込み、ピンを平らになるまで押し込みます。

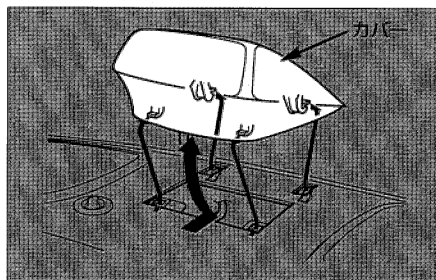




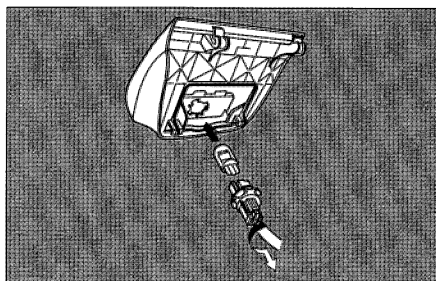
ハイマウントストップランプ

室内設置タイプ

①カバーを後方に押しながら外します。

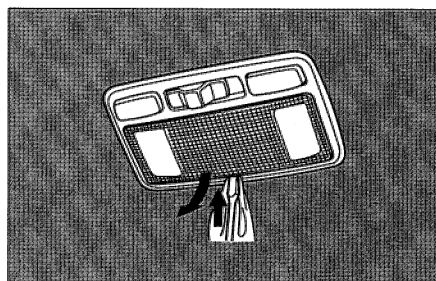


②ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

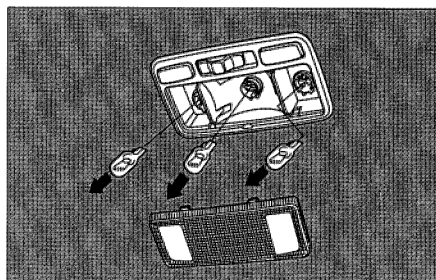


室内灯/スポットライト

①レンズを外します。



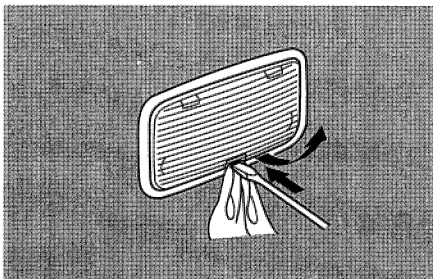
②電球を抜き取ります。



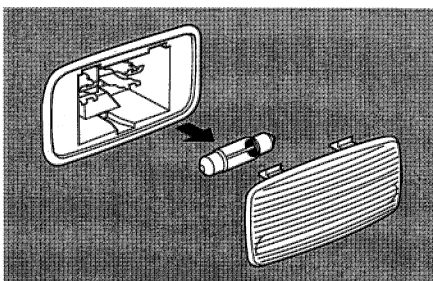
ドア開閉灯

タイプ別装備

①レンズを外します。

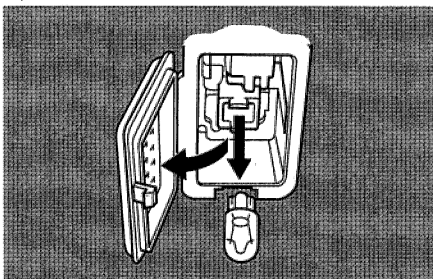


②電球を抜き取ります。



トランク照明灯

カバーを開け、電球を抜き取ります。

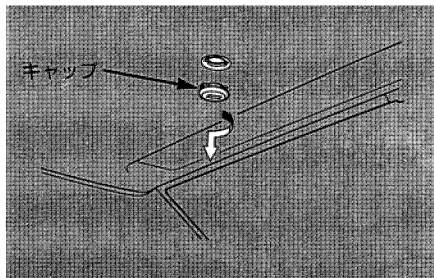


サンルーフが作動しないとき

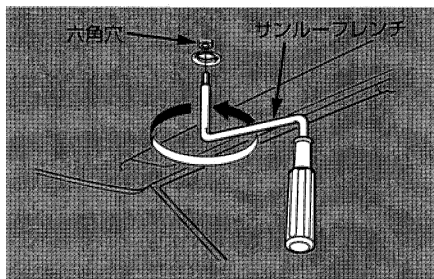
万一、電動でサンルーフが閉まらなくなった場合は、応急処置として工具袋内のサンルーフレンチを使って閉めてください。

工具→182ページ

①後席ルーフ中央のキャップをコインなどで回し、キャップの溝が図のように前後を向いたところで取り外します。



②六角穴にサンルーフレンチを差し込んで回します。



知識

- 応急処置後はホンダベルノ店で点検を受けてください。

6

車の手入れ

●点検・整備について……………212

●日常の手入れ

外装の手入れ……………215

内装の手入れ……………217

タイヤについて……………218

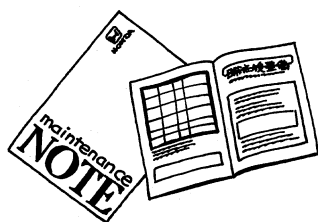
アルミホイールについて……………220

●車にあった部品の使用……………222

点検・整備について

車は走行するにしたいが、また時間が経過するとともに部品の劣化や摩耗などが進んでいき、適切な点検整備を行わないと、安全・快適に乗っていただけなくなるばかりか大気汚染や騒音の増加などを引き起こすことがあります。

このようなことから点検整備が必要であり、ドライバー(運転者)は点検整備を実施することが法律でも義務づけられています。



詳しくは、別冊のメンテナンスノートに記載してありますので、よくお読みになり必ず点検整備を行ってください。

●点検整備の種類

日常点検

日常の車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

点検時期の目安としては長距離走行前や洗車時、給油時などに実施します。





法定定期点検

年間走行距離が10,000km程度の標準的な使用を前提に、12か月および24か月毎に実施する点検です。法律で定められているものと、ホンダが指定するものがあります。



その他

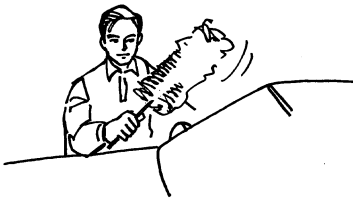
新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。



日常の手入れ

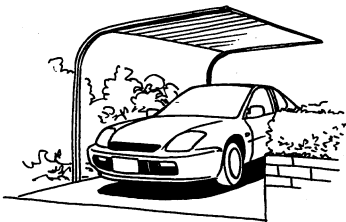
走行後は

- 塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としましょう。
- とび石などによる塗装面の傷は錆の原因となります。見つけたら早めに補修してください。



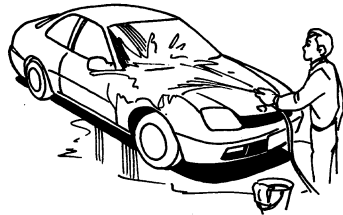
保管、駐車は

- 風通しのよい車庫や、屋根のある場所をおすすめします。



洗車を忘れずに

- 少なくとも月に一度は洗車しましょう。
- 次の場合は、必ず洗車してください。
 - ・ 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき、海岸地帯を走行したとき。
錆の原因となるので車体の下回り、フェンダーの内側を念入りに洗ってください。
 - ・ コールタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などがついたとき。
化学変化で塗装面にむらができるので、中性洗剤で洗ってから水で完全に流し、必要に応じてポリシングワックス（ワックス乳液）で磨いてください。
ポリシングワックスは、ホンダ純正ケミカル用品をお使いください。



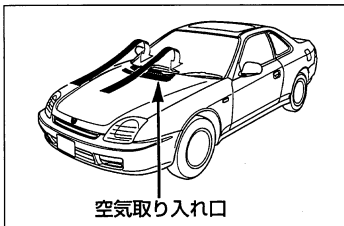


外装の手入れ

●洗車のしかた

- ①十分に水をかけながら、下回り、足まわりの汚れを落とします。
- ②塗装面は屋根から順に下のほうへ水をかけながら、スポンジかセーム皮のような柔らかいもので洗います。
- ③汚れがひどいところは中性洗剤で洗い、さらに水で完全に洗い落とします。
- ④水が乾かないうちに拭き取ります。

- ボンネットの裏にインシュレーターが貼ってあるものは、直接インシュレーターに水をかけて洗わないでください。
- 故意に空気取り入れ口やエンジンルーム内の電気部品に水をかけないでください。故障のもとになります。



空気取り入れ口

ワイパーアームの起こしかた

→235ページ

自動洗車機を使うとき

- 自動洗車機を使うと、ブラシの傷がつき光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。

- ・ドアミラーを格納して洗車してください。
- ・ホイールカバー装備車は、自動洗車機のホイール専用ブラシを使わないでください。十分水をかけスポンジまたはセーム皮のような柔らかいもので洗ってください。

コイン洗車機を使うとき

洗車ノズルと車体の距離を十分に離して洗車してください。
ウィンドーまわりは、特に注意して行ってください。近づけすぎると室内へ水が侵入することがあります。

●ワックスをかけるとき

月に一回程度または水をはじかなくなったときに行います。

洗車したあと、日陰か車体表面が体温以下になっているときにワックスをかけます。

- ・ワックスはホンダ純正ケミカル用品をお使いください。

●みがき粉(コンパウンド)入りのワックスは使わないでください。

塗装面に細かい傷が残ることがあります。



●樹脂塗装部品 (バンパーなど)の手入れ

ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着すると、しみの発生や塗膜がはがれる原因となります。

すみやかに柔らかい布で拭き取ってください。

●樹脂塗装部品の傷の補修をする場合は、ホンダベルノ店にご相談ください。不適當な塗料を使うと塗膜を傷めます。

●ガラスの手入れ

ガラスの油膜を取るときは、ガラスクリーナーをお使いください。

- ・ガラスクリーナーはホンダ純正ケミカル用品をお使いください。

リヤガラスの清掃をするとき

リヤガラスの内側に電熱線が装着されていますので、これに沿って柔らかい布で拭いてください。



内装の手入れ

- ①中性洗剤の水溶液を柔らかい布に軽く含ませて、汚れを落とします。
 - ・ 飲食物などをこぼしたときは、すぐに汚れを落としてください。
- ②真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をきれいに拭き取ります。
- ③直射日光を避け、風通しのよい日陰で乾燥させます。

- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤は変色、しみなどの原因となるので使わないでください。
- 室内に水をかけないでください。
電気部品に水がかかると故障の原因となります。



●液体芳香剤、 レザークリーナーについて

液体芳香剤、レザークリーナーはその成分によっては、樹脂部品、布材の変色、ひび割れを起こすことがあります。

取り扱いには十分にご注意ください。

- 液体芳香剤はこぼさないように、容器を確実に固定してください。
芳香剤の使用にあたっては固形タイプのものでおすすめします。
- レザークリーナーを使用したあとは、必ずかわいた布で軽くふき取ってください。
また、使用した布はそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。

タイヤに ついて

タイヤの異常摩耗、亀裂、損傷および指定外の空気圧は、乗り心地、操縦性、タイヤの寿命を損ないます。また、摩耗したタイヤは雨天時の高速走行で通常よりもハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

・安全のため、こまめに点検を行ってください。

また、必ず指定サイズ、同一種類のタイヤをお使いください。

⚠️ 警告

● 次のようなタイヤは使わないでください。

コントロールを失うことがあり、思わぬ事故につながります。

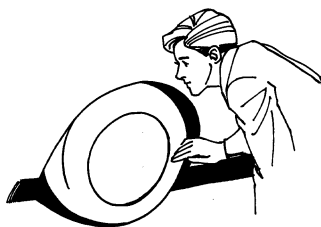
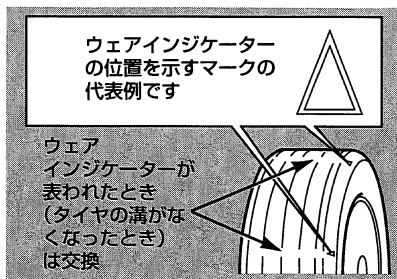
- ・ 摩耗限度を超えたタイヤ
- ・ 指定空気圧に調整されていないタイヤ

● ビスカスLSD装備車の前輪は左右共、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用するとビスカスLSDに悪影響を与えます。

摩耗限界表示 (ウェアインジケーター)

ウェアインジケーターが表れたらタイヤを交換してください。

- ・ ウェアインジケーターは、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が1.6mmだけ浅くなっています。

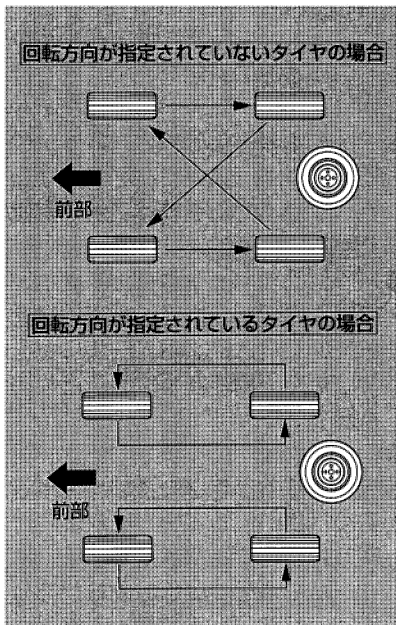




●位置交換 (タイヤローテーション)

5,000kmごとにタイヤの位置を交換します。

- ・同じ位置で長く走ると偏摩耗し、タイヤの寿命を縮めるだけでなく走行性、制動力にまで悪影響を与えます。



- 応急用スペアタイヤは、位置交換に使わないでください。

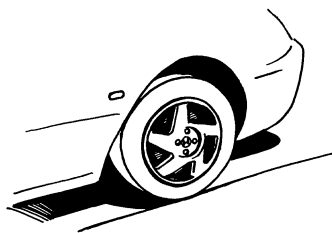
- **SIR**
標準装備のタイヤは、回転方向が指定されています。タイヤの側面に回転方向を指定する矢印がありますので、タイヤを交換する際は回転方向に注意してください。

アルミホイール について

アルミホイール装備車

アルミホイールは一般的なスチールホイールと取り扱いかたが異なります。

アルミホイールの特性を維持するため、必ず次のことをお守りください。



- 取り扱い**
- この車専用のホイールをお使いください。専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずホンダベルノ店にご相談ください。
- パンク修理などでホイールを取り付け直した際には、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。
- アルミホイールは傷つきやすいので歩道の縁石などに乗り上げたり、すり当てたりすることを避けてください。
- バランスウェイトやバルブはホンダ純正のアルミホイール専用部品をお使いください。ホイールに傷をつけたり、機能を損なうことがあります。
- アルミホイールにタイヤチェーンを装着するときは、正しく装着してください。ホイールに対して片寄ったり、ゆるかったりするとホイールに傷をつけるおそれがありますので注意して装着してください。



●手入れ

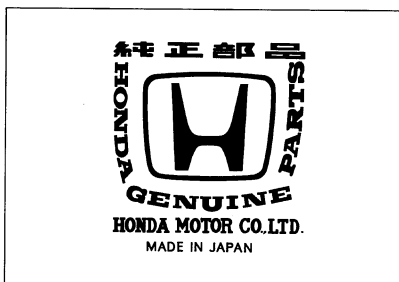
- アルミホイールは、塩分や汚れを嫌いますので、海水や道路凍結防止剤などが付いたときには、スポンジに中性洗剤を含ませ、汚れを早めに落としてください。
- ホイールの光沢を維持するため、時々ワックスがけをしてください。
- アルミホイールは傷つきやすいので、砂入り石鹸や硬いブラシを使わないでください。高速洗車機(ホイール専用ブラシ付きのもの)によるホイールの洗浄は避けてください。
- スチーム洗浄などで、熱湯がホイールに直接かからないようにしてください。
光沢を失うおそれがあります。

車にあった部品の使用

車の性能、品質を維持するために、ホンダ車に最も適したホンダ純正部品をお使いください。

純正部品は厳しい検査を実施し、ホンダ車に適合するように作られています。お求め、装着に際しては、ホンダベルノ店にご相談ください。

・純正部品には下のマークがついています。



・ホンダ純正部品以外の車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。

適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになってしまうことがあります。

・車の改造はしないでください。

不正改造は、法律に触れることはもちろん思わぬ事故を起こす場合があります。

車との上手な つきあいかた

●積雪・寒冷時の取り扱い

| | |
|--------|-----|
| 運転するまえ | 224 |
| 運転するとき | 226 |
| 駐車するとき | 231 |
| 冬期の手入れ | 232 |

●こんなときは

| | |
|----------|-----|
| 雨の日の運転 | 234 |
| 夏場の取り扱い | 236 |
| 経済走行のために | 237 |

積雪・寒冷時の取り扱い

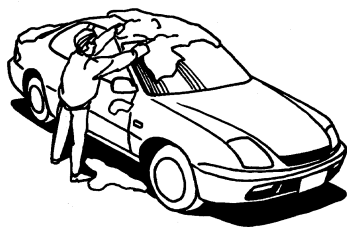
運 転 す る ま え

- 車に積もった雪や着氷は
取り除く

屋根に積もった雪

走行時にガラス面に落ちた雪が視界の妨げとなり危険です。走行する前に取り除いてください。

- ・氷結している部分を無理に取り除くと塗装などを傷めます。氷が溶けてから取り除いてください。



ガラス面の雪や霜

プラスチックの板などを使うとガラスに傷をつけずに落とすことができます。

足まわりの着氷

足まわりなどに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないように十分注意して取り除いてください。



●凍結しているとき

ドアの凍結

無理に開けるとドアまわりのゴムがはがれたりするので、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。

- ・ ドアキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結すると、キーが差し込めなくなります。



お湯をかけたあとは、凍結防止のために水分をよくふき取ってください。

ワイパーの凍結（ガラス面が着氷、積雪しているとき）

ワイパーブレード（ゴム部）を損傷したり、モーターの故障となりますので、氷や雪を取り除いてから動かしてください。

●乗車するとき

靴にこびりついた雪をよく落としてから、乗車してください。

- ・ ペダル類を操作するときに滑ったり、室内の湿気が多くなりガラスが曇ったりすることがあります。



運転するまえに

ペダル類やハンドルの動きが円滑かどうか確認してください。

運 転 す る と き

- 雪道や凍結路では、たいへん滑りやすくなっているため、速度を落とし車間距離を十分とって運転しましょう。
また、ハンドルやブレーキの操作は特に慎重に行ってください。
・急加速、急減速、急ブレーキや急ハンドルは横すべりを起こして方向性を失います。



- タイヤチェーン、冬用タイヤを装着して走行してください。

チェーンサイズ →228ページ
タイヤチェーンの取り付けかた

→229ページ

- ・ 冬用タイヤを装着するときは、四輪とも同じ種類のものに交換してください。
- ・ 地区条例により違いがありますので、その地区の条例に従ってください。

- 冬用タイヤを装着したときには、安全のため高速走行は避けてください。



●ブレーキのききについて

ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し、ブレーキのききが悪くなることがあります。

その際には、前後の車に十分注意して、ブレーキペダルを軽く踏みながら低速で走行し、ブレーキのしめりを乾かしてください。



●ブレーキのききが回復しないときは、ブレーキ系統に異常が考えられますので、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。

●ウォッシャー液を噴射するとき先にヒーターを使ってフロントガラスを暖めてからウォッシャー液を噴射します。

⚠注意

●寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。
ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●ハンドルのきれについて (タイヤまわりの着氷)

フェンダー裏側に付着した雪が氷結し、次第にたい積してハンドルのきれが悪くなることがあります。

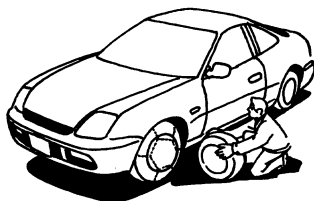
ときどき確認し、着氷が大きくなる前に取り除いてください。



●パンクしたとき (タイヤチェーン装着時)

前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に付け、外した後輪タイヤを前輪に付けてタイヤチェーンを装着します。

・応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。



●タイヤチェーンのつけかた

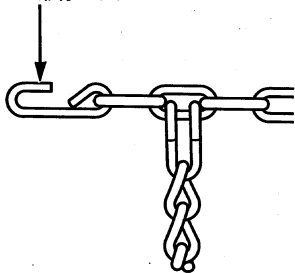
チェーンサイズ

お求めはホンダベルノ店へお申し
つけください。

| タイヤサイズ | 適合チェーンサイズ |
|---------------|---------------------------------|
| 195/65R14 89H | スチールチェーン |
| 195/60R15 88H | 45192 (新JIS) |
| 205/50R16 87V | ホンダ純正スーパー グリップチェーン または同等品 |

スチールチェーンは内側のフック
形状が、かぎ形線フックのものを
お使いください。

かぎ形線フック



●タイヤチェーンはタイヤに
合った適正なものをお使い
ください。

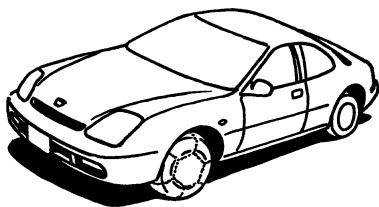
推奨タイヤチェーン以外の
ものを使うと、ブレーキ配
管やフェンダーなどを破損
するおそれがあります。

●205/50R16 87V のタイ
ヤ装着車にスチールチェー
ンを装着すると、フェンダ
ーやホイール表面を傷つけ
るおそれがあります。



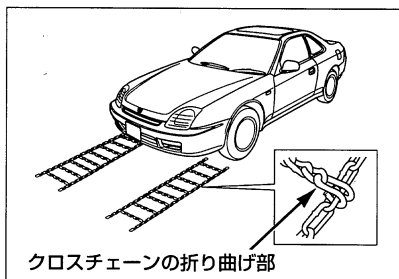
標準的なタイヤチェーンの 取り付けかた

タイヤチェーンは、駆動輪の前輪に装着してください。

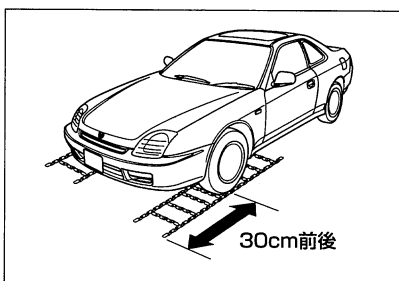


- スチールチェーン以外のタイヤチェーンをご使用になる場合は、タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従って、正しく取り付けてください。
- タイヤチェーンは平らな所で他の交通に十分注意して取り付けてください。必要に応じて非常点滅表示灯などを使ってください。
- 応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。チェーン装着時に前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これに標準タイヤ用のタイヤチェーンを装着してください。
- タイヤチェーンを取り付けたときには、安全のため雪道、凍結路では30km/h以下の速度で運転してください。なお乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したままで走行するのは避けてください。チェーンの摩耗を早めます。

- ①前輪を直進状態にします。
- ②クロスチェーンの折り曲げ部が下側になるようにしてチェーンを前輪のすぐ前に敷きます。

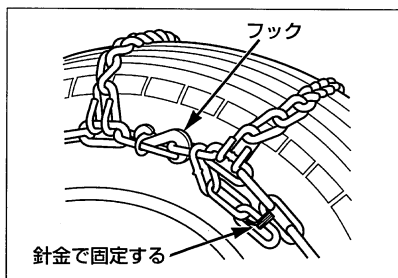


- ③先端のフックから30cm前後の位置まで前輪を移動させます。

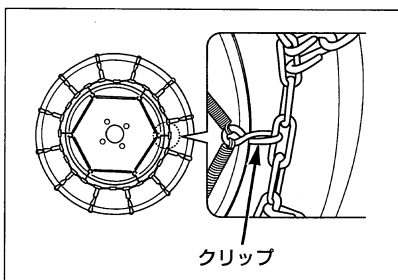


- ④チェーンをタイヤにまきつけていっぱい引き、内側のフックを先に連結して次に外側のフックを連結します。

- ⑤連結してチェーンが余った場合は、ボディなどに当たるのを防ぐために針金で固定します。



- ⑥チェーンバンドのクリップを外向きにしてチェーンをいっぱいに張ります。



- ⑦試走してチェーンのゆるみ、はずれなどがいないかを確認します。

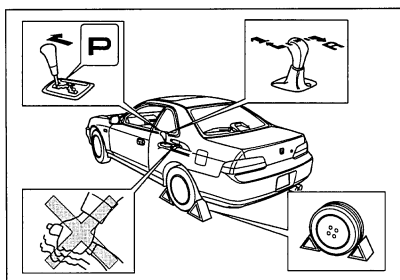


駐車するとき

駐車ブレーキの凍結を防ぐために、駐車ブレーキは使わないでください。

マニュアル車はギヤをR(後退)か1に、オートマチック車は回に入れます。

石などで輪止めをしておきます。



●屋外に駐車するとき

●エンジンの冷えすぎを防ぐために、車の前部を風下や日の当たる方向に向けて停めてください。

・エンジンが冷えすぎると始動しにくくなることがあります。

●落雪や積雪を避けるために、軒下や樹木の下などには停めないでください。

・車の屋根などがへこむことがあります。

●ワイパーアームは起こしてください。

ワイパーアームの起こしかた

→235ページ

・雪の重みでアームの取り付け部がこわれることがあります。

●長期間使わないで屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

⚠注意

●格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、フロントグリル内側に段ボールや新聞紙をはさみ込んだりしないでください。

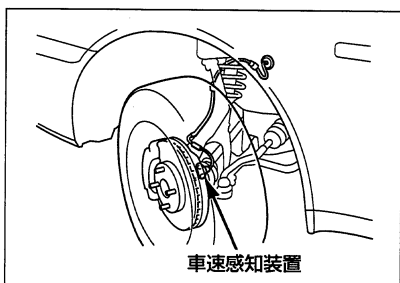
そのまま走行すると、火災のおそれがあります。

冬 期 の 手 入 れ

●雪道走行後の手入れ

・フェンダー裏側や足まわりに付着した泥、雪は周囲の部品を損傷しないように取り除いてください。

足まわり(前、後輪の4か所)に車速感知装置が取り付けられていますので、傷をつけないように特に注意してください。



車速感知装置

・寒冷地では道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。錆の原因になりますので、走行後はすぐに洗車してください。特に下回りは念入りに行ってください。

●点検・整備

バッテリーについて

気温が下がるとバッテリーの性能が低下し、エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や充電をしてください。

エンジンオイルについて

冬期はオイルの劣化が激しくなります。冬期に主として短距離、または市街地を運転される方は、早めに交換してください。



冷却水について

冷却水の凍結を防ぐために点検してください。

ウォッシャー液について

ウォッシャー液の凍結を防ぐために、ウォッシャー液の濃度をあげてください。

- 点検方法はメンテナンスノートを参照し、交換はホンダベルノ店にご相談ください。

こんなときは

雨の日の運転

雨の日は視界が悪くなるうえ、窓ガラスが曇ったり、路面が滑りやすくなるなど悪条件が重なるので通常より注意深い運転が必要です。

- ・急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、晴れの日よりも速度を落とし、車間距離を十分にとって運転しましょう。
- ・ハイドロプレーニング現象に注意しましょう。
- ・雨の降り始めの舗装道路は滑りやすいので特に気を付けましょう。

⚠警告

- 滑りやすい路面では、急加速、急ブレーキや急ハンドルは避けてください。車のコントロールを失い思わぬ事故につながります。

ハイドロプレーニング現象とは

路面が水でおおわれているところを高速で走行しようとしたときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になることをいいます。

- ・このような状態になると、ハンドルやブレーキがきかなくなり、非常に危険です。



●**ガラスの曇りをとりたいとき**
ガラスが曇って外が見にくいときは、エアコンのデフロスターを使って曇りをとります。

リヤガラスの曇りは

リヤデフロスタースイッチを押して、曇りをとります。

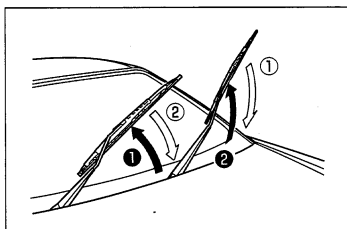
●**ガラスの油膜をとりたいとき**
油膜があると、雨の夜は対向車のライトなどが乱反射します。ガラスクリーナーを使ってガラスの表面をきれいにします。

・ガラスクリーナーはホンダ純正ケミカル用品をお使いください。

●**ワイパーのふきむらがあるとき**
ワイパーブレードのラバーが傷んでいると、ふきむらが出て視界の妨げとなります。また、ガラス面を傷つけることがありますので、早めに交換してください。



●**ワイパーアームを起こしたり倒したりするときは、図の順に行ってください。**



夏場の 取り扱い

●エアコンの上手な使いかた

- ・冷媒(ガス)が不足していると、冷房性能が低下します。
夏になる前に点検、補充をしておきましょう。
- ・室内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンをかけましょう。
- ・エアコンの冷やしすぎは健康上良くありません。

●この車の冷媒は、環境保護のため、新冷媒HFC-134a (R-134a)を使用しています。補充・交換が必要な場合は、ホンダベルノ店にご相談ください。



●炎天下に駐車するときは

- ・ボディに覆いをかけたり、ハンドルやシートにタオルなどをかけて、室内温度の上昇を抑えましょう。
- ・フロントガラスにアルミ光沢性の日除けバイザーを使うと、反射光が集光し、インストルメントパネルなどが変色、変形することがあります。

●海から帰ってきたときは

海に出かけた後は車も塩分を浴びています。錆の原因になりますので早めに洗車してください。下回りも念入りに洗いましょう。

●オーバーヒートを防ぐために冷却水の量が不足しないように、こまめに点検します。

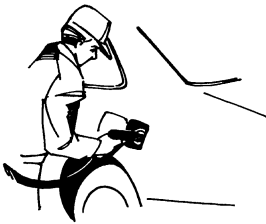
- ・走行中、水温計の針が赤いマークに入った場合は、オーバーヒートのおそれがあります。安全な場所に停車してエンジンを冷やしてください。

オーバーヒートしたとき →200ページ



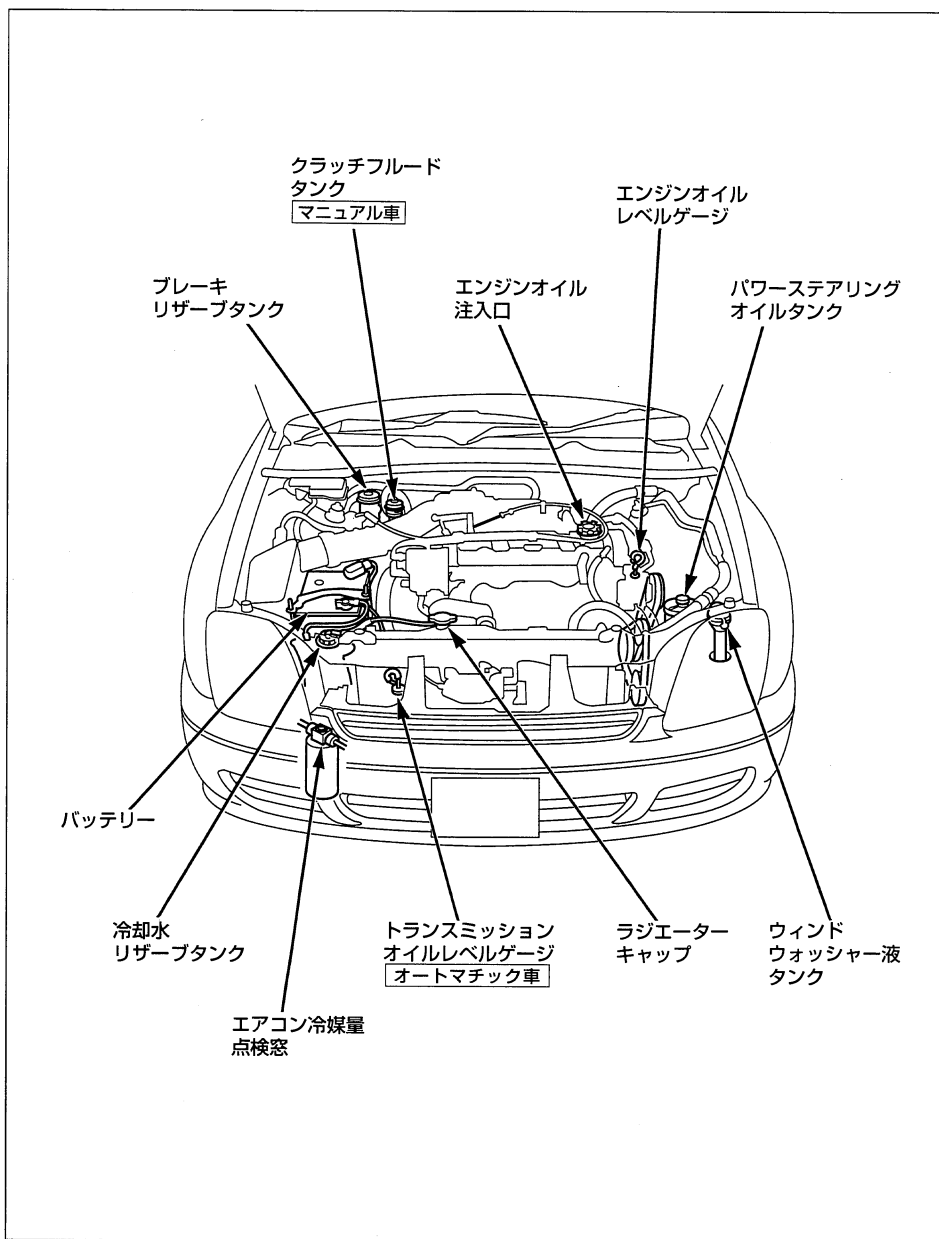
経 済 走 行 の た め に

- 不必要な急加速、急減速などアクセルペダルをバタつかせるような運転をしないでください。
- 変速位置の選択は、走行速度に応じて適切に行ってください。
- マニュアル車のチェンジレバーの操作は、クラッチペダルをいっばいに踏み込んでから確実に行ってください。
・クラッチペダルの足のせ運転、半クラッチの連続使用はしないでください。





- 長すぎる暖気運転をしないようにしましょう。
- 高速道路でも不必要な高速走行は避けましょう。
- 車間距離は十分に取り、不必要なブレーキをかけないようにしましょう。
- トランクルームには不必要な荷物は載せないようにしましょう。

サービスデータ



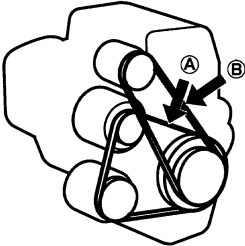
| 項 目 | | サービスデータ | | |
|-------------|-------------|-------------------------------|-------|---------------|
| 点 火 プ ラ グ*1 | タ イ プ | Xi Si | NGK | ZFR6F-11*2 |
| | | | DENSO | KJ20CR-L11*2 |
| | | SiR*3 | NGK | PZFR6F-11*2 |
| | | | DENSO | PKJ20CR-L11*2 |
| | 電 極 の す き 間 | 1.0-1.1mm 白金プラグ(限度値)：1.3mm | | |

※1：ISO(国際標準化機構)規格品を使用しています。のマークがついています。

※2：突出しタイプのプラグを使用しています。のマークがついています。

※3：白金プラグを使用していますので、次のことに注意してください。

- ・白金チップの微粒子膜を損傷するおそれがあるので、ワイヤーブラシ等による清掃は行わないでください。
- ・プラグギャップは調整できません。限度値をこえているものは交換してください。(清掃はクリーナーにて20秒以下で行ってください。)

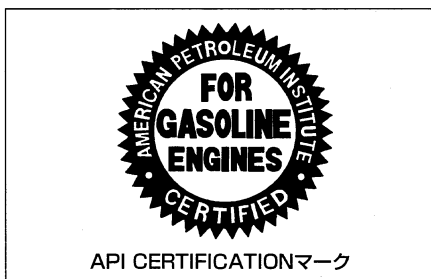
| 項 目 | | サービスデータ | | | |
|-----------------------|--|---|------------------------------|---------------------|--|
| ベルトのたわみ量 |  <p>Ⓐ：発電機ベルト エアコンディショナーベルト Ⓑ：パワーステアリングベルト</p> | | | | |
| | | | 発 電 機 ベ ル ト | 9.5-12.5mm(約10kgの力) | |
| | | | エ ア コ ン デ ィ シ ョ ナ ー ベ ル ト | 9.5-12.5mm(約10kgの力) | |
| | | | パ ワ ー ス テ ァ リ ン グ ベ ル ト | 13-16.5mm(約10kgの力) | |
| ブレーキペダル | 遊 び | 1-5mm | | | |
| | 床板とのすき間 | マニュアル | 119mm以上(約20kgの力) | | |
| | | オートマチック | 124mm以上(約20kgの力) | | |
| | カーペットとのすき間 (参考値) | マニュアル | 76mm以上(約20kgの力) | | |
| オートマチック | | 81mm以上(約20kgの力) | | | |
| クラッチペダル | 遊 び | 9-15mm | | | |
| | 床板とのすき間 | 93mm以上(クラッチが切れたとき) | | | |
| | カーペットとのすき間 (参考値) | 54mm以上(クラッチが切れたとき) | | | |
| 駐 車 ブ レ ー キ | 引 き し ろ | 6-10回(約20kgの力) | | | |
| エ ア ク リ ー ナ エ レ メ ン ト | タ イ プ | 乾式 | | | |
| バ ッ テ リ ー | 容 量 | Xi、Si | 52AH(5) | | |
| | | SiR | 55AH(5) | | |
| 電 球 (バ ル ブ) | W (ワ ッ ツ) 数 | ヘッドライト*1(ハロゲンバルブ).....12V-55W フォグライト(ハロゲンバルブ).....12V-55W 前面方向指示器/前面非常点滅表示灯.....12V-21W 車幅灯12V-5W 側面方向指示器/側面非常点滅表示灯.....12V-5W 後面方向指示器/後面非常点滅表示灯.....12V-21W 番号灯12V-5W 制動灯/尾灯12V-21/5W 尾灯.....12V5W ハイマウントストップランプ12V-21W 後退灯12V-21W 室内灯12V-5W スポットライト12V-5W ドア開閉灯12V-3.4W トランク照明灯12V-5W | | | |

*1：推奨ヘッドライトバルブ H1LL

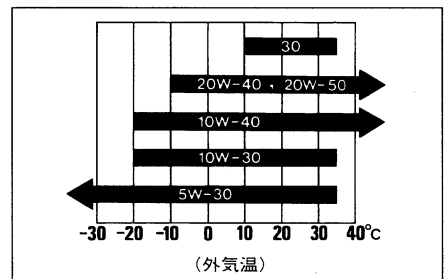
| 項 目 | | サービスデータ | | |
|---------|-----------|---|---------------|--------------|
| エンジンオイル | 推 奨 オ イ ル | ホンダ純正オイル(4サイクル四輪車用) ウルトラMILD(API SG級 SAE 10W-30) ウルトラLUBRA SG(API SG級 SAE 5W-30) ウルトラLUBRA SH(API SH級 SAE 5W-30) ウルトラLIMITED SH(API SH級 SAE 10W-30) ウルトラGOLD GF-1(API SH/GF-1級 SAE 10W-30) | | |
| | 規 定 量 | オイル交換時 | Xi, Si SiR | 3.5ℓ 4.5ℓ |
| | | オイル、オイルフィルター同時交換時 | Xi, Si SiR | 3.8ℓ 4.8ℓ |

推奨エンジンオイル

ホンダ純正エンジンオイルまたはAPI SG級以上か、オイル缶にAPI CERTIFICATION(エーピーアイ サーフティフィケーション)マークの入ったエンジンオイルをお使いください。



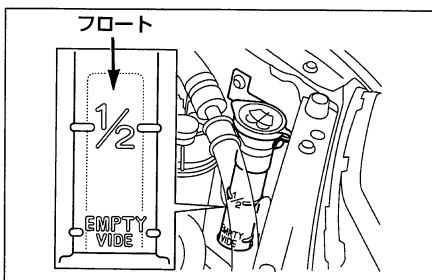
市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを下表にもとづきお使いください。



| 項 目 | | サービステータ | |
|---------------------|-------------------------------|---|--------------------|
| 燃 料 | 使 用 燃 料 | 無鉛ガソリン SiRは無鉛プレミアムガソリン(無鉛ハイオク)仕様車です。 | |
| | タ ン ク 容 量 | 60ℓ | |
| トランスミッション オ イ ル | 推 奨 オ イ ル | マニュアル | ホンダ純正オイルウルトラMTF-II |
| | 指 定 液 | オートマチック | ホンダ純正ウルトラATF |
| | 規 定 量 | マニュアル (交換時) | 1.9ℓ |
| | | オートマチック (交換時) | 2.5ℓ |
| 冷 却 水 | 指 定 液 | ホンダ純正ウルトララジエーター液 | |
| | 規 定 濃 度 | 50% | |
| | 規 定 量 (交換時リザーブ タンク0.6ℓ) | マニュアル (交換時) | 3.3ℓ |
| | | オートマチック (交換時) | 3.2ℓ |
| ブ レ ー キ 液 | 指 定 液 | ホンダ純正ウルトラブレーキフルードDOT3またはDOT4 | |
| ク ラ ッ チ 液 | 指 定 液 | ホンダ純正ウルトラブレーキフルードDOT3またはDOT4 | |
| パ ワ ー ス テ ア リ ン グ 液 | 指 定 液 | ホンダ純正ウルトラパワーステアリングフルード-Vまたは-II | |
| ウ オ ッ シ ャ ー 液 | タ ン ク 容 量 | 2.5ℓ | |

ウォッシャー液の量の点検

ウォッシャー液の量は、タンクの首の部分の目盛りを参考にしてください。フロント(浮き)の頂部が残量を示します。



| Xi | | タイヤ空気圧 (空車時 : kgf/cm ²) | | リムサイズ*1 | |
|---------------|----------------|--|-----|--------------|-------------|
| | | 前 輪 | 後 輪 | スチール ホイール | アルミ ホイール |
| 標準タイヤ | 195/65R14 89H | 2.1 | 2.1 | 14×5½JJ | 14×5½JJ |
| | 195/60R15 88H | | | / | 15×6½JJ |
| 応急用 スペアタイヤ | T125/70D15 95M | 4.2 | | 15×4T | / |

| Si | | タイヤ空気圧 (空車時 : kgf/cm ²) | | リムサイズ*1 | |
|---------------|------------------------------------|--|-----|--------------|-------------|
| | | 前 輪 | 後 輪 | スチール ホイール | アルミ ホイール |
| 標準タイヤ | 195/60R15 88H | 2.1 | 2.1 | / | 15×6½JJ |
| | 205/50R16 87V | 2.2 | 2.2 | / | 16×6½JJ |
| 応急用 スペアタイヤ | T125/70D15 95M T135/80D15 99M*2 | 4.2 | | 15×4T | / |

| SiR | | タイヤ空気圧 (空車時 : kgf/cm ²) | | リムサイズ*1 | |
|---------------|----------------|--|-----|--------------|-------------|
| | | 前 輪 | 後 輪 | スチール ホイール | アルミ ホイール |
| 標準タイヤ | 205/50R16 87V | 2.2 | 2.2 | / | 16×6½JJ |
| 応急用 スペアタイヤ | T135/80D15 99M | 4.2 | | 15×4T | / |

| | |
|--------------------|-----------|
| タイヤの溝の深さ | 1.6mm以上 |
| 位置交換時期(タイヤローテーション) | 5,000kmごと |

※1 : この車専用のホイールをお使いください。

専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。

ホイール交換に際しては、必ずホンダベルノ店にご相談ください。

※2 : ビスカスLSD装備車

| 名 称 | 型 式 | エンジン型式 | 排気量(cm³) | タイプ | |
|--------|-------|--------|----------|----------|-----|
| プレリユード | E-BB5 | F22B | 2,156 | Xi Si | 2WS |
| | E-BB7 | | | | 4WS |
| | E-BB6 | H22A | | SiR | 2WS |
| | E-BB8 | | | | 4WS |

M

E

M

O

さくいん

ア

| | |
|----------------------|-----|
| 雨の日の運転 | 234 |
| アルミホイール | 220 |
| アンチロックブレーキシステム (ABS) | |
| 警告灯 | 111 |
| 装置について | 110 |
| 取扱について | 111 |
| アンテナ | 136 |

イ

| | |
|----------------|----|
| イグニッション (エンジン) | |
| キー | 30 |
| スイッチ | 66 |

ウ

| | |
|----------|-------------|
| ウィンカー | |
| スイッチ | 69 |
| 電球の交換 | 206・207・208 |
| 表示灯 | 59 |
| ウィンドー | 40 |
| ウォークイン | 47 |
| ウォッシュャー液 | |
| スイッチ | 71 |
| タンクの容量 | 242 |
| 冬期の手入れ | 233 |
| 補給 | 242 |
| 運転のしかた | 74 |

エ

| | |
|---------------|-------------|
| エアクリーナー | |
| エレメント | 240 |
| エアコン | |
| 使いかた | 118・126 |
| 吹き出し風の調節 | 117 |
| ベルト | 240 |
| AM/FMラジオ一体式 | |
| カセットステレオ | 138・149・162 |
| SRSエアバッグシステム | |
| 警告灯 | 109 |
| 装置について | 102 |
| 取扱について | 108 |
| エンジンオイル・フィルター | |
| オイル量 | 241 |
| 冬期の手入れ | 232 |
| エンジンキー | 30 |
| エンジンスイッチ | 66 |
| 照明灯 | 173 |
| エンジンのかけかた | 74 |
| エンジンブレーキ | 16・91 |
| エンジンルーム | 238 |

オ

| | |
|------------------|---------|
| 応急用スペアタイヤ | |
| 格納場所 | 182 |
| 空気圧 | 243 |
| サイズ | 243 |
| スペアタイヤについて | 194 |
| オーディオ | |
| インデックス | 137 |
| 上手な使いかた | 134 |
| オートエアコン | 118・126 |
| オートマチックトランスミッション | |
| 運転のしかた | 86 |
| オイル | 242 |
| セレクトレバー | 80 |
| オーバーヒートしたとき | 200 |
| オドメーター | 57 |

カ

| | |
|----------|-----|
| 外装の手入れ | 215 |
| カップホルダー | 179 |
| 寒冷時の取り扱い | 224 |

キ

| | |
|-------------|----|
| キー | 30 |
| キーインターロック | 67 |
| キー抜き忘れ警告ブザー | 67 |
| キーレスエントリー | 32 |
| キックダウン | 18 |

ク

| | |
|--------------|---------|
| 曇り取り(デフロスター) | 123・131 |
| クラッチペダル | 240 |
| クリープ現象 | 18 |
| 車にあった部品の使用 | 222 |
| グローブボックス | 178 |

ケ

| | |
|-------------|-----|
| 警告灯 | |
| 警告灯類 | 60 |
| 電球切れの点検 | 65 |
| 経済走行 | 237 |
| けん引 | |
| けん引されるとき | 188 |
| 故障車をけん引するとき | 191 |

コ

| | |
|----------------|-----|
| コインボックス | 177 |
| 工具(ツール) | |
| 格納場所 | 182 |
| 種類 | 183 |
| 高速道路で故障したとき | 184 |
| 後退灯(バックランプ) | |
| 電球の交換 | 208 |
| 後部ワイパー(リヤワイパー) | |
| スイッチ | 71 |
| 故障したとき | 184 |
| 故障の修理について | 185 |
| 小物入れ | 178 |
| コンソールボックス | 178 |

サ

| | |
|-------------|-----|
| サービスデータ | 238 |
| サンバイザー | 176 |
| サンルーフ | |
| 作動しないとき | 210 |
| サンシェード(遮光板) | 42 |
| 操作 | 42 |

シ

| | |
|---------------|----------|
| シーケンシャルモード | 84 |
| シート | 46 |
| シートベルトについて | 50 |
| サービスアーム | 52 |
| 警告灯 | 63 |
| 着用のしかた | 54 |
| シガレットライター | 174 |
| 事故が起きたとき | 186 |
| 室内灯(ルームランプ) | |
| 使いかた | 173 |
| 電球の交換 | 209 |
| シフトロック装置 | 21・80・89 |
| 霜取り・曇り止め | |
| 前面/側面ガラス | 123・131 |
| ジャッキの取り扱い | 192 |
| 車幅灯(ポジションランプ) | |
| 電球の交換 | 207 |
| 充電警告灯 | 62 |
| 樹脂塗装部品 | 216 |
| 純正部品 | 222 |
| ジュニアシート | 52 |

ス

| | |
|----------------|-----|
| 水温計 | 57 |
| スイッチの使いかた | 66 |
| スノータイヤ | 226 |
| スパークプラグ(点火プラグ) | 239 |
| スピードメーター | 57 |
| スペアタイヤ | |
| 格納場所 | 182 |
| 空気圧 | 243 |
| サイズ | 243 |
| スペアタイヤについて | 194 |
| スポットライト | |
| 使い方 | 173 |
| 電球の交換 | 209 |

セ

| | |
|--------------|-----|
| 制動灯(ブレーキランプ) | |
| 電球の交換 | 208 |
| 整備 | 212 |
| 積雪・寒冷時の取り扱い | 224 |
| セレクトレバー | |
| 操作 | 80 |
| ポジション表示灯 | 59 |
| 洗車のしかた | 215 |
| 前照灯(ヘッドライト) | |
| 上向きと下向きの切り換え | 68 |
| 上向き表示灯 | 59 |
| 追越合図(パッシング) | 68 |
| スイッチ | 68 |
| 前席シート | 46 |

ソ

| | |
|----------|-------|
| 速度計 | 57 |
| 速度範囲 | 78・83 |
| その他の安全装備 | 113 |

タ**タイヤ**

| | |
|---------------------|-----|
| 位置交換(ローテーション) | 219 |
| ウェアインジケーター | 218 |
| 応急用スペアタイヤ | 194 |
| 空気圧 | 243 |
| 交換 | 195 |
| サイズ | 243 |
| スノータイヤ | 226 |
| チェーン | 228 |
| 点検 | 218 |
| タコメーター | 57 |
| 正しい運転姿勢 | 44 |

チ

| | |
|-------------------|-----|
| チェーン | 228 |
| チェンジレバーの操作 | 78 |
| チャイルドシート | 52 |
| 駐車 | |
| 坂道 | 23 |
| 積雪、寒冷時の取り扱い | 231 |
| 駐車ブレーキ(パーキングブレーキ) | |
| 警告灯 | 61 |
| 積雪、寒冷時の取り扱い | 231 |
| 操作 | 76 |
| チルトステアリング | |
| (上下調節式ハンドル) | 48 |

テ

| | |
|--------------------|-----|
| 点火プラグ | 239 |
| 電気系統が異常のとき | 202 |
| 電気装置が作動しないとき | 204 |
| 電球(バルブ) | |
| 交換 | 206 |
| W(ワット)数 | 240 |
| 点検・整備について | 212 |
| 電動リモコンドアミラー | 49 |
| テンションリデューサー | 52 |

ト**ドア**

| | |
|--------------------|-----|
| 開閉警告灯 | 64 |
| 施錠・解錠 | 30 |
| 積雪、寒冷時の取り扱い | 225 |
| ドア開閉灯(カーテシーランプ) | |
| 電球の交換 | 210 |
| ドアミラー | 49 |
| 冬期の手入れ | 232 |
| 道路で動けなくなったとき | 185 |
| 時計 | 172 |
| 塗装の手入れ | 215 |
| トランク | |
| 開閉 | 36 |
| 開閉警告灯 | 64 |
| トランク照明灯 | |
| 電球の交換 | 210 |
| トランクスルー | 176 |
| トランスミッション | |
| オイルの容量 | 242 |
| 警告灯 | 63 |
| トリップメーター | 57 |

ナ

| | |
|---------|-----|
| 内装の手入れ | 217 |
| 夏場の取り扱い | 236 |

ニ

| | |
|--------|-----|
| 日常の手入れ | 214 |
|--------|-----|

ネ

| | |
|----------|--------|
| 燃料(ガソリン) | |
| 使用燃料 | 38・242 |
| タンク容量 | 38・242 |
| 燃料計 | 57 |
| 燃料残量警告灯 | 63 |
| 補給口 | 38 |

ハ

| | |
|-------------------|-------------|
| パーキングブレーキ(駐車ブレーキ) | |
| 警告灯 | 61 |
| 積雪・寒冷時の取り扱い | 231 |
| 操作 | 76 |
| 排気温警告灯 | 62 |
| 灰皿 | 175 |
| ハイドロブレーニング現象 | 17 |
| ハイビーム表示灯 | 59 |
| ハイマウントストップランプ | |
| 電球の交換 | 209 |
| ハザードランプ(非常点滅表示灯) | |
| スイッチ | 69 |
| 電球の交換 | 206・207・209 |
| 発炎筒 | |
| 格納場所 | 182 |
| 発炎筒について | 183 |
| バックミラー(後写鏡) | |
| 使いかた | 48 |
| バッテリー | |
| 充電 | 203 |
| 冬期の手入れ | 232 |
| バッテリーあがりのとき | 202 |
| 容量 | 240 |
| 発電機ベルト | 240 |
| パニティミラー(化粧鏡) | 176 |
| パワーウィンドー | 40 |
| パワーステアリングベルト | 240 |
| パワードアロック | |
| (オートドアロック) | 30 |
| パンク | |
| 積雪、寒冷時の取り扱い | 227 |
| パンクしたとき | 192 |
| 番号灯(ライセンスランプ) | |
| 電球の交換 | 207 |

ヒ

| | |
|------------------------------|-------------|
| PGM-FI警告灯 | 63 |
| ヒーター(エアコン) | |
| オートエアコン | 118・126 |
| 吹き出し風の調節 | 117 |
| 非常点滅表示灯(ハザードランプ) | |
| スイッチ | 69 |
| 電球の交換 | 206・207・208 |
| ビスカスリミテッドスリップデフ (ビスカスLSD) | 112 |
| 尾灯 | |
| 電球の交換 | 208 |
| ヒューズ | 204 |
| 表示灯 | 58 |

フ

| | |
|--------------|-----|
| 吹き出し風の調節 | 117 |
| フォグライトスイッチ | 70 |
| 踏切で動けなくなったとき | 184 |
| プラグ | 239 |
| ブレーキ | |
| 警告灯 | 61 |
| 積雪、寒冷時の取り扱い | 227 |
| 倍力装置 | 16 |
| ペダル | 240 |

ヘ

| | |
|---------------|-----|
| ヘッドレスト | 46 |
| ベルトのたわみ量 | 240 |
| ヘッドライト | |
| 上向きと下向きの切り換え | 68 |
| 上向き表示灯 | 59 |
| 追い越し合図(パッシング) | 68 |
| スイッチ | 68 |
| ベビーシート | 52 |

ホ

| | |
|--------------|-------------|
| ホーンスイッチ | 73 |
| ホイールサイズ | 243 |
| ホイールの交換について | 199 |
| 芳香剤 | 217 |
| 方向指示器(ウインカー) | |
| スイッチ | 69 |
| 電球の交換 | 206・207・208 |
| 表示灯 | 59 |
| ボンネット | 34 |



窓ガラスアンテナ136
 万ーのとき181



ミラー
 ドアミラー49
 ルームミラー48



無線装置25



メーター（計器類）56



油圧警告灯61
 雪道走行後の手入れ232



4WS(4輪操舵システム)96

ラ

ライト消し忘れ警告ブザー68
ライトスイッチ68
ライト類が点灯しないとき204
ラジオの使いかた140・151・164

リ

リムサイズ243
リヤデフロスター72
リアワイパー
スイッチ71

ル

ルームミラー
(防眩式ルームミラー)48

レ

冷却水(ラジエーター液)
水量242
冬期の手入れ233
レザークリーナー217

ワ

ワイパー
スイッチ70
積雪、寒冷時の取り扱い225
ワックスがけ216

M

E

M

O

Handwriting practice area with 15 horizontal dashed lines.

お問い合わせ、ご相談は、お買い求めのベルノ店もしくは全国共通のフリーダイヤルまたは直通電話で下記のお客様相談センターがお受け致します。

| | |
|--------------|--------------|
| フリーダイヤル | 0120-112010 |
| 直通電話 | 03-3423-4211 |
| FAXインフォメーション | 03-3760-1900 |

本田技研工業株式会社 お客様相談センター
受付時間 9:00～17:00(12:00～13:00昼休み)
〒107 東京都港区南青山2-1-1

・所在地、電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。

販売店のご案内、カタログのご注文、車の手続き、税金、保険、車種別主要諸元、装備、価格についてはホンダ24時間FAXインフォメーションをご用意しておりますのでご利用ください。

こんなことでお困りのとき

キーが回せない

“0”から“1”にまわらないとき

- ・ハンドルを左右に動かしながらキーを回してください。

エンジンスイッチ →66ページ

“1”から“0”にまわらないとき **オートマチック車**

- ・セレクトレバーがⅡに入っていますか。

キーインターロックについて →67ページ

エンジンがかからない

- ・オートマチック車は、セレクトレバーがⅡかⅢに入っていますか。
- ・ガソリンが入っていますか。(メーター内の燃料計で確認してください。)
- ・バッテリーがあがっていませんか。

バッテリーあがりのとき →202ページ

セレクトレバーがⅡから動かさない **オートマチック車**

- ・ブレーキペダルを踏んでから操作していますか。
(操作できないときは、ドライバーをシフトロック解除穴に差し込み押しながらセレクトレバーを動かしてください。)

セレクトレバーが動かないとき →89ページ

- ・エンジンスイッチを“II”にしてから操作していますか。

シフトロック装置の正しい理解を →21ページ

ドアを開けるとブザーが鳴る

- ・キーをエンジンスイッチに差し込んだままになっていませんか。

キー抜き忘れ警告ブザー →67ページ

- ・ライトを消し忘れたままになっていませんか。

ライト消し忘れ警告ブザー →68ページ

キーを閉じ込めてしまった

- ・ホンダ販売店またはJAFへご連絡ください。

水温計の針が赤いマークに入った エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている

- ・オーバーヒートのおそれがあります。
(安全な場所に停車して、エンジンを冷やしてください)

オーバーヒートしたとき →200ページ

走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がる

- ・ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっているおそれがあります。
(ホンダベルノ店で点検を行ってください。)

